

平成25年度

年 報



平成26年8月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	5
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	10
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	13
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	16
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	57
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	85
4. 教員組織および委員会一覧	・ ・ ・ ・ ・	106

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年4月	看護学分野の講座再編成	看護学分野の講座について、看護学の教育・研究の向上と国際化、教育システム改革と人材、施設、運営費の共有化による集中と効率化をめざし、旧来の4講座から新しく2講座(統合基礎看護学講座、広域生涯看護学講座)へと講座が再編成された。	保健学部門会議資料
平成25年5月	総合研究棟2階部分の退去	看護学分野発達看護学講座が平成16年10月より使用していた総合研究棟2階部分から退去し、保健学科本館・基礎研究棟B棟への集約化がなされた。	保健学部門会議資料
平成25年6月5日	「5年目評価、10年以内組織見直し」進捗状況報告	平成24年度進捗状況報告を作成した。	保健学部門会議資料
平成25年10月12日	保健学科創立十周年記念式典および祝賀会の開催	会場:医学部百周年記念講堂 第一部:健桜会総会 招待講演:林晴実(NPO法人ロシナンテス) 「国際医療支援の現場より、実績と学び」 第二部:保健学科十周年記念式典 記念講演:海堂尊(作家) 「Aiは市民社会の礎になる」 第三部:保健学科十周年記念・健桜会祝賀会	保健学部門会議資料 保健学科創立十周年記念式典プログラム
平成25年10月	保健学科創立十周年記念誌の作成	保健学科創立十周年記念誌を作成した。	保健学部門会議資料 保健学科創立十周年記念誌
平成25年10月24日	九州大学病院長選考規則の改正	病院長の任期を4年1期に変更した。(医学部教授会承認 平成25年7月24日)	医学研究院教授会議事録
平成25年12月	保健学科本館改修の決定	平成25年12月に平成25年度補正予算が閣議決定され、保健学科本館改修が整備事業となった。以降、本館改修に向けて準備を本格的に進めた。なお、平成25年度の施設環境委員会は22回開催、審議を行った。	文部科学省ホームページ 施設環境委員会議事録
平成26年2月5日	次期部門長の選出	次期部門長として大喜雅文教授を選出した。任期は平成26年4月1日から平成28年3月31日。	保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年4月9日	学部入学式	新入生141名(看護:73、放射:34、検査:34)が入学した。	学生係 資料
平成25年4月10日	大学院入学式	修士28名(看護:4、医用量子:14、検査技術:10)、博士14名(看護:7、医療技術:7)が入学した。	学生係 資料
平成25年4月20日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が福岡県立社会教育総合研修センター(糟屋郡篠栗町)にて研修を行った。	学生委員会 議事録
平成25年6月12日	就職セミナー	参加:3年生128名 会場:コラボステーション I 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、三専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会 議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年8月26日	修士課程入学試験	35名(看護:8名、医用量子:16名、検査技術:11名)が受験した。	学生係 資料
平成25年9月より	修士課程における助産学教育に関する検討	現在は学部で実施している助産学教育を大学院修士課程で行うことについての検討を行った。	保健学部門会議資料 教務委員会資料 大学院委員会資料
平成25年9月20日	博士課程入学試験	12名(看護:9名、医療技術:3名)が受験した。	学生係 資料
平成25年9月24日	秋季卒業式・学位記授与式	学士1名(看護:1、放射:0、検査:0) 修士1名(看護:0、量子:1、検査:0) 博士1名(看護:0、技術:1)	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦
平成25年9月25日	保健学部門FD	会場:総合研究棟室 1階 102番講義室、105番講義室、サイエンスカフェ 「保健学科における教育方法の改善」 医学教育部門・吉田素文教授による「医療系教育に関する最近の話題」の講演、その後、参加者全員を数班に分け、ワールドカフェ方式による保健学科における教育の改善について意見交換を行った。 参加者合計 54名(看護:29名、放射:12名、検査:13名)	FD委員会議事録 部門FD報告書
平成25年10月	修士課程アジア保健学コースG30学生の受け入れ	TRAN THI THAO NGUYEN(ベトナム)が入学した(医用量子線科学領域、指導教員:有村准教授)。	保健学専攻 学年暦
平成25年10月	博士後期課程保健学国際コース学生の受け入れ	Jin Ze(中国)が入学した(医用量子線科学領域、指導教員:有村准教授)。	保健学専攻 学年暦
平成25年11月	決断科学大学院コースの設置	平成25年度博士課程教育リーディングプログラムに本学から申請した「持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」が採択され、博士課程を置く全学府に「決断科学大学院コース」を設置することとなった。これに伴って学府規則を一部改正した。	専攻会議議事要旨
平成26年1月18日、19日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦
平成26年2月1日	入学者選抜個別学力検査(AOⅡ)	86名(看護:41、放射:26、検査:19)が受験した。	学生係 資料
平成26年2月19日	就職セミナー	参加:3年生69名(放射37名、検査32名) 会場:5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成26年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査(前期日程)	293名(看護:157、放射:63、検査:73)が受験した。	学生係 資料
平成26年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査(私費外国人)	2名(看護:0、放射:0、検査:2)が受験した。	学生係 資料
平成26年3月25日	卒業式・学位記授与式	学士134名(看護:64、放射:35、検査:35) 修士26名(看護:5、量子:11、検査:11) 博士5名(看護:2、技術:3)	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年11月21日	第8回 九州大学保健学国際フォーラム	会場:医学部百年講堂 合同講演会:「保健学における教育と研究～高雄医学大学との交流～」 As prof Lih-Mih Chen (Nursing) As prof Chun-Wei Li (Med Imaging & Rad Sci) As prof Ching-Shuang Wu (Med Lab Sc & Biotech) 分野別企画:学生セッション 高雄医学大学から教員3名と学生4名を招待し、講演会では高雄医学大学の3名にそれぞれの専門分野(看護、放射線、検査)について講演していただき、引き続き分野別に企画した学生ミーティングで学生間の交流を行った。	保健学国際フォーラム プログラム 第8回九州大学保健学国際フォーラム報告書,2013

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年6月15日	大学院進学説明会	大学院受験希望者を対象に、大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者:修士課程希望者39名、博士後期課程希望者5名 会場:総合研究棟105室およびサイエンスカフェ	保健学部門会議議事録 入試実施委員会議事録
平成25年8月5日	オープンキャンパス	将来に受験を考えている高校生を対象にオープンキャンパスを開催した。参加者1,020名。 全体説明会:百年講堂 専攻別企画:保健学科本館にて、専攻ごとに展示・体験コーナー・相談窓口などを企画した。	学生委員会議事録
平成25年9月21日	保健学公開講座 第11回	会場:百年講堂中ホール テーマ:保健学から見た身近な健康 「生活習慣病とメタボ検診」栢森裕三教授、 「歯の健康」吉田豊助教、 「認知症を考える」寺岡佐和講師 受講者:105名(一般参加者:80名、本学教員:25名)	保健学公開講座プログラム アンケート資料
平成26年1月28日	がんプロ講演会	榮武二先生(筑波大学)「筑波大学における医学物理学教育の現状」 篠藤誠先生(佐賀HIMAT)「重粒子線治療の実際と新たな展開」 隅田伊織先生(大阪大学)「大阪大学における医学物理活動～臨床と研究の相互フィードバック～」 角谷倫之先生(東北大学)「臨床研究型医学物理士の魅力ー「Made in Japan」を世界へー」	がんプロ講演会ポスター
平成25年7月31日～12月10日	高校への出前講義を実施した。	7月31日:八女高校(杉島教授) 11月1日:東筑高校(中尾教授) 11月11日:春日高校(濱田准教授) 12月10日:明善高校(杜下教授)	学生係 記録
	放射線障害防止教育に関する貢献	12月11日:福岡県消防学校「放射線に関する出前授業(日本原子力文化振興財団)」(藤淵講師) 1月29日:筑紫女学園中学校「放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」(藤淵講師) 2月17日:宗像市立日の里中学校「放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」(吉田助教) 2月21日:佐賀市立大詫間小学校「放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」(吉田助教)	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年～25年	文部科学省大学改革推進事業「看護師の人材養成システムの確立」 「看護実践力プロッサム開花プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択されたプロジェクトで今年が5年目の最終年度。看護キャリアシステム運営委員会のもと、6つのWGが活動しており、教員は実習指導者研修検討WG、教育研究推進WG、実習指導要項作成WGに参加し良い成果をあげた。5年間の成果をまとめ最終報告会を行った。	平成25年度看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成25年5月1日	名誉教授の推薦	川本利恵子元教授を名誉教授に推薦した。	保健学部門会議資料
平成25年5月1日	教育の質向上支援プログラム(EEP)	平成24年度教育の質向上支援プログラム(EEP)実績報告書を報告した。	保健学部門会議資料
平成25年7月3日	教育の質向上支援プログラム(EEP)	平成25年度教育の質向上支援プログラム(EEP)取組計画書を作成した。 取組名称「時代が求めるICTとシミュレーション教育」-アクティブラーナー育成のための先進的プログラム構築-	保健学部門会議資料
平成25年9月30日	平成26年度大学改革活性化制度改革計画申請について	内部組織の新設改編等に係る計画書として、「保健学研究支援センターの新設」改革計画書を提出した。	保健学部門会議資料
平成26年1月6日	病院キャンパス内全面禁煙	病院キャンパス内は全面禁煙となった。	総務課 記録
平成26年1月	保健学科本館の改修の決定	耐震化を主目的とした保健学科本館の改修事業が平成25年度補正予算で実施されることが決定された。	保健学部門会議資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年5月31日	川本利恵子(看護・教授)	退職(日本看護協会・常任理事へ)	
平成26年3月31日	新小田春美(看護・准教授)	退職(三重大学・教授へ)	

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料
平成25年5月	保健学科本館1階 学生実習室	教育用CTの導入:Alexion TM / Access Edition(東芝メディカルシステムズ株式会社)	

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年4月22日 平成25年5月20日 平成25年6月17日 平成25年7月24日 平成25年9月19日 平成25年10月31日 平成25年11月27日 平成25年12月25日 平成26年1月29日 平成26年2月28日 平成26年3月26日	看護学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1)学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年4月	学部生(第11期)の入学	担任: 加来恒壽教授、濱田裕子准教授、丸山マサ美講師、道面千恵子助教	分野会議議事録
平成26年2月6日	看護学分野FD	漢方看護学教育について理解を深めるために「漢方看護学教育の導入について～」をテーマに、東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授 北村 聖先生を招いて講演を開催した。(参加者27名)	平成25年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2)実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 第1回4/11 第2回5/13 第3回6/10 第4回7/22 第5回9/18 第6回10/21 第7回11/14 第8回12/16 第9回1/16 第10回2/17 第11回3/20	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成25年 通年	臨地実習に関する説明会 (九大病院以外)	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成25年5月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成25年6月18日	実習連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の臨地実習に関して、分野教員、看護部、看護師長、指導者との会議を行った。	実習連絡会議議事録
平成25年7月16日	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	福岡県地域看護実習連絡協議会議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年11月13日	在宅看護学実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指導者に説明を行った。	実習指導者連絡会議議事録
平成26年1月28日	福岡県地域看護平成27年度実習に向けてのワーキング	平成27年度の福岡県における公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、県内大学で構成しているワーキングに出席した。	福岡県地域看護実習ワーキング議事録
平成26年3月19日	平成27年度公衆衛生看護学実習配置案についての意見交換会	平成27年度公衆衛生看護学実習について、県内自治体保健師及び県内大学の意見交換会に出席し、自治体と教育側で新カリキュラムによる実習について、協議した。	福岡県地域看護実習連絡協議会議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年9月2日	助産師課程選抜試験	看護学専攻3年生の助産師選択課程志願者について、各自のテーマに沿ったプレゼンテーションと面接試験を行った。	分野会議議事録
平成26年2月27日	助産師課程選抜試験	看護学専攻2年生の助産師選択課程志願者について、各自のテーマに沿ったプレゼンテーションと面接試験を行った。	分野会議議事録
平成26年3月3日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年10-11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成25年12月9～10日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成25年9月24日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成26年2月19日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 4回/年	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	看護分野会議議事録
平成26年1月9日	助産師国家試験学内模擬試験	医学部保健学科看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	模擬試験資料
平成26年2月	第103回看護師国家試験、第100回保健師国家試験、第97回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年10月14日-18日	台湾・高雄高雄医学大学学術交流、訪問	・学術交流のために台湾高雄医科大学を訪問し、学部生、院生に講義を行った。(中尾久子教授、榑木晶子教授、谷口初美教授) 開設50周年記念であったので式典に参列した。	分野会議議事録
平成25年11月21日	第8回九州大学保健学国際フォーラム	・国際フォーラムにおいて台湾高雄医学大学から演者Dr.Lih-Mih Chenと2名の看護学生を招聘し、講演、意見交換の交流を行なった。 ・Student Meetingでは高雄医学大学看護学生と本学部2年生の看護学生とプレゼンテーションと意見交換を行なった。	国際フォーラム資料
平成25年11月22日	台湾・高雄医学大学看護学部と国際交流	・本学部看護2年生が計画を立案し、台湾高雄医学大学看護学部のDr. Chenと2名の学生を看護学専攻2年生学生数名と教師数名で福岡市内に案内し歴史、文化を交えた国際交流を実践した。	国際フォーラム資料
平成26年2月19日-23日	ニューヨーク市立Hunter Bellevue School of Nursing, Graduate School訪問	Hunter校との部門間協定確認と継続のために新Dean Dr. Gailを訪問した。 NY City University のGraduate School では、Dr.Nokesと面談、Bellevue hospital のシミュレーションセンター視察した。 (中尾久子分野長、谷口初美教授:地域国際担当、宮園真美講師)	出張報告書、分野会議資料
平成26年3月18日-20日	中国 台湾・高雄市高雄医学大学	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野とStudent Meeting Exchange programによる交流として木下義晶准教授、道面千恵子助教、看護学専攻2年生2名、3年生1名が交流のために台湾高雄医科大学を訪問した。	分野会議議事録
平成26年3月18日-20日	中国 台湾・高雄市高雄医学大学	高雄医科大学看護学部に谷口初美教授が上記のStudent Exchange Programと同行し、九州大学のG30プログラムについて紹介し、交流をはかった。	分野会議議事録

4. 社会連携 1)人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 新人看護師育成プログラム(毎月) 実習指導要項開発プログラム(毎月) 人事交流 通年	看護実践力プロッサム 開花プロジェクト	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン、看護実践力プロッサム開花プロジェクト」への情報提供、指導、助言を実施した。 (中尾久子教授、大池美也子教授、宮園真美講師、末次美子助教、金岡麻希助教)。病院からの人事交流者:小野久美子氏。	看護実践力プロッサム開花プロジェクト報告書
平成25年-26年	九州大学病院の看護研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施し、学会発表を目指し活動をしている。	看護研究コース資料
平成24年 通年	福岡県専任教員養成講習会	専任教員養成課程の講義・演習を行った。	福岡県専任教員養成講習会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年6月2日	国立大学保健医療学系代表者協議会	岡山で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席して、臨床と大学教育の連携等について協議を行った。	国立大学保健医療学系代表者協議会報告書
平成25年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会:看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成25年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会:大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成25年 通年	医療系代表者協議会組織検討委員会	医療系代表者協議会組織検討委員会委員としてメール会議などに参加し意見交換を行った。	平成25年度組織検討委員会活動報告
平成25年6月1日	全国保健師教育機関協議会定時社員総会	東京で開催された協議会の総会に出席し、会運営のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成25年6月1日・2日	全国保健師教育機関協議会スキルアップ研修会・教員研修会	東京で開催された当該研修会の企画、会計を含む運営を行った。	全国保健師教育機関協議会平成25年度スキルアップ研修会・教員研修会資料
平成25年7月1日	平成25年度 日本看護系大学協議会定時社員総会	東京医科歯科大学で開催された総会に出席し、協議会の活動方針や、各委員会の活動計画について検討を行った。	分野会議議事録
平成25年6月28日	平成25年度国立大学助産師教育専任教員会議（神戸）	助産師教育の各大学から提示された、①助産師教育修士課程への取り組み準備状況②本会の開催目的について協議した。	分野会議議事録
平成25年6月14日-15日	通算49回全国助産師教育協議会	名古屋市で開催された。24年度活動報告、26年度事業計画の協議、文科省看護専門官の講演後、地区別検討会を行った。	分野会議議事録
平成25年11月16日	九州・沖縄地区助産師教育協議会	九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換と教育講演に出席した。	分野会議議事録
平成25年8月22日、23日	第26回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	幹事校として、企画・運営を行った。	全国保健師教育機関協議会平成25年度九州ブロック総会・研修会資料
平成25年10月28日-30日	平成25年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された。「臨床と大学をつなぐ看護学教育者の養成について」の講演の後、臨床と大学の連携や看護学教育の充実に関するGWを行った。	分野会議議事録
平成25年10月22日	全国保健師教育機関協議会秋季研修会	津市で開催された秋季研修会に参加し、保健師教育の方法論についての検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成25年度秋季研修会資料

4. 社会連携 3)公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年9月21日	九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民の方を対象にテーマ「認知症を考える」の講演を実施した。 講師:寺岡講師	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年11月30日 ～12月1日	第11回小児がん看護学会	第11回小児がん看護学会を開催した。(大会長:濱田裕子)	小児がん看護学会プログラム委員会資料
平成26年3月27日	1分間指導法、コーチングをマスターしよう!	九州大学の教員と京都大学の教員による1分間指導法・コーチングの方法を看護学生の臨床指導に取り入れ、臨床指導の改善するためのシミュレーションを取り入れた参加型の講義を実施した。 参加者:九州大学10名、京都大学4名	科研報告書

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 4月 4日 平成25年 5月 8日 平成25年 6月 19日 平成25年 7月 8日 平成25年 8月 1日 平成25年 9月 4日 平成25年10月 2日 平成25年11月 6日 平成25年12月 6日 平成26年 1月 9日 平成26年 2月 6日 平成26年 3月 10日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 4月 9日	学部生(第12期)の入学	主担任:有村秀孝、副担任:吉田豊	分野会議議事録 学生便覧
平成25年 4月 18日 平成25年11月 28日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	分野会議議事録 臨地実習会議議事録
平成25年 5月 1日 平成25年 7月 8日 平成25年10月 7日 平成25年12月 20日 平成26年 1月 14日 平成26年 2月 5日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
平成25年5月	保健学科本館1階 学生実習室	教育用CTの導入:AlexionTM/ Access Edition(東芝メディカルシステムズ株式会社)	
平成25年 6月	eLearningによる国家試験過去問題トレーニングシステムの利用	熊本大学が作成したシステムを国立大学診療放射線技師教育施設協議会で利用した(2年目)。使用料3万円/校。	分野会議議事録
平成25年 7月 17日	修士課程 中間発表会	修士課程大学院生11名の研究の進捗状況について発表会を行った。	中間発表会プログラム
平成25年 8月 27日	学生懇親ソフトボール大会	学部1~4年生、大学院生の合計50名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	開催プログラム
平成25年 9月 26日 ~27日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。 卒業研究紹介、九重登山、地熱発電所見学会場:九州大学九重研修所(山の家)、九州地区国立大学九重共同研修所	分野会議議事録 九重研修のしおり
平成25年11月 28日 ~29日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム
平成26年 1月 30日 ~31日	医用量子線先端技術セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年3月31日	第66回診療放射線技師国家試験	37名中32名の86.5%(新卒者33名中32名(97.0%)、既卒者4名中0名(0.0%))が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年10月28日	バンドン工科大学(インドネシア)訪問	有村准教授がバンドン工科大学(インドネシア)を訪問し, "Introduction of Division of Medical Qauantum Science, Kyusyu University" のタイトルで講演するとともに, 留学生のリクルート活動を行った。	
平成26年3月17日 ～19日	高雄医学大学訪問	G30の大学院生勧誘および部局間交流協定の締結の準備のため, 有村准教授、熊澤講師、藤淵講師、吉田助教が訪問した。	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年6月20日	第13回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	広島市にて開催された協議会に出席し, 診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。	分野会議議事録 会議報告書
平成25年6月21日	第57回全国診療放射線技師教育施設協議会	広島市にて開催された協議会に出席し, 診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。	分野会議議事録 会議報告書

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年5月27日	医用量子線セミナー 第10回	鈴木 賢治先生(シカゴ大学) ・研究って何? + 英語プレゼンのコツ ・機械学習画ベース画像処理の基本と応用	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム
平成25年11月	放射線取扱主任者試験 第一種国家試験	合格者 1年生: 1名 2年生: 1名 3年生: 25名 4年生: 9名 卒業生: 3名	官報
平成25年11月	医学物理士試験	5名が合格した。	分野会議議事録 http://www.k-ganpro.com/index.html
平成25年11月23日 24日	第9回九州放射線医療技術学術大会における学生の発表	会場: 佐賀市文化会館 学部生: 31名 院生: 2名	学会抄録集
平成26年1月24日	医用量子線セミナー 第11回	土井 邦雄先生(群馬県民科学大学) “研究における国際化の重要性” Importance of Globalization in Research for Radiological Sciences	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年1月28日	がんプロ講演会	榮武二先生(筑波大学)「筑波大学における医学物理学教育の現状」 篠藤誠先生(佐賀HIMAT)「重粒子線治療の実際と新たな展開」 隅田伊織先生(大阪大学)「大阪大学における医学物理活動～臨床と研究の相互フィードバック～」 角谷倫之先生(東北大学)「臨床研究型医学物理士の魅力ー「Made in Japan」を世界へー」	がんプロ講演会ポスター
平成26年3月11日	医用量子線セミナー第12回	Robert M Nishikawa先生(ピッツバーグ大学) Evaluation of computer-aided direction for screening mammography	分野会議議事録 医用量子線セミナー プログラム
平成25年度	学生筆頭論文数	原著論文 :20編(英文18編) 国際会議報告:9編(英文5編) 海外学会発表:17題(口頭6題) *卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 4月	第69回 日本放射線技術学会 総会学術大会	Cypos賞 銅賞(谷口隆文)	
平成25年 4月	第69回 日本放射線技術学会 総会学術大会	学生発表 学生賞(谷口隆文)	
平成25年 4月	第105回日本医学物理学学会学術大会	学生発表 大会長賞 八尋絵里子 「NaIシンチレータを用いた中性子高感度検出の試み(2)治療用リニアックでの測定」	
平成25年 4月	第105回日本医学物理学学会学術大会	英語プレゼンテーション賞(Ze Jin)	
平成25年 6月	60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	TS Travel Award(赤松 剛)	学会抄録集
平成25年 6月	60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	TS Travel Award(谷口 隆文)	学会抄録集
平成25年 6月	60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	TS Travel Award(木寺 大輔)	学会抄録集
平成25年 6月	60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine	TS Travel Award(三笠 翔平)	学会抄録集
平成25年 9月	第106回日本医学物理学学会学術大会	第106回日本医学物理学学会大会長賞(仲本宗泰)	
平成25年11月	ISIS2013 in Daejeon, Korea	Best Session Paper Award (Soufi M)	
平成26年 2月	SPIE Medical Imaging	Robert F. Wagner Student Paper Award PACS and Imaging Informatics: Next Generation and Innovations Conference Finalist (Nonaka A.)	

❖ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 4月17日 平成25年 5月15日 平成25年 6月 5日 平成25年 7月17日 平成25年 7月31日 平成25年 8月 1日 平成25年 9月25日 平成25年10月16日 平成25年11月27日 平成25年12月25日 平成26年 1月29日 平成26年 2月26日 平成26年 3月12日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成26年 3月	保健学科本館改修の ための移転作業	H25年補正予算にて保健学科本館の改修決定。改修中は講義・実習を、総合研究棟講義室や医学部医学科の実習室を借用することに決定。実習室を移動した。一部の実習は開講時期を変更して保健学科本館で従来通り実施した。	分野会議議事録 保健学部門会議資料 保健学教務委員会資料
平成26年 3月	病理学担当、大石講師が医学研究院医学部門病理学講座准教授へ転出。		保健学部門会議資料
平成26年 3月	臨床生理学担当、井形助教が久留米大学医学部助教へ転出		保健学部門会議資料
平成25年10月13日	保健学科10周年記念式典		保健学部門会議資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年4月20日	新入生合宿研修	福岡県立社会教育総合研修センター(糟屋郡篠栗町)	分野会議議事録
平成25年 6月12日 平成25年 6月26日 平成25年 7月22日 平成26年 1月 8日	検査技術科学分野 FD		分野会議議事録
平成25年5月1日	九大病院検査部との 臨地実習打ち合わせ		分野会議議事録
平成25年5月13日	九大病院検査部臨地 実習前の採血手技実習		分野会議議事録
平成25年 6月12日	3年生就職セミナー		分野会議議事録
平成25年 8月 6日	九大病院検査部との 臨地実習反省会		分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 8月 8日	大学院博士課程・修士課程中間発表会		分野会議議事録
平成26年 2月 14日	修士課程論文審査会		分野会議議事録
平成26年 2月 19日	臨床検査技師国家試験		
平成25年 8月 8日 平成25年 9月 10日 平成25年 11月 11日 平成26年 1月 8日	国家試験模擬試験		

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年 5月	永淵、米国学会発表	The significance of tyrosine kinase 2 gene in encepholmyocarditis-D virus-induced diabetes as studied in tyk2 gene knockout mice, Honolulu, Hawaii, U.S.A.	
平成25年 5月	渡邊、フランスでの国際学会発表、共同研究打ち合わせ	"Correlation between nuclear chromatin pattern and cell cycle." 第18回国際細胞学会 (18th INTERNATIONAL CONGRESS OF CYTOLOGY, 26-30 MAY 2013 PALAIS DES CONGRES, PARIS, FRANCE)	
平成25年 6月	永淵、米国学会発表	1)Regulatory mechanisms of autoimmune regulator (AIRE) gene and protein expression in central and peripheral immune system. 73rd Annual Meeting of the American Association of Diabetes (ADA), 2)Encephalomyocarditis (EMC)-D virus-induced diabetes in Tyk2 gene knockout mice. 3rd Annual Meeting of the American Association of Diabetes (ADA), Chicago, U.S.A. 2013年6月21日	
平成25年10月	外園、インドネシア学会発表	Development of the enzymatic method for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples, 13th Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry and Laboratory Medicine Congress, 2013年10月28日, Indonesia.	
平成25年7月～8月	小島、ケニア大学・研究所訪問	長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点および ICIPE (Kenya)	
平成25年 8月 10日	藤本、国際会議出席	American Biosafety Association Preconference & Conference (United States of America)	
平成25年 8月 1日	スー tatt・フォーチャロエン教授特別講義	大学院保健学研究論の国外非常勤講師。一般に公開された講演会として開催。	
平成25年10月	訪問研究員受け入れ (梅村):Dr. Supat Chamnanchanunt、タイ国マヒドン大学熱帯医学部講師、	「マラリア感染症におけるmicroRNA解析」、武田科学推進財団、2013年10月～2014年04月	
平成25年12月	梅村、米国血液学会発表	An Epigenetic Mechanism Of Imatinib Via Demethylation Of MiR-203. 55th Annual Meeting of American Society of Hematology, ニューオーリンズ、米国	

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年 3月	台湾高雄医学大学検査技術学部訪問、杉島、栢森、水上	国際化拠点整備事業(グローバル30)プログラムによる留学生リクルートを目的としたシンガポール派遣、共同研究打ち合わせ	
平成26年 3月	シンガポール訪問、勝田	国際化拠点整備事業(グローバル30)プログラムによる留学生リクルートを目的としたシンガポール派遣	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成25年8月10日	オープンキャンパス実施		広報委員会

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護》

教授	樗木 晶子
教授	加来 恒壽
教授	大池 美也子
教授	中尾 久子
教授	川本 利恵子
准教授	木下 義晶
准教授	原田 博子
准教授	橋口 暢子
准教授	濱田 裕子
講師	丸山 マサ美
講師	宮園 真美
講師	中島 充代
助教	道面(山本) 千恵子
助教	木下 由美子
助教	金岡 麻希
助教	富岡 明子
助教	梶原 弘平
助教	藤田 紋佳
助教	木原 深雪
助教	潮 みゆき
助教	孫田 千恵

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健医療とソーシャルサポート	樗木	前期
臨床看護特論Ⅰ (分担)	樗木	通年
臨床看護特論Ⅱ	樗木	通年
臨床看護特論Ⅲ (分担)	樗木	通年
看護学特別研究	樗木	前期
生体情報解析学Ⅰ	樗木	前期
国際医療システム論	樗木	通年
先端医療論(がん病態・治療論)	加来	前期
発達看護学特論Ⅱ	加来	後期
生体情報解析学Ⅰ	加来	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	加来	前期
発達看護学特論Ⅰ	加来	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	加来	前期
生体情報解析学Ⅱ	加来	後期
看護学特別研究	加来	通年
看護教育方法開発Ⅰ (分担)	大池	前期
看護学特別研究 (分担)	大池	通年
看護学研究方法論2 (分担)	大池	前期
看護教育論 (分担)	大池	前期

基礎看護学特論 2 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 1 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 3 (分担)	大池	通年
がん看護特論 (分担)	大池	前期
コンサルテーション論 (分担)	大池	前期
保健学特別研究	大池	通年
看護倫理 (分担)	中尾	前期
臨床看護学特論 I (分担)	中尾	通年
臨床看護学特論 (分担)	中尾	通年
看護組織・マネジメント論 (分担)	中尾	後期
医療と生命倫理 (分担)	中尾	後期
がん看護援助論 (分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	中尾	前期
ヘルスサイエンス論 (分担)	中尾	前期
看護研究方法論 (分担)	川本	前期
臨床看護学特論 II (分担)	川本	前期
臨床看護学特論 III (分担)	川本	前期
先端医療論、がん病態・治療論 (分担)	木下(義)	前期
発達看護学特論 (分担)I	木下(義)	前期
保健医療とソーシャルサポート(分担)	木下(義)	後期
母子発達ケアシステム論 I	木下(義)	前期
看護教育論 (分担)	原田	前期
看護組織・マネジメント論 (分担)	原田	後期
基礎看護学特論 (分担)	原田	前期
基礎看護学特論 II (分担)	原田	後期
基礎看護学特論 III (分担)	原田	通年
看護学特別研究 (分担)	原田	通年
医療と生命倫理 (分担)	原田	前期
基礎看護特論 I (分担)	橋口	後期
小児家族看護学	濱田	後期
感性コミュニケーション概論	濱田	前期
母子発達ケアシステム論 I (分担)	濱田	前期
発達看護学特論 III (分担)	濱田	前期
発達看護学特論 I (分担)	濱田	前期
医療と生命倫理 (分担)	丸山	後期
生命倫理学	丸山	前期
臨床看護学特論 I (分担)	木下	通年
国際社会とチーム医療(分担)	宮園	前期
がん医療支援論(分担)	宮園	前期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	宮園	前期
国際医療システム論(分担)	宮園	通年
臨床看護学特論 I (分担)	宮園	通年
臨床看護学特論 II (分担)	宮園	通年
臨床看護学特論 III (分担)	宮園	通年
臨床看護学特論 I (分担)	木下	通年
臨床看護学特論 III (分担)	木下	通年
臨床看護学特論 II (分担)	木下	通年
臨床看護学特論 I (分担)	金岡	通年
臨床看護学特論 III (分担)	金岡	通年
臨床看護学特論 II (分担)	金岡	通年
臨床看護学特論 I (分担)	梶原	通年
臨床看護学特論 I (分担)	潮	通年
臨床看護学特論 I (分担)	孫田	通年
発達看護特論 I (分担)	藤田	前期

2. 大学院実験・実習

保健学特別研究 樗木 前期

3. 大学院演習

健康支援ケアシステム論 1(分担)	樗木	後期
保健学特別研究	樗木	通年
保健学特別研究	加来	通年
看護教育方法開発 I (分担)	大池	前期
看護教育方法開発学 II (分担)	大池	後期
看護学特別研究 (分担)	大池	通年
看護学研究方法論 2 (分担)	大池	前期
看護教育論 (分担)	大池	前期
基礎看護学特論 2 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 1 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 3 (分担)	大池	通年
がん看護特論 (分担)	大池	前期
コンサルテーション論 (分担)	大池	前期
保健学特別研究	大池	通年
看護学特別研究 (分担)	中尾	通年
保健学特別研究 (分担)	中尾	通年
健康支援ケアシステム論 I (分担)	中尾	前期
発達看護学特論I	木下(義)	前期
看護学特別研究 (分担)	原田	通年
ユーザー感性学 PTL(5) (分担)	濱田	後期
ユーザー感性学 PTL(2) (分担)	濱田	前期
小児・家族コミュニケーション演習 (分担)	濱田	前期
発達看護学特論Ⅲ (分担)	濱田	前期
発達看護学特論 I (分担)	濱田	前期
発達看護特別研究(分担)	濱田	通年
生命倫理学	丸山	前期
発達看護特論Ⅲ (分担)	藤田	通年

4. 大学院修士課程修了者

伊豆倉理江子 臨床看護師の医療事故経験が医療安全研修の記憶に及ぼす影響 Considering the memory of Patient Safety Workshop affected on the medical errors that clinical nurses experienced

新 裕紀子 看護師におけるポジティブ感情の経験と心理的 well-being との関連 The relationship between positive emotions and psychological well-being in nurses

青野広子 血友病をもつ思春期の子どもの病気に伴う体験

山下裕美 がん看護専門看護師の「きく」という経験に関する質的研究

山中 真 臨床現場での転倒による頭部損傷発生機序の評価に基づく頭部損傷予防に向けた看護ケアの検討 Etiology of head injuries due to falls in clinical situations and nursing care to preventing injuries.

遠峰 由希恵 Endometrial metaplasia; correlation of histological and cytological specimens obtained from 103 cases undergoing hysterectomy for endometrial carcinoma

6. 学部講義

臨床医学群 (分担)	樗木	後期
人体の構造と機能 I A	樗木	前期
循環機能検査学	樗木	後期
医学総論 (分担)	樗木	前期
成人看護学概論 I (分担)	樗木	前期
ジェンダー学	樗木	前期
人体の機能と構造 I B	樗木	後期
臨床病態学(分担)	樗木	後期
人体の構造と機能 II A (分担)	加来	前期
泌尿器・生殖器 (分担)	加来	前期
母性疾病論(分担)	加来	前期
臨床医学論 I (分担)	加来	後期
臨床病態学(分担)	加来	後期
看護技術学 II (分担)	大池	後期
看護技術学 I (分担)	大池	前期
看護学概論 (分担)	大池	後期
看護研究入門 (分担)	大池	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	大池	後期
インフォームドコンセント(医療系統合教育) (分担)	中尾	前期
臨床倫理(医療系統合教育) (分担)	中尾	後期
看護倫理・ターミナルケア論 (分担)	中尾	前期
老年看護学概論 (分担)	中尾	前期
看護研究入門 (分担)	中尾	前期
老年看護学各論 I (分担)	中尾	後期
老年保健疾病論(分担)	中尾	後期
がん看護論(分担)	中尾	後期
成人看護学概論	川本	前期
卒業研究(分担)	木下(義)	通年
小児疾病論	木下(義)	前期
医学総論I(分担)	木下(義)	前期
臨床病態学(分担)	木下(義)	後期
人体の機能と構造 II B(分担)	木下(義)	後期
臨床医学論 II (分担)	木下(義)	後期
卒業研究 (分担)	原田	通年
基礎看護技術 I (分担)	原田	前期
基礎看護技術 II (分担)	原田	後期
看護理論・看護過程論 (分担)	原田	後期
医療安全論 4 年生対象	原田	後期
チーム医療と災害看護	原田	後期
看護管理・看護教育論 (分担)	原田	前期
クリティカルシンキング論 (分担)	原田	前期
医療安全論 2 年生対象 (分担)	原田	後期
看護技術学 I (分担)	橋口	前期
看護理論・看護過程論(分担)	橋口	後期
看護技術学 II(分担)	橋口	後期
医療安全論(分担)	橋口	後期

看護研究入門 (分担)	橋口	前期
小児看護学概論 (分担)	濱田	後期
小児看護援助論	濱田	前期
小児看護学各論 I	濱田	後期
看護研究入門(分担)	濱田	前期
バイオエシックス (分担)	丸山	通年
社会学 (分担)	丸山	前期
課題提示科目 I (分担)	丸山	前期
共通コア「人間性」	丸山	通年
コミュニケーション論	丸山	後期
コアセミナー(分担)	丸山	前期
看護倫理・ターミナルケア論 (分担)	宮園	前期
老年看護学各論 I (分担)	宮園	後期
周手術期看護援助論(分担)	宮園	前期
地域精神保健学	中島	前期
精神保健・疾病論	中島	前期
精神看護学概論	中島	後期
看護技術学 I (分担)	道面(山本)	前期
看護技術学 II	道面(山本)	後期
コアセミナー(分担)	道面(山本)	前期
医療安全論(分担)	道面(山本)	後期
看護理論・看護課程論(分担)	道面(山本)	前期
看護学概論(分担)	道面(山本)	後期
看護倫理・ターミナルケア論 (分担)	木下	前期
がん看護論 (分担)	木下	後期
臨床老年看護学 (分担)	木下	後期
周手術期看護援助論 (分担)	木下	前期
周手術期看護援助論 (分担)	金岡	前期
先端医療看護論 (分担)	金岡	後期
救急蘇生学 (分担)	金岡	後期
老年看護学各論 I	梶原	後期
老年保健疾病論	梶原	前期
老年看護援助論	梶原	前期
老年看護学概論	梶原	前期
小児看護援助論 (分担)	藤田	前期
助産診断・技術学 (分担)	藤田	前期
周手術期看護援助論(分担)	潮	前期
老年保健疾病論(分担)	潮	後期
がん看護論(分担)	潮	後期
がん看護論 (分担)	孫田	後期
老年看護学各論 I (分担)	孫田	後期
老年保健疾病論(分担)	孫田	後期

7. 学部の実験・実習・演習

卒業研究	樗木	通年
生理機能検査学実習	樗木	後期
卒業研究	加来	通年
母性看護学実習(分担)	加来	通年
卒業研究 (分担)	大池	通年
基礎看護学実習 2 (分担)	大池	後期
総合実習 (分担)	大池	後期
基礎看護学実習1 (分担)	大池	前期
看護技術学 II (分担)	大池	後期
看護技術学 I (分担)	大池	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	大池	後期
卒業研究 (分担)	中尾	通年

老年看護学実習 (分担)	中尾	通年
総合実習(分担)	中尾	前期
小児看護学実習I(分担)	木下(義)	後期
卒業研究 (分担)	木下(義)	通年
卒業研究 (分担)	原田	通年
基礎看護技術Ⅰ (分担)	原田	前期
総合実習 (分担)	原田	前期
基礎看護技術Ⅱ (分担)	原田	後期
基礎看護学Ⅰ実習 (分担)	原田	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	原田	後期
医療安全論 4年生対象	原田	後期
チーム医療と災害看護	原田	後期
クリティカルシンキング論 (分担)	原田	前期
医療安全論 2年生対象 (分担)	原田	後期
看護技術学Ⅰ (分担)	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	橋口	前期
卒業研究 (分担)	橋口	通年
総合実習 (分担)	橋口	前期
看護技術学Ⅱ (分担)	橋口	後期
総合実習(分担)	濱田	前期
卒業研究 (分担)	濱田	通年
小児看護学実習 (分担)	濱田	通年
バイオエシックス (分担)	丸山	後期
課題提示科目Ⅰ (分担)	丸山	前期
コミュニケーション論	丸山	後期
卒業研究(分担)	丸山	通年
成人・老年看護学実習(急性期) (分担)	宮園	後期
成人・老年看護学実習(慢性期) (分担)	宮園	後期
老年看護学実習 (分担)	宮園	前期
総合実習(分担)	宮園	前期
卒業研究(分担)	宮園	通年
老年看護援助論(分担)	宮園	前期
卒業研究 (分担)	中島	通年
精神看護学実習	中島	通年
総合実習 (分担)	中島	前期
看護技術学Ⅰ(分担)	道面(山本)	前期
看護技術学Ⅱ(分担)	道面(山本)	後期
医療安全論(分担)	道面(山本)	後期
看護理論・看護課程論(分担)	道面(山本)	前期
基礎看護学実習Ⅰ	道面(山本)	前期
卒業研究(分担)	道面(山本)	通年
総合実習	道面(山本)	前期
成人・老年看護学実習(慢性期看護学実習・老年看護学実習) (分担)	木下	後期
総合実習 (分担)	木下	前期
老年看護学実習 (分担)	木下	前期
老年看護援助論 (分担)	木下	前期
卒業研究(分担)	木下	通年
成人・老年看護学実習(急性期) (分担)	金岡	後期
老年看護学実習 (分担)	金岡	前期
救急蘇生学 (分担)	金岡	後期
総合実習(分担)	金岡	前期
卒業研究(分担)	金岡	通年

老年看護援助論(分担)	金岡	前期
老年看護学実習(分担)	富岡	前期
老年看護援助論(分担)	梶原	前期
老年看護学実習	梶原	前期
総合実習(分担)	梶原	前期
卒業研究(分担)	梶原	通年
成人・老年看護学実習(慢性期看護学実習)(分担)	梶原	後期
卒業研究(分担)	藤田	通年
小児看護学実習(分担)	藤田	通年
総合実習(分担)	藤田	前期
助産診断・技術学(分担)	藤田	前期
成人・老年看護学実習(慢性期看護学実習)	木原	後期
母性看護学実習	木原	後期
小児看護学実習	木原	後期
地域看護学実習	木原	後期
在宅看護学実習(分担)	木原	後期
老年看護援助論(分担)	潮	前期
総合実習(分担)	潮	前期
成人老年看護学(急性期)実習(分担)	潮	後期
成人老年看護学(老年)実習(分担)	潮	前期
成人・老年看護学実習(慢性期看護学実習)(分担)	孫田	後期
総合実習(分担)	孫田	前期
老年看護学実習(分担)	孫田	前期
老年看護援助論(分担)	孫田	前期
卒業研究(分担)	孫田	通年

8. 卒業論文作成者

濱田真衣	新卒看護師が感じる入職後1年間のストレスの変化と対処法について
大森水葵	鎮静を受ける終末期患者とその家族を支える看護師のあり方
野口紗穂	認知症高齢者を自宅で介護する家族の介護負担感について
安部 優歩	糖尿病性壊疽の予防に向けた鼠径部温電法の有用性と安全性についての予備的検討
金丸 由貴	入院中の高齢者における不眠が与える転倒への影響について-転倒転落アセスメント・スコアシートを活用して-
岡 怜奈	ユーモアの定義とそのもたらす影響と看護への活用に関する文献検討
有水沙也加	看護職に求められるその人らしさに関する文献検討
市丸奈津美	震災現場で働く現地職員が被る惨事ストレスに関する文献検討
佐藤希美	東日本大震災における被災者の避難所での生活行動に関する文献検討
山崎文菜	看護師間の人間関係が看護業務に及ぼす影響についての文献検討
三宅加里奈	看護師が受ける暴力に対する感情労働とサポートに関する文献検討
河津 絵梨菜	足浴および下肢加温が睡眠へ及ぼす影響に関する文献研究
高良美穂	看護師の褥瘡予防の知識を高める取り組みについて -知識の向上と褥瘡予防の実現のために必要なこと-
都 歩美	異なる入浴方法による心身への影響-快適で安全な入浴の実施に向けて- 患者の満足度から見た看護の専門性
山田千尋	終末期医療における患者の意向を尊重するための看護
田崎朋子	終末期がん患者の療養場所に関する意思決定と看護支援
岩武真美	乳がん患者のセクシュアリティに関するケア
稲元佳奈子	統合失調症患者に対する看護師の服薬支援-入院時と訪問看護の比較検討
田島 絢	-

中村弥生	がん患者が意思決定時に抱く「葛藤」に関する文献検討
細井あずさ	行動変容ステージに着目した対象者の行動変容を促すための効果的なアプローチ
江藤萌栄子	クリティカルケア領域における危機的状況下の家族の心理状態
六倉由佳莉	神経難病患者の病の受け入れにかかわる体験
徳重友佳理	オストメイトのストーマ受容への揺れ動く気持ちに関する文献検討
松山里穂	神経難病患者の受容と看護支援に関する文献検討
川野いち里	がん患者が再発・転移を経験した時に抱く思いと看護支援
山田麻央	筋委縮性側索硬化症患者が人工呼吸器装着の意思決定を行う際の思いに関する文献検討
溝江麻一夏	神経難病患者の語りに焦点をあてた文献検討
足立江梨	なぜ脳死下臓器移植件数は増えないのかー日本における医療者のオプション提示することの認識と提示への阻害要因ー
岡田知恵	看護学生の職業レディネスの特徴と今後の研究課題の検討
石田夏未	子どもを亡くした両親へのグリーフケアー看取りの場に着目してー
門田美穂	終末期における10代の小児がん患者とその家族への緩和ケア
園田まりん	死後の処置・エンゼルケアにおける定義の比較と、必要な看護援助の検討
大本恵理佳	NICUにおけるエンド・オブ・ライフケア
梶谷遼子	現在の養護教諭に求められている役割は何か
前畑英紀	I型糖尿病をもつ患児とその家族に対して行う移行期支援のあり方
石原美里	非弁膜症性心房細動患者に対する新規抗凝固薬の服薬指導についてー指導媒体の作成と評価に焦点をあててー
宮野原理菜	口腔リハビリ用具“パタカラ”が嚥下障害に与える効果についてー加齢による嚥下障害に焦点を当ててー
西田智亜梨	子宮頸がん治療を受けた女性の心理過程とその援助

9. 研究生

劉 新明

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

大池 「未来プロジェクト」に参加した看護学生に対し、本会の意図や研修の内容を説明した。
2013年度8月に開催された「未来プロジェクト」において、本看護学科学生の参加を促した。

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	心疾患や高齢者におけるサウナ(首下温熱装置)、下半身温熱、足温を用いた温熱効果の検討	樗木
2	ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介入研究	樗木
3	婦人科悪性腫瘍におけるRCAS1の発現とその意義	加来
4	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
5	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
6	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来

7	看護学基礎教育における e-Learning 教材の評価	大池
8	看護教育の高等化時代における看護教員のライフストーリー研究	大池
9	患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの要素に関する検討	大池
10	医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療、看護)	中尾
11	ストレス、ストレス反応および生活行動の関連性	中尾
12	高齢者の身体拘束とQOL	中尾
13	日本の病院の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題	中尾
14	胃切除術が骨代謝に及ぼす影響と栄養や活動などに与える変化の解明	川本
15	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下(義)
16	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下(義)
17	新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立	木下(義)
18	小児固形悪性腫瘍に対するがんペプチドワクチン療法の研究	木下(義)
19	薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築	原田
20	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
21	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
22	高齢者における家庭内事故(溺死)に関する研究	橋口
23	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研究	橋口
24	難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ(日本型子どもホスピスに関する研究)	濱田
25	九州大学医学部における史料研究-新しい「医の倫理」教育方法論の構築-	丸山
26	サウナ浴による生理・心理反応	宮園
27	ソーシャルサポートと QOL	宮園
28	乳がん患者の意思決定	中島
29	直腸がん患者のQOL向上を目指した介入研究	木下
30	直腸がん患者で先進的な肛門温存手術を受けた患者の QOL に関する前向き研究	木下
31	生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究	金岡
32	生体肝移植ドナーの術後のフォローアップシステムに関する研究	金岡
33	生体肝移植患者への食事指導に関する研究	金岡
34	心肺蘇生の立ち会いが患者の家族に与える影響	富岡
35	認知症高齢者の在宅介護者の支援に関する研究	梶原
36	難病のこどもの居場所に関する研究	藤田
37	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
38	アルコール関連問題、アルコール依存症看護、薬物依存症依存症自助組織支援、司法精神看護学、矯正教育、犯罪学、社会復帰支援	木原
39	脳卒中後片麻痺をもつ人の身体感覚評価尺度の開発	潮
40	睡眠障害と QOL に関する研究	孫田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木晶子

- 「基盤研究(B)」フットサウナを用いた心疾患患者における QOL と予後の改善を目指した看護ケアの構築, 樗木(代表).
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, 樗木(代表).

加来恒壽

- 「基盤研究(C)」子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析, 加来(代表)

大池美也子

- 「一般研究(C)」仕事経験を学習に転換する次世代リーダー育成プログラムの開発 代表 原田広枝(福岡大学), 大池(分担)

中尾久子

- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 中尾(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠時無呼吸を配慮した心疾患患者における睡眠障害に対する看護ケアの開発, 中尾(分担)

木下義晶

- 「基盤研究(B)」小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療開発のためのトランスレーショナルリサーチ, 木下(義)(分担)
- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー, 木下(義)(分担)

橋口暢子

- 「基盤研究(B)」冬季における高齢者入浴死の予防指針・チェックリストの作成, 橋口(分担)
- 「基盤研究(B)」生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発, 橋口(代表)

原田博子

- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築, 原田(代表)

濱田裕子

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチー日本型子どもホスピスの探求ー, 濱田(代表)

道面千恵子

- 「基盤研究(C)」インストラクショナルデザインを基盤としたICT活用教育教材の開発と評価, 道面(山本)(分担)
- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築, 道面(山本)(分担)

木下由美子

- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発，木下(分担)
- 「基盤研究(C)」直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究，木下(代表)
- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護師の役割と倫理教育，木下(分担)

金岡麻希

- 「若手研究(B)」生体肝移植ドナーの術後のフォローアップシステム構築のための基礎的研究，金岡(代表)

富岡明子

- 「若手研究(B)」わが国における心肺蘇生の立ち会いが家族に与える影響，富岡(代表)

梶原弘平

- 「研究活動スタート支援」認知症高齢者の在宅介護者の支援プログラムの開発，梶原(代表)

藤田紋佳

- 「基盤研究(C)」難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ-日本型子どもホスピスの探求-，藤田(分担)
- 「若手研究(B)」生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL を高める看護援助に関する研究，藤田(代表)

丸山マサ美

- 「萌芽研究」九州大学医学部における史料研究-新しい「医の倫理」教育方法論の構築-(平成 23 年度～平成 25 年度)丸山(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)」九州大学医学部における史料研究，丸山(代表)
- 「研究補助者措置制度(Hand in Hand)」(代表)ICT 学習システム(Web 動画・ポイント版・Web テスト・レポート管理)を用いた基礎看護技術教育の検討 他，道面(山本)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「ファイザー国内共同研究助成/植込型除細動器患者の QOL 向上をめざした精神的ケアの構築」公益財団法人 ファイザーヘルスリサーチ振興財団，樗木。
- 「ファイザー Academic contribution/循環器内科関連」ファイザー(株)，樗木
- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共，樗木。
- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本ベーリンガー，樗木

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士ゼロックス株式会社 MEMS 血流量センサを用いた献血時転倒予測システムの研究・開発」樗木-
- 「臨床病態医学研究所 地域医療における細胞診断の意義」加来，
- 「小児の肉腫や脳腫瘍等に対するがんペプチドワクチン単剤療法の開発」木下(義)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Akiko Suyama Chishaki, Hiroaki Chishaki: To know the exact prevalence and prognosis of atrial fibrillation from a clinical survey—Comments on the “The Fushimi AF Registry”. , *Journal of Cardiology* , 2013年05月. (査読あり)
- Hiroshi Inoue, Ken Okumura, Hirotsugu Atarashi, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa, Naoko Kumagai, Masayuki Sakurai, Yuichiro Kawamura, Isao Kubota, Kazuo Matsumoto, Yoshiaki Kaneko,, Satoshi Ogawa, Yoshifusa Aizawa, Masaomi Chinushi, Itsuo Kodama,, Eiichi Watanabe, Yukihiko Koretsune, Yuji Okuyama, Akihiko Shimizu, Akiko Suyama Chishaki: Target International Normalized Ratio Values for Preventing Thromboembolic and Hemorrhagic Events in Japanese Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation – Results of the J-RHYTHM Registry – on behalf of the J-RHYTHM Registry Investigators., *Circulation Journal* , 2013年08月. (査読あり)
- Nobuko Hashiguchi, T Akira Takeda, Y Yukari Yasuyama, Akiko Suyama Chishaki, Yutaka Tochihara: Effects of 6-h exposure to low relative humidity and low air pressure on body fluid loss and blood viscosity., *Indoor Air* , 23(5): 430-436 , 2013年10月. (査読あり)
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Yasushi Mukai, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Junji Morishita: Evaluation of Cardiac Dyssynchrony with Longitudinal Strain Analysis in 4-Chamber Cine MR Imaging., *European Journal of Radiology* , 2013年11月. (査読あり)
- Anita Rahmawani, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Sawatari, Miyuki Tsushihashi-Makaya, Yuko Ohtsuka, Mori Nakai, mami miyazono, Nobuko Hashiguchi, Harumizu Sakurada, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Inoue Shujiro, Kenji Sunagawa, Hiroyuki Chishaki: Gender disparities in quality of life and psychological disturbance in patients with implantable cardioverter-defibrillators. , *Circulation Journal* , 2013年12月. (査読あり)
- Masayoshi Yoshida, Shinichi Ando, Akiko Suyama Chishaki, Naomasa Makita, Yoshiyuki Hasegawa, Sumito Narita, Hidetoshi Momii, Toshiaki Kadokami: Normal dose of pilsicainide showed marked negative inotropic effects in a patient who had no underlying heart disease, *Journal of Arrhythmia* , 2014年03月. (査読あり)
- Takashi Matsumoto, Masamichi Hiura, Tsukasa Baba, Osamu Ishiko, Tanri Shiozawa, Nobuo Yaegashi, Hiroaki Kobayashi, Hiroyuki Yoshikawa, Naoki Kawamura, Tsunehisa Kaku: Clinical management of atypical polypoid adenomyoma of the uterus. A clinicopathological review of 29 cases, *GYNECOLOGIC ONCOLOGY* , 2013年04月. ((査読あり))
- Kohashi K, Nakatsura T, Kinoshita Y, YamamotoH, Yamada Y, Tajiri T, Taguchi T, Iwamoto Y, Oda Y: Glypican3 expression in tumors with loss of SMARCB1/INI1 protein expression., *Hum Pathol* , 2013年04月. (査読あり)
- Souzaki R, Ieiri S, Umehara M, Ohuchida K, Tomikawa M, Kinoshita Y, Koga Y, Suminoe A, Kohashi K, Oda Y, Hara T, Hashizume M, Taguchi T: An augmented reality navigation system for pediatric oncologic surgery based on preoperative CT and MRI images. , *J Pediatr Surg* , 2013年12月. (査読あり)
- Hitoshi Wakabayashi1, Titis Wijayanto, Joo-Young Lee, Nobuko Hashiguchi, Mohamed Saa, Yutaka Tochihara: A comparison of hydration effect on body fluid and temperature regulation between Malaysian and Japanese males exercising at mild dehydration in humid heat, *J Physiol Anthropology* 33: 5 , 2014年03月. (査読あり)
- 坂梨左織, 大池 美也子: 口唇形成術を受けた子どもの母親の経験, *家族看護学研究* , 2013年07月.
- 木下義晶,手柴理沙,江角元史郎,永田公二,田口智章:当科における腹壁破裂の治療戦略 日本周産期・新生児医学会雑誌 49(1): 40-42, 2013 (査読なし)
- 永田公二,手柴理沙,江角元史郎,家入里志,木下義晶,田口智章,小児外科疾患と有する患者の在宅医療における問題点 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 27(2): 129-132, 2013(査読なし)
- 濱田裕子:重い病気や障がい野ある子どもとともに～子どもホスピスの実現にむけて～こども環境学研究 VOL19,NO2,16-17,2013

- 潮 みゆき, 川本 利恵子, 樗木 晶子, 中尾 久子, 宮園 真美, 木下 由美子, 金岡 麻希: 修正イーベル法による看護師国家試験問題の適切性の検討, *インターナショナル Nursing Care Research*, 2013 年 05 月. (査読あり)
- 木下 由美子, 川本利恵子, 樗木 晶子, 宮園 真美, 金岡 麻希, 富岡 明子, 孫田 千恵, 潮 みゆき, 中尾 久子, 壬生 隆一: 下部直腸癌に対し内肛門括約筋部分切除術を受けた後の Quality of Life の変化が顕著であった対象者の事例研究, *インターナショナル Nursing Care Research(1347-1341)*, 12 巻 4 号 Page17-26(2013.11), 2013 年 11 月. (査読あり)
- 川本 利恵子, 阿南 あゆみ, 長 聡子, 中尾 久子, 宮園 真美, 木下 由美子, 金岡 麻希, 潮 みゆき: 日常生活における香りに関する影響要因の検討, *応用心理学研究(0387-4605)*, 39 巻 1 号 Page25-32, 2013 年 07 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Akiko Suyama Chishaki: Regulation of cardiac Rhythm and Tecnology-Based Therapeutic Modalities of Cardiac Arrhythmias. , 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 2013 年 07 月 07 日, Japan.
- Hiroyuki Sawatari, mami miyazono, ando shinichi, Mari Konishi Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Rahmawani Anita, Inoue Shujiro, Masao Takemoto, Takafumi Sakamoto, Hiroyuki Tsutsui, Shintaro Kinugawa, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa, Akiko Suyama Chishaki: A Small Device for Topical Leg Warming Improved Vascular Endothelial Function in Patients with Chorionic Heart Failure without Any Harmful Hemodynamic Changes. , 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society , 2013 年 07 月 06 日, Japan.
- H. Chishaki, C. Nakamura, M. Inoue,, N. Hara, Y. Ide, Akiko Suyama Chishaki: eGFR should be understood with cautions in diabetic patients—an observational study of annual health check-up results of middle aged Japanese. 9/2 , ESC Congress (European Society of Cardiology) 2013 , 2013 年 09 月 02 日, Netherlands.
- Elizabeth A Hill, Hiroyuki Sawatari, Donna M Fairley, Mari Nishizaka, Akiko Chishaki, Renata L Riha, Shin-ichi Ando. Sleep-Disorderd breathing in adults with Down syndrome: A cross cultural comparison. UK and Europe Down syndrome Research Forum. 17-18, 2013 Bristol-United Kingdom.
- Junji Ono, Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Anita Rahmawati, Hiromi Kuroda, ando shinichi: We need to pay special attention on sleep postures and heart diseases in Down syndrome with sleep disordered breathing. , the 5th World Congress on Sleep Medicine, 2013 年 09 月 28 日, Spain.
- Hiroyuki Sawatari, Elizabeth A Hill, Mari Konishi Nishizaka, Akiko Suyama Chishaki, Renata L Riha, ando shinichi: Sleep-Disordered Breathing in Adults with Down Syndrome: A Cross Cultural Comparison , the 5th World Congress on Sleep Medicine, 2013 年 09 月 28 日, Spain.
- Hiroyuki Sawatari ,Mami Miyazono, Mari Nishizaki, Shin-ichi Ando, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki. Leg termal therapy improved sleep structure and subjective sleep wuality in chronic heart failure. , the 5th World Congress on Sleep Medicine, 2013 年 09 月 28 日, Spain.
- Anita Rahmawati, Akiko Chishaki, Kouji Nagao, Kazuo Adachi , Mari Nishizaka, Shin-ichi Ando. Magnetic Resonance Imaging Study of Peripharyngeal Mucosal Intensity in Obstructive Sleep Apnea Patients. , the 5th World Congress on Sleep Medicine, 2013 年 09 月 28 日, Spain.
- Yumiko kinoshita, Rieko Kawamoto, Akiko Suyama Chishaki, mami miyazono, Maki Kanaoka, Tomioka Akiko, Chie Magota, Miyuki Ushio, Kohei Kajiwara, Hisako NAKAO, Ryuichi Mibu: The Correlation between Rosenberg Self-esteem and QOL in Patients with Lower Rectal Cancer after Aphincter-saving Surgery: A prospective 12-month Follow-up Study. , AONS(The 1th Asian Oncology Nursing Society Conference) , 2013 年 11 月 22 日, Thailand.
- Hisako NAKAO, Akiko Suyama Chishaki, mami miyazono, Yumiko kinoshita, Maki Kanaoka, Tomioka Akiko, Chie Magota, Miyuki Ushio, Kohei Kajiwara, Reiko Kawamoto: Ethical Issues of Cancer Patients in Maintenance Treatment Piriord or in Stable period , AONS(The 1th Asian Oncology Nursing Society Conference) , 2013 年 11 月 22 日, Thailand.
- Tsunehisa Kaku: Atypical polypoid adenomyoma: Precursor of cancer?, The 3rd Biennial Meeting of Asian Society of Genecologic Oncology, 2013 年 12 月 14 日, Japan.

- Tsunehisa Kaku: Atypical polypoid adenomyoma: Precursor of cancer?, The 3rd Biennial Meeting of Asian Society of Genecologic Oncology, 2013年12月14日, Japan.
- Kinoshita Y: The clinical implication of "distal ureteral diameter/L1-L3 ration" in the vesicoureteral reflux, 46th PAPS, 2013年04月01日, Australia.
- Harada hiroko: promotion of Work-Life Balance(WLB)of hospital nurses -Challenge to Japanese Nursing Association (JNA), ICN Conference 2013, 2013年05月20日, Japan.
- Hiroyuki Sawatari, Akiko Chisyaki, Hiromi Kuroda,, Fumio Matsuoka, Anita Rahmawati, Junji Ono, Nobuko Hashiguchi, Mami Miyazono, Mari Nishizaka, Shin-Ichi Ando: The Abnormal Sleep Postures That Are Frequently Observed In People With Down Syndrome Indicated Breathing in Japanese Cross-Sectional Studies, Sleep 2013 Baltimore APSS Annual Meeting, 2013年06月01日.
- Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Shin-Ichi Ando, Mari Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Syuji Inoue, M Takemoto, T Sakamoto, Hiroyuki Chisyaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chisyaki: Leg Thermal Therapy improved Sleep Structure in Patients with Congestive Herat Disease., Sleep 2013 Baltimore APSS Annual Meeting, 2013年07月06日.
- Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Shin-Ichi Ando, Mari Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Rahmawani A, Syuji Inoue, M Takemoto, T Sakamoto, Tsutusi H, furumoto T, Kinugawa S, Hiroyuki Chisyaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chisyaki: A Small Device for Topical Leg Warming Improved Vascular Endothelial Function in Patients with Chorionic Heart Failure without Any Harmful Hemodynamic Changes. , Sleep 2013 Baltimore APSS Annual Meeting, 2013年07月06日.
- Hiroyuki Sawatari, Akiko Chisyaki, Mari Nishizaka, Fumio Matsuoka, Hiromi Kuroda,, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Junji Ono, Mami Miyazono, Shin-Ichi Ando: Cross-sectional general survey on the relationship between congenital heart diseases and sleep disordered breathing in patients with Down syndrome. , ESC Congress (European Society of Cardiology), 2013年08月31日, Netherlands.
- Narumi Ooshige, Tae Yamaguchi, Nakashima Mitsuyo: Improving fatigue before and after a 16-hour night shift in Japanese female nurses, 1st Worldwide Nursing Conference, 2013年07月08日, Singapore.
- Tae Yamaguchi, Narumi Ooshige, Nakashima Mitsuyo, Kazuo Minematsu: Taking naps during the night shift of nurses must be done with caution, Annual Worldwide Nursing Conference, 2013年07月08日, Singapore.
- Nakashima Mitsuyo, Ooshige Narumi, Yamaguchi Tae, Minematsu Kazuo: Relationship between cumulative fatigue symptoms and feelings of fatigue with two-shift rotation of nursing in Japan, 9th International Nursing Conference, Korea, 2013年10月17日, Korea.
- Maki Kanaoka: Current situation and mutual effects of perioperative interaction between transplantation recipient and living donor , 22nd Annual International Transplant Nurses Society Symposium, 2013年09月20日, United States of America.
- Yumiko kinoshita, Rieko Kawamoto, Akiko Suyama Chishaki, mami miyazono, Maki Kanaoka, Tomioka Akiko, Chie Magota, Miyuki Ushio, Kohei Kajiwara, Hisako NAKAO, Ryuichi Mibu: The correlation between rosenberg self-esteem and QOL in patients with lower rectal cancer after sphincter-saving surgery: a prospective 12-month follow-up study, The 1st Asian Oncology Nursing Society Conference, 2013年11月23日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 樗木 晶子, 大井 啓司, 向井 靖, 砂川 賢二, 竹本 真生: 失神を伴うRVOT-VTの症例, 第17回福岡山口先端不整脈治療研究会, 2013年05月31日, 福岡 リーガロイヤルホテル小倉.
- 樗木 晶子: 「しなやかに、きらめいて九州の女性循環器医へのエール」, 第114回日本循環器学会九州地方会 男女共同参画企画講演 , 2013年06月29日, アクロス福岡 .
- 樗木晶子:ホルター心電図における不整脈診断のポイント,第14回心電図判読セミナー, 2013年6月29日, TKP ガーデンシティーネストホテル熊本

- 樗木 晶子, 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 大井 啓司, 牛ノ濱 大也, 砂川 賢二: 絶え間なく肺動脈の firing を認めた若年の心房細動症例 , 第114回日本循環器学会九州地方会, 2013年06月29日, アクロス福岡.
- 澤渡 浩之, 宮園 真美, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本隆史, 西坂 麻里, アニタ ラハマワティ, 橋口 暢子, 安藤 眞一, 樗木浩朗, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 下肢加温療法は、慢性心不全患者の睡眠を改善する。 , 日本睡眠学会第38回定期学術集会, 2013年06月27日, 秋田キャッスルホテル .
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Hiroyuki Sawatari, Aika Yanai, Mari Konishi Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Junji Ono, Hiromi Kuroda, mami miyazono, ando shinichi: Unusual Sleeping Position as a Protective Effort against Nocturnal Desaturation in Down Syndrome , 日本睡眠学会第38回定期学術集会, 2013年06月27日, 秋田キャッスルホテル .
- 香月俊輔, 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: PVI 後に複数の左房 AT を認めた一例 , 第24回九州不整脈研究会, 2013年07月27日, ホテルセントラーザ博多.
- 吉田昌義, 安藤 眞一, 樗木 晶子, 蒔田直昌, 成田純任, 榎井英利, 長谷川善之, 門上俊明: 通常量のサンリズム投与にて著名な心収縮能障害を来たし一時的な PCPS 留置にて救命できた一症例, 第61回日本心臓病学会学術集会, 2013年09月20日, 熊本.
- 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 樗木 晶子, 高瀬進, 砂川 賢二: 発作性心房細動における肺静脈トリガーおよび心房細動の誘発性と、頻脈下の肺動脈隔離術における電気生理学所見の検討 , 第61回日本心臓病学会学術集会, 2013年09月22日, 熊本.
- 高瀬進, 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 低左心機能の持続性心房細胞に対するカテーテルアブレーションの効果, 第61回日本心臓病学会学術集会, 2013年09月22日, 熊本.
- 井上 修二郎, 向井 靖, 竹本 真生, 高瀬進, 大井 啓司, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 重症心不全、低心拍出症候群を伴った低左心機能症例の心室頻拍と心不全治療に対する一時的心房ペーシングの有有用性の検討 , 第61回日本心臓病学会学術集会, 2013年09月22日, 熊本.
- 小野淳二, 澤渡浩之, 黒田裕美, 宮園 真美, 橋口 暢子, 安藤 眞一, 樗木 晶子: 心疾患を有するダウン症患者における身体的特性に関する検討, 第10回日本循環器看護学会 , 2013年09月29日, 千葉.
- 澤渡浩之, 橋口暢子, 宮園 真美, 樗木 晶子: 心不全患者における遠赤外線下肢加温療法の血行内皮機能への効果, 第1回看護理工学会, 2013年10月05日, タワーホール船堀 千葉.
- 宮園 真美, 橋口暢子, 澤渡浩之, 樗木 晶子: 遠赤外線下肢加温による若年者と高齢者の生理心理反応, 第1回看護理工学会, 2013年10月05日, 東京大学 本郷キャンパス.
- 樗木 晶子: ホルター心電図における不整脈診断のポイント , 第30回日本心電学会学術集会, 2013年10月11日, 青森.
- 竹本 真生, 向井 靖, 井上 修二郎, 樗木 晶子, 砂川 賢二: Easite を用いた inappropriate sinus tachycardia(IST)に対するカテーテルアブレーション(RFCA): 当院で施行した7症例の治療成績の検討, 30回日本心電学会学術集会, 2013年10月11日, 青森.
- 樗木 晶子: 高齢者の安全な入浴を目指して, 第66回日本自津神経学会 , 2013年10月25日, 名古屋 愛知産業労働センター.
- 向井 靖, 井上 修二郎, 高瀬 進, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 心房細動アブレーション手技中に肺静脈2段脈を認めた症例の検討, 日本不整脈学会 第25回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2013年11月01日, パシフィコ横浜.
- 村上雄二, 井上 修二郎, 向井 靖, 竹本 真生, 高瀬 進, 大谷 規彰, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 分界稜 gap を緩除伝導とした Upper Loop Reentry の1例 , 日本不整脈学会 第25回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会 , 2013年11月02日, 横浜.
- 高瀬進, 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 収縮性心不全に併発した持続性心房細動に対するカテーテルアブレーションの効果 , 日本不整脈学会 第25回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2013年11月02日, パシフィコ横浜.
- 澤渡 浩之, 宮園 真美, 西坂 麻里, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本 隆史, 安藤 眞一, アニタ・ラハマワティ, 橋口 暢子, 樗木浩朗, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 慢性心不全患者における下肢加温療法による不眠の改善 , 第70回日本循環器心身医学会総会 , 2013年11月22日, 東京女子医科大学.
- 小野淳二, 黒田裕美, 澤渡浩之, 宮園 真美, 橋口 暢子, 吉村 力, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 樗木 晶子: ダウン症者における睡眠呼吸障害の実態とその発生要因に関する全国調査, 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013年12月06日, 大阪国際会議場.

- 宮園 真美, 澤渡浩之, 小野 淳二, 橋口 暢子, 前野友香里, 木下 由美子, 金岡 麻希, 梶原 弘平, 潮 みゆき, 孫田 千恵, 中尾 久子, 樗木 晶子: 脚部サウナ使用時の高齢者の生理・心理反応, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 06 日, 大阪国際会議場.
- 村上雄二, 井上 修二郎, 向井 靖, 竹本 真生, 高瀬進, 大谷規彰, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 器質的疾患を有さない分界稜 gap を緩徐伝導とした Upper loop reentry の症例, 第 115 回日本循環器学会九州地方会, 2013 年 12 月 07 日, マリトピア佐賀.
- 上野山紗織, 向井 靖, 井上修二郎, 西原正章, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 側頭葉てんかんに伴う Lctal Asystole の一例, 第 115 回日本循環器学会九州地方会, 2013 年 12 月 07 日, マリトピア佐賀.
- 長山 友美, 向井 靖, 井上 修二郎, 竹本 真生, 樗木 晶子, 砂川 賢二: Brugada 症候群含む特発性心室細動における早期再分極所見の検討, 第 26 回心臓性急死研究会, 2013 年 12 月 21 日, 東京コンファレンスセンター・品川.
- 宮園 真美, 眞茅 みゆき, 樗木 晶子, アニタラハマワティ, 澤渡 浩之, 石川 勝彦, 宮島 健, 大塚 祐子, 仲井 盛, 櫻田 春水: 「植込み型除細動器 (ICD) 治療が及ぼす気分障害および心的外傷後ストレス障害(PTSD) における性差」, 第 7 回日本性差医学・医療学会学術集会, 2014 年 01 月 31 日, 東京女子医大 弥生記念講堂 .
- 樗木 晶子: 1 部: デバイスと患者さん -患者として知るべきその管理について- “デバイス植込み後の患者さん(社会復帰と心の問題)”, 第 6 回植込みデバイス関連冬季大会, 2014 年 02 月 23 日, 広島国際会議場.
- 塩波 望美, 樗木 晶子, 宮園 真美, 澤渡 浩之, 橋口 暢子: 心不全の悪化と再入院予防を目的とした電話による介入の効果, 第 49 回日本循環器病予防学会, 2013 年 06 月 14 日, 金沢.
- 樗木晶子: 心房細動はなぜ悪いのか〜心原性塞栓症の観点から〜” 第 17 回九州総合診療セミナー ,2014 年 03 月 14 日 ,ホテルニューオータニ博多
- 樗木晶子: Clinical outcomes of warfarin treatment in the patients with non-valvular atrial fibrillation -A propensity-matched analysis of the J-RHYTHM Registry-, 第 78 回日本循環器学会学術集会,2014 年 3 月 21 日-23 日 ,東京国際フォーラム
- Hiroyuki Sawatari, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Anita Rahmawati, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Mari Nishizaka, Tomomi Ide, Shin-ichi Ando, Hiroaki Chishaki, Kenji Sunagawa, Akiko Chishaki.: Leg thermal therapy improves sleep quality with amelioration of vascular endothelial function in patients with chronic heart failure.第 78 回日本循環器学会学術集会(平成 26 年 3 月 21 日-23 日 東京国際フォーラム)
- 樗木晶子: “継続は力“ 第 78 回日本循環器学会学術集会第 4 回男女共同参画委員会セッション 2014.3.22 東京国際フォーラム
- 兼城 英輔, 小林 裕明, 河野 善明, 権丈 洋徳, 八木 裕史, 長山 利奈, 奥川 馨, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 加来 恒壽, 加藤 聖子: シラーテストによる子宮頸部異形成の組織学的に変性に関する検討, 第 65 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2013 年 05 月 11 日, 札幌プリンスホテル.
- 河野 善明, 八木 裕史, 権丈 洋徳, 大神 達寛, 兼城 英輔, 奥川 馨, 浅野間 和夫, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 加来 恒壽, 小林 裕明, 加藤 聖子: 遠隔転移を有する子宮頸癌に対する初回治療について, 第 65 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2013 年 05 月 11 日, 札幌プリンスホテル.
- 長山 利奈, 小林 裕明, 権丈 洋徳, 八木 裕史, 兼城 英輔, 河野 善明, 奥川 馨, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 加来 恒壽, 加藤 聖子: 抵抗性再発ミューラー管がんに対するジェムシタピン単剤化学療法の検討, 第 65 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2013 年 05 月 12 日, 札幌プリンスホテル.
- 島田 宗昭, 西尾 真, 石谷 健, 落合 和徳, 竹島 信宏, 横山 良仁, 古本 博孝, 加来 恒壽, 杉山 徹, 紀川 純三: 進行・再発卵巣粘液性腺癌に対する SOX (S-1/Oxaliplatin)療法の第 II 相試験, 第 65 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2013 年 05 月 11 日, 札幌プリンスホテル.
- 仲 正喜, 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 大石 善丈, 田宮 貞史, 大久保 文彦, 小田 義直, 横山 正俊, 岩坂 剛, 杉島 節夫: 培養細胞を用いた pair cells 生成に関する検討, 第 54 回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2013 年 06 月 01 日, グランドプリンスホテル新高輪.
- 深井 さやか, 権丈 洋徳, 長山 利奈, 八木 裕史, 兼城 英輔, 河野 善明, 奥川 馨, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 小林 裕明, 加来 恒壽, 加藤 聖子: 23 年後に再発した子宮体癌の一例, 第 70 回九州連合産科婦人科学会, 2013 年 06 月 09 日, 市民会館崇城大学ホール(熊本).
- 奥川 馨, 小林 裕明, 権丈 洋徳, 長山 利奈, 八木 裕史, 兼城 英輔, 河野 善明, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 加来 恒壽, 内田 聡子, 福嶋 恒太郎, 加藤 聖子: 子宮頸部摘出術後に分娩に至った

3 症例の検討(吻合部周囲静脈瘤に着目して), 第 54 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2013 年 07 月 20 日, ホテルグランパシフィック LE DAIBA.

- 園田 顕三, 小林 裕明, 矢幡 秀昭, 野上 美和子, 大久保 文彦, 仲 正喜, 山元 英崇, 浅野間 和夫, 奥川 馨, 兼城 英輔, 河野 善明, 大神 達寛, 八木 裕史, 権丈 洋徳, 小田 義直, 加来 恒壽, 加藤 聖子: 特徴的な細胞診所見を呈した子宮頸部明細胞腺癌の一例, 第 29 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2013 年 07 月 27 日, 九州大学医学部百年講堂.
- 権丈 洋徳, 八木 裕史, 大神 達寛, 河野 善明, 兼城 英輔, 奥川 馨, 野上 美和子, 大久保 文彦, 相島 慎一, 浅野間 和夫, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 加来 恒壽, 小田 義直, 小林 裕明, 加藤 聖子: 悪性腹膜中皮腫の確定診断に腹腔鏡下生検術が有用であった一例, 第 29 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2013 年 07 月 28 日, 九州大学医学部百年講堂.
- 湯田 翔子, 大石 善丈, 渡邊 壽美子, 大久保 文彦, 山元 英崇, 小田 義直, 岩本 幸英, 加来 恒壽, 杉島 節夫: 軟骨肉腫と内軟骨腫の細胞像の比較検討, 第 29 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2013 年 07 月 28 日, 九州大学医学部百年講堂.
- 脇本 尚子, 奥川 馨, 兼城 英輔, 権丈 洋徳, 八木 裕史, 大神 達寛, 河野 善明, 浅野間 和夫, 矢幡 秀昭, 園田 顕三, 今村 紘子, 小林 裕明, 加藤 聖子, 加来 恒壽, 小田 義直: 診断が困難であった外陰軟部腫瘍の一例, 第 147 回福岡産科婦人科学会, 2013 年 09 月 15 日, 北九州市立男女共同参画センター.
- 加来 恒壽: 子宮頸部腺癌の病理と細胞診, 第 30 回日本臨床細胞学会佐賀県支部地方会, 2014 年 02 月 22 日, 佐賀県医師会成人病予防センター.
- 村井孝子, 原田 博子, 大池 美也子: 認定看護管理者資格を持つ看護部長のキャリア発達の構造に関する質的研究, 第 17 回日本看護管理学会, 2013 年 08 月 24 日, 東京.
- 河口てる子, 井上智恵, 伊波早苗, 安酸史子, 大池 美也子, 道面(山本) 千恵子: 「看護の教育的関わりモデル」で看護が変わる, 第 33 回日本看護科学学会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪.
- 伊藤尚加, 大池 美也子: 看護専門学校における看護教員の看護観と教授活動に関する質的研究, 日本看護学研究学会第 39 回学術集会, 2013 年 08 月 23 日, 秋田.
- 中尾 久子, 原田 博子, 福本 京子: 身体拘束を倫理的側面から考える—生命の安全性と人権の尊重について—, 日本看護倫理学会第 6 回年次大会, 2013 年 06 月 08 日, 鹿児島市.
- 木下 義晶, 代居良太, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 久田正昭, 三好きな, 孝橋賢一, 小田 義直, 原寿郎, 田口智章: 小児腎悪性腫瘍の治療戦略における小児外科医の役割, 日本外科学会, 2013 年 04 月 01 日, 福岡市.
- 木下 義晶, 代居良太, 宗崎良太, 古賀友紀, 住江愛子, 久田正昭, 三好きな, 孝橋賢一, 小田 義直, 原寿郎, 田口智章: 小児腎悪性腫瘍の治療戦略における小児外科医の役割, 日本外科学会, 2013 年 04 月 01 日, 福岡市.
- 木下 義晶: VUR に対する内視鏡的逆流防止術における工夫, 第 50 回日本小児外科学会, 2013 年 05 月 01 日,
- 木下 義晶, 貝沼茂三郎, 永田公二, 家入里志, 田口智章: 遺糞症に対する pull through 後に生じた便失禁に補中益気湯が有効であった 1 例, PSJM 日本小児外科漢方研究会, 2013 年 10 月 01 日, 東京.
- 木下 義晶: 新生児外科手術における小切開手術と内視鏡手術の使い分け, 小切開・鏡視外科学会, 2013 年 11 月 01 日,
- 木下 義晶: 当施設における MRTK の治療戦略, 第 55 回日本小児血液・がん学会, 2013 年 12 月 01 日, .
- 木下 義晶: VUR 治療戦略における Distal ureteral diameter/L1-L3 ratio の有用性の検討, 日本小児泌尿器科学会, 2013 年 07 月 01 日, .
- 原田 博子: 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインから考える勤務表作成のポイント , 第 17 回日本看護管理学会, 2013 年 08 月 24 日, 東京ビッグサイト .
- 橋口 暢子: 夏季および冬季室内における高齢者の生理・心理反応に及ぼす除湿・加湿の影響, 第 1 回看護理工学会, 2013 年 10 月 05 日, 東京.
- 廣渡加奈子, 濱田 裕子, 藤田 紋佳: 在宅で医療的ケアを要する子どもを持つ両親の養育体験—幼児期の“小児緩和ケア対象児”に焦点をあてて— , 第 20 回日本家族看護学会学術集会, 2013 年 08 月 31 日, 静岡.
- 丸山 マサ美: 医療倫理学における新しい教育方法の構築, 日本生命倫理学会, 2013 年 11 月 30 日, 東京大学.
- 丸山 マサ美, 小宗 静男, 吉田 眞一: 「福岡醫科大學醫院耳鼻咽喉科手術候補簿」第 114 回日本医史学会, 2013 年 5 月 12 日, 日本歯科大学

- 山口多恵, 大重育美, 中島 充代, 峰松和夫: 二交代制勤務時の仮眠時間および身体活動強度が自覚的疲労に及ぼす影響, 日本看護研究学会第 39 回学術集会, 2013 年 08 月 01 日, 秋田.
- 中島 充代, 大重育美, 山口多恵, 井口恵美子: 二交代制勤務における看護必要度と身体活動量、自覚的疲労との関連, 第 44 回日本看護学会 看護管理, 2013 年 09 月 20 日, 大阪国際会議場.
- 大重育美, 山口多恵, 中島 充代, 井口恵美子: 16 時間夜勤時の疲労回復過程における自覚的疲労、身体活動量との関連, 第 44 回日本看護学会 看護管理, 2013 年 09 月 20 日, 大阪国際会議場.
- 大重育美, 山口多恵, 中島 充代: 2 交代勤務者における慢性的疲労の要因分析, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪.
- 中島 充代, 大重育美, 山口多恵: 二交代制勤務時の繁忙感及び看護必要度の身体活動量への影響, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪.
- 佐藤信二, 中島 充代, 高木祥子: 造血細胞移植患者のうつ状態を評価する看護師の認識と困難, 第 28 回日本がん看護学会, 2014 年 02 月 08 日, 新潟.
- 吉川由香里, 道面(山本) 千恵子: 新人看護職員における e ラーニング教材の学習効果一動画閲覧型教材とシナリオシミュレーション型教材を比較して一, 日本看護科学学会, 2013 年 12 月 01 日, 大阪.
- 木下 由美子, 川本 利恵子, 宮園 真美, 金岡 麻希, 富岡 明子, 孫田 千恵, 潮 みゆき, 樗木 晶子, 中尾 久子: The Correlation between Rosenberg Self-esteem and QOL in Patients with Lower Rectal Cancer after Sphincter-saving Surgery: A Prospective 12-month Follow-up Study, The 1st Asian Oncology Nursing Society Conference, 2013 年 11 月 23 日, 沖縄コンベンションセンター.
- 田中 さとみ, 金岡 麻希: これまでの文献に見る肝移植患者に対する退院指導の実態, 第 9 回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2013 年 10 月 26 日, 東京大学.
- 藤野 成美, 末次 美子, 藤野 ユリ子, 金岡 麻希, 大村 由紀美, 豊福 佳代, 松本 由香, 松本 裕子, 川本 利恵子, 山下 春江, 馬場 チエミ, 重松 博子, 宮園 真美, 酒井 久美子, 中畑 高子: 看護研究における実践への還元に焦点を当てた研修の効果に関する検討(第 1 報), 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪国際会議場.
- 大村 由紀美, 藤野 ユリ子, 川本 利恵子, 藤野 成美, 宮園 真美, 末次 美子, 金岡 麻希, 松本 裕子, 山下 春江, 馬場 チエミ, 重松 博子, 豊福 佳代, 松本 由香, 酒井 久美子, 中畑 高子: 大学病院看護師が実施する看護研究の支援体制の実態と教育機関との連携, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪国際会議場.
- 梶原 弘平, 中谷久恵, 小野 ミツ, 宮腰由紀子: 認知症高齢者の家族介護者の肯定的認識を支えるリーフレットを用いた簡便な実践的介入の試み, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 07 日, 大阪国際会議場.
- 藤田 紋佳, 中村伸枝, 佐藤奈保, 林田 真, 木下 義晶, 田口 智章: 生体肝移植後の学童後期の子どもと母親の療養生活の実態と療養行動上の問題, 日本移植学会, 2013 年 09 月 06 日, 国立京都国際会館.
- 藤田 紋佳: 生体肝移植後の高校生の療養生活の実態と療養行動上の問題, 日本移植・再生医療看護学会(第 9 回), 2013 年 10 月 26 日, 東京大学医学部鉄門記念講堂.
- 廣渡加奈子, 濱田 裕子, 藤田 紋佳: 在宅で医療的ケアを要する子どもを持つ両親の養育体験一幼児期の“小児緩和ケア対象児”に焦点をあてて一, 日本家族看護学会(第 20 回), 2013 年 09 月 01 日, 静岡県立大学.

f. 学会以外での講演, 発表

- 樗木晶子, 「もっと知りたい高血圧と心臓病～心房細動ほか～」就業の安全と健康を考える会 2013.11.23 九州学士会(福岡市中央区天神)
- 樗木晶子, 「さらなる男女共同参画をめざして～女性が働き続けるために」大野城女性の会 講演会 25.11.30 福岡大野城まどかぴあ
- 樗木晶子, 「心房細動と抗凝固療法」福岡県社保・国保審査委員及び郡市医師会保健担当理事・福岡県医師会保健担当理事合同学術講演会 26.1.22 ホテルセントラーゼ博多
- 樗木晶子, 「グッドプラクティスに学ぶ～本学が目指すべき女性活用の手法と効果」平成 25 年度男女共同参画推進セミナー 25.9.26 宮崎大学 盛夏アテナ男女共同参画推進室

- 樗木晶子,「より良い男女共同参画を目指して 九州大学の取り組み」大学医学部女性医師支援担当者連絡会 25.9.27 東京 日本医師会
- 樗木晶子, 久留米大学男女共同参画WGアドバイス講演, 2014年2月4日, 久留米大学,
- 樗木晶子,「心原性塞栓症における抗凝固療法のパラダイムシフト」,福岡地区勤務薬剤師会第608回例会, 2014年02月12日, アクロス福岡 4F「国際会議場」,
- 樗木晶子,「植込み型細動器患者のメンタルケア」,第128回地域医療講演会, 2014年02月13日, 高知(近森病院)
- 樗木晶子,「健康長寿と不整脈 ～心房細動を中心に～」,松坂地区医師会懇話会, 2014年02月20日, 三重(松坂)
- 樗木晶子,「心房細動と抗凝固療法に関する最新の知見」,循環器疾患病診連携の会, 2014年02月21日, 福岡(小倉)

著作

a. 単行本

- 樗木 晶子:(単著) “低体温とJ波“ J波症候群 P114-121, 2013年05月, 医学出版社.
- 樗木 晶子:(共著) トートラ 人体解剖生理学 原書9版(Introduction of the Human Body The Essentials of Anatomy and Physiology ninth Edition) , 2014年01月, 丸善出版.
- 樗木 晶子, 川本利恵子:(編集) ベーシックナーシング 2015年版 , 2014年03月, メディカルレビュー社.
- 加来 恒壽, 眞弓恵美子:(編集) 婦人科がん患者の臨床と看護, 2013年09月, 医学出版.
- 川本 利恵子, 中尾久子, 原田博子, 宮園真美:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター 初めて臨地実習をする人のために, 2013年11月, ユリス.
- 中尾久子:臨地実習における倫理的配慮、老年看護学実習、川本利恵子編集、臨地実習指導ナビゲーター 初めて臨地実習をする人のために, 2013年11月, ユリス.
- 中尾久子:看護倫理、老年看護学、樗木 晶子, 川本利恵子(編集) ベーシックナーシング 2015年版, 2014年03月, メディカルレビュー社.
- 木下 義晶:(共著) スタンダード小児外科手術 泌尿器(膀胱尿管逆流防止術), 2013年04月, メジカルビュー社.
- 原田 博子, 川本 利恵子:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター, 2013年07月, ユリス・出版部.
- 橋口 暢子:(共著) 健康に暮らすための住まいと住まい方エビデンス集, 2013年06月, 健康維持増進住宅研究委員会、技報堂出版.
- 濱田 裕子, 藤田 紋佳:(共著)「小児看護学実習」臨地実習指導ナビゲーター, 2013年07月, ユリス.
- 丸山 マサ美, 吉田 眞一, 小宗 静男, MICHEL WOLFGANG:(共著)九州大学医学部標本・史料集:1997年調査, 2013年05月, 九州大学医学研究院.
- 木下 由美子, 富岡 明子:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター, 2013年07月, ユリス出版.
- 中尾 富士子, 木下 由美子, 富岡 明子, 川本 利恵子:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター, 2013年07月, ユリス出版.
- 川本 利恵子, 金岡 麻希:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター ―はじめて臨地実習指導をする人のために―, 2013年07月, ユリス.
- 川本 利恵子, 小野 ミツ, 宮園 真美, 木下 由美子, 金岡 麻希, 富岡 明子:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター―はじめて臨地実習指導をする人のために―, 2013年07月, .
- 藤田 紋佳, 濱田 裕子, 川本 利恵子, 金岡 麻希, 木下 由美子, 木村 一絵, 寺岡 佐和, 富岡 明子, 中尾 久子, 中尾富士子, 長弘千恵, 藤野成美, 原田 博子, 宮園 真美, 阿南あゆみ, 藤野ユリ子:(共著) 臨地実習指導ナビゲーター―はじめて臨地実習指導をする人のために― 6 小児看護学実習[濱田裕子、藤田紋佳], 2013年07月, ユリス.

b. 総説

- 樗木 晶子:“QRS前後にみる心電図所見から解ること”, レジデント 心電図攻略法 診断能力向上のためのト라의巻 医学出版 , 2014年03月, .
- 中尾 久子: 倫理 看護管理者の倫理(第1回) 看護倫理とは, 師長主任業務実践,産労総合研究所, 2013年04月, .
- 中尾 久子: 倫理 看護管理者の倫理(第2回) 看護管理者に対する看護倫理教育, 師長主任業務実践,産労総合研究所, 2013年05月

- 中尾 久子: 倫理 看護管理者の倫理(第3回) 事例への対応プロセス, 師長主任業務実践, 産労総合研究所, 2013年06月
- 中尾 久子, 富岡 明子: 倫理 看護管理者の倫理(第4回) 倫理を問われる事例に対しての看護管理者の役割とは何か 事例の展開(1), 師長主任業務実践, 産労総合研究所, 2013年07月
- 宮園 真美, 中尾 久子: 倫理 看護管理者の倫理(第5回) 倫理を問われる事例に対しての看護管理者の役割とは何か 事例の展開(2), 師長主任業務実践, 産労総合研究所, 2013年08月
- 中尾 久子, 潮 みゆき: 倫理 看護管理者の倫理(第6回)(最終回) 医療チーム間で倫理に関する考え方をどう調整していくか, 師長主任業務実践, 産労総合研究所, 2013年09月
- 井上由美子, 原田 博子, 大池 美也子: 集中治療室に緊急入院する患者の家族の思いに関する文献検討, 発達社会学, 2013年10月,

c. 解説, 書評など

- 加来 恒壽: 卵巣腫瘍の新しい組織分類(2009), 日本産科婦人科学会雑誌, 2013年11月,
- 濱田裕子: 喪失の悲しみとともに生きる: 質的心理学研究, 12, 200-201, 2013

受賞

- 樗木晶子, 「植込型除細動器患者の QOL 向上をめざした精神的ケアの構築」, 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ国内共同研究(年齢制限なし), 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ, 2013年11月.
- 加来恒壽, 社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰, 2013年10月25日
- 中尾久子, 「日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞「情報化社会が看護実践能力及びコミュニケーションに及ぼす影響」」, 日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞, 日本応用心理学会, 2013年09月.
- 原田博子, 「平成22年から3年間にわたり、看護職のワーク・ライフ・バランス普及推進ワークショップにて地域へのワーク・ライフ・バランス普及推進委員会の委員として貢献したことの功勞として」, 看護職のワーク・ライフ・バランス推進カンゴサウルスサポート賞, 日本看護協会, 2013年04月.
- 木下(由美子), 「日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞「情報化社会が看護実践能力及びコミュニケーションに及ぼす影響」」, 日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞, 日本応用心理学会, 2013年09月.
- 金岡麻希, 「日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞「情報化社会が看護実践能力及びコミュニケーションに及ぼす影響」」, 日本応用心理学会 第79回 優秀大会発表賞, 日本応用心理学会, 2013年09月

報道

- 樗木晶子, NHK, 「はっけん玉手箱「狭心症」」, 2013年05月.
- 樗木晶子, アヴァンティ福岡, 「命を守る医療人、ワーク・ライフ・バランス実現を目指して」, 2013年05月.
- 樗木晶子, ベプリコール適正使用のために, 「器質的心疾患を有する女性の持続性心房細動患者への投与時の注意 ベプリコール投与により過度のQT延長とTorsades de pointsが見られた症例 [78歳女性]高血圧・解離性動脈瘤・洞機能不全を伴う持続性心房細動」, 2013年05月.
- 樗木晶子, KBC「とっても健康ランド」, 「不整脈(危険な不整脈、危険ではない不整脈、進化する心電図検査機器)」, 2013年08月.
- 加来恒壽, 朝日新聞, 「子宮体がん(子宮内膜がん)とはどんな病気?」, 2013年12月.
- 原田博子, 夢ナビブログ, 「ICT学習で看護技術レベルアップ」, 2013年10月.
- 原田博子, 夢ナビブログ, 「災害時の看護は知識と技術の集大成」, 2013年10月.
- 濱田裕子, 朝日新聞, 「子どもの日に難病の子どもとご家族を対象にしたイベントを開催し、病院や在宅療養中の子どもとその家族が参加した様子がとりあげられ、福岡子どもホスピスプロジェクトについて紹介された。」, 2013年05月.
- 濱田裕子, RKBラジオ, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクト活動(難病児のための訪問やイベント、子どものホスピスの紹介)」, 2013年10月.
- 濱田裕子, RKB毎日放送, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクト活動(難病児のための訪問やイベント活動、および子どものホスピスの紹介)」, 2013年10月.
- 濱田裕子, FBS, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクトの紹介」, 2013年11月

- 濱田裕子, 西日本新聞, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクトと音楽会についてとりあげられた。」2013年10月
- 濱田裕子, 朝日新聞, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクトにおいて、難病の子どもと家族を対象にした音楽会の様子がとりあげられた。」2013年10月
- 濱田裕子, 朝日新聞, 「筆者と子どもホスピスプロジェクトの紹介」, 2013年11月.
- 濱田裕子, 朝日新聞, 「筆者らが主催する福岡子どもホスピスプロジェクトにおいて子どもホスピスの創設者と子どもを亡くした母親との交流の様子」, 2013年12月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 樗木晶子, MEMS 血流量センサを用いた献血時転倒予測システムの研究・開発, 富士ゼロックス株式会社, 2014年02月～2015年03月

2. 受託研究

- 加来, 地域医療における細胞診断の意義, 臨床病態医学研究所, 2007年01月～2013年04月

3. 取得特許

- 経皮刺激による血圧安定化装置, 砂川賢二、樗木晶子、吉田昌義, PTC/JP2008002922 特許第5366146号

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 中尾久子、宮園真美: New York City College, Hunter School, New York Simulation Center for the health Sciences, United States of America, 2013.02
- 木下(義晶), Kaohsiung Medical University, College of Nursing (Taiwan), その他, 2014年03月
- 濱田裕子, AZIENDA OSPEDALIERO-UNIVERSITA (Italy), その他, 2013年09月
- 木下(由美子), The University of Texas MD Anderson Cancer Center, The University of Texas School of Nursing at Houston Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, Hunter-Bellevue School of Nursing, The City University of New York (Armenia), 大学・研究所訪問, 2013年09月
- 道面(山本)千恵子, Kaohsiung Medical University, College of Nursing (Taiwan), 2014年03月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

- Kathleen M.Nokees, 訪問教授, New York City College, Hunter-Bellevue School of Nursing, United States of America.

b. 訪問研究者 なし

c. 留学生の受入れ

Anita Rahmawati	博士課程	留学生
ブディアント・イスカンダル	研究生	留学生
劉 新明	研究生	留学生

d. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 総長特別補佐.
- 樗木, 男女共同参画室長
- 樗木, 人員管理委員会ワーキンググループ構成委員.
- 加来, 学生委員会委員.
- 加来, 学生生活・修学相談室相談員.
- 大池, 看護実践カブロッサム開発プロジェクト委員会.
- 大池, 21世紀プログラム委員会委員.
- 金岡, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 教育研究推進ワーキンググループ

2. 部局委員

- 樗木, 総合基礎看護講座会議講座長.
- 樗木, 九州大学医学部循環器内科認定医研修医指導.
- 大池, 広報委員会委員長.
- 大池, 保健学科十周年記念会に向けた企画・運営.
- 中尾, 施設環境委員会委員長
- 中尾, 医療系統合教育研究センター委員会委員.
- 中尾, 医系薬部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会委員
- 中尾, 教務委員会委員
- 中尾, 基礎研究B棟運営委員会委員
- 原田, 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会.
- 原田, 看護学臨地実習委員会.
- 原田, 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会.
- 原田, 九州大学臨地実習指導者委員会.
- 原田, ARO次世代医療センター臨床研究支援部百人部会委員.
- 木下(由), ARO次世代医療センター臨床研究支援部百人部会委員.
- 金岡, 先進医療適応評価委員.

3. 部門・コース内委員

- 中尾, 看護学分野、分野長
- 中尾, 保健学部門、副部門長
- 中尾, 看護学実習委員会委員長
- 中尾, 看護教育運営会議、委員長
- 中尾, 看護実践カブロッサム、看護キャリアシステム委員会委員.
- 中尾, 九州大学医学部保健学科十周年記念事業委員
- 濱田, 卒業研究委員会委員長.
- 宮園, 実習委員会委員
- 宮園, 広報委員
- 丸山, 九州大学医学部保健学科十周年記念事業委員.
- 道面(山本), 九州大学医学部保健学科十周年記念事業委員.
- 道面(山本), 図書委員.
- 木下(由), 広報委員.
- 橋口 広報委員.
- 木下(由), 看護教育運営委員.
- 金岡, 施設環境委員
- 梶原, 地域国際連携推進・FD委員
- 藤田, 看護教育運営委員
- 藤田, 実習委員会委員
- 孫田, 地域国際連携推進・FD委員
- 孫田, 卒業研究委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 加来, 佐賀大学, 非常勤講師.
- 大池, 九州看護福祉大学, 非常勤講師.
- 大池, 福岡県教務主任研修, 非常勤講師.
- 大池, 福岡県看護専任教員養成講習会, 非常勤講師.
- 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師, 非常勤講師.
- 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会, 非常勤講師.
- 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成), 非常勤講師.
- 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修), 非常勤講師.
- 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師・面接委員,
- 大池, 国立熊本南病院, 非常勤講師.
- 大池, 宗像医師会病院, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学/認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師.
- 木下(義), 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 原田, 山口大学大学院経済研究科医療福祉経営修士課程, 非常勤講師.
- 原田, 九州工業大学工学部, 非常勤講師.
- 原田, 放送大学, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会 非常勤講師.
- 濱田, 公益社団法人日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師研修会講師, 非常勤講師.
- 濱田, 第157回メンタルケア・スペシャリスト養成講座講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院修士課程(看護倫理), 非常勤講師.
- 木下(由), 福岡県看護教員養成講習会, .
- 木下(由), 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程, .
- 金岡, 福岡県看護教員養成講習会, 非常勤講師.

2. 学協会

- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 理事、国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州地方会 男女共同参画委員会九州支部会, その他(副委員長), 国内.
- 樗木, 心臓性急死研究会, その他(世話人), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, その他(社員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, その他(査読委員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他(最優秀論文賞選考委員), 国内.
- 樗木, 日本性差医学・医療学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本内科学会, 認定医制度研修医指導医, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 第19回日本心電学会学術奨励賞選考委員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 心電検査技師制度委員, 国内.
- 樗木, 日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 幹事, 国内.
- 樗木, 日本不整脈学会, 不整脈専門医資格認定試験問題作成委員, 国内.
- 樗木, 日本循環器管理研究協議会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本失神研究会, 世話人, 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, 代議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, プログラム委員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 学会誌最優秀論文賞選考委員, 国内.

- 樗木, 日本循環器看護学会, 日本循環器看護学会誌専任査読委員, 国内.
- 樗木, Journal of Cardiology, 査読委員, 国際.
- 樗木, Internal Medicine, 査読委員, 国際.
- 樗木, Hypertension Research, 査読委員, 国際.
- 樗木, PACE, 査読委員, 国際.
- 樗木, Clinical and Experimental Hypertension, 査読委員, 国際.
- 樗木, 国内健康支援学会誌, 編集委員, 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本母性衛生学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診専門医委員会委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(国際交流委員担当理事), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ卵巣小委員会委員長), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(評議員選出委員会委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本医学看護教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 九州看護理論研究会, 会長, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 役員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 理事(広報・渉外・社会貢献委員会担当), 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会看護管理者認定委員会副委員長, 国内.
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護科学学会誌和文誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 査読委員, 国内.
- 中尾, 日本看護系大学協議会、代表者
- 中尾, 日本看護科学学会, その他(代議員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理(日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 木下(義), 日本小児外科学会, 教育委員, 国内.
- 木下(義), 日本小児外科学会, 悪性腫瘍委員, 国内.
- 木下(義), 日本小児外科学会, 評議員, 国内.
- 木下(義), 日本血液・がん学会, 評議員, 国内.
- 木下(義), 日本血液・がん学会, ガイドライン委員, 国内.
- 木下(義), 日本血液・がん学会, プログラム委員, 国内.
- 木下(義), 日本小児泌尿器科学会, 評議員, 国内.
- 木下(義), 日本横紋筋肉腫スタディグループ, 幹事, 国内.
- 木下(義), 日本神経芽腫スタディグループ, 運営委員, 国内.
- 原田, 日本循環器看護学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, Journal of PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY, 編集委員, 国際.
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, 倫理委員, 国内.
- 濱田, 日本小児がん看護学会, 第11回学術集会長, 国内.
- 濱田, 日本小児がん看護学会, プログラム委員, 国内.
- 濱田, 小児看護学会誌, 専任査読委員, 国内.

- 濱田, 日本小児がん看護学会, プログラム委員, 国内.
- 濱田, 小児看護学会誌, 専任査読委員, 国内.
- 濱田, 日本家族看護学会誌, 専任査読委員, 国内.
- 濱田, 日本小児がん看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 高知女子大学看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 運営委員・学術雑誌(英文)査読委員(国際学術交流委員会委員), 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 理事
- 道面(山本), 日本看護学教育学会, その他(広報・渉外・社会貢献委員会委員), 国内.
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会, 理事, 国内.
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会ニュースレター, 編集委員, 国内.
- 藤田, 日本小児がん看護学会, プログラム委員, 国内.

3. 官界

- 樗木, 日本学術振興会科学研究費委員会 専門委員, 日本学術振興会.
- 加来, 「福岡県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員」, 社会保険診療報酬支払基金福岡支部.
- 中尾, 福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議、委員長. 福岡県保健医療介護部高齢者支援課

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 原田, 「日本看護協会の事業である地域における WLB 推進活動委員長として、2010 年から 4 年間の活動を実施した。さらに、平成 24 年には、その活動を認められカンゴサウスル賞を受賞した」, 2013-05-01 .
- 濱田, 「福岡子どもホスピスプロジェクト プロジェクトリーダー」, 2013-01-01 .
- 藤田, 「九州大学助産師同窓会 委員」, , 2013-01-01 .
- 藤田, 「胆道閉鎖症親子の会」, , 2013-06-01 .
- 藤田, 「福岡子どもホスピスプロジェクト 実行委員」, 2013-01-01 .

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 福岡ペースメーカー友の会総会講演会「はらはらどきどきの不整脈, 福岡ペースメーカー友の会. 西新パレスホール, 公開講座.
- 樗木, 「大分東部地区抗凝固療法懇話会「心原性塞栓症に対する新しい抗凝固療法」, 大分東部地区医師会. 大分市, 講演会・公開討論.
- 樗木, 「笑顔あふれる環境を共につくろう～九州大学病院の梅ちゃん先生～」, 筑前町男女共同参画センター. 福岡県朝倉郡筑前町, 講演会・公開討論.
- 大池, 「高校生・中学生を対象とした、ナーシングサイエンスカフェの企画と運営を行った。」, 日本看護学教育学会. 宮城県, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理研修 I」, 大分大学医学部附属病院. 大分市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「医療従事者として*対象者への態度、気持ちを考える」, 済生会江津総合病院. 島根県江津市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理」, 北九州古賀病院. 古賀市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理は難しくない」, 福岡県病院協会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理は難しくない」, 大牟田市立病院. 大牟田市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「みんなで学ぶ看護倫理」, 九州労災病院. 北九州市, セミナー・研修会.
- 中尾, 模擬講義 大学で学ぶ医療倫理、福岡県立東筑高校、北九州市.
- 木下(義), 「小児がんの外科治療」, がんの子どもを守る会九州北支部 第 38 回がん交流会
- 木下(義), 「本邦における小児固形がんに対する治療の現状と取り組み」, 院内がんセミナー
- 原田, 「テーマ「WLB の実現を目指して」について、放送大学生のみでなく、山口県内の一般市民対象に講演を行った。参加者は、40 名」, 放送大学. 萩市図書館, 公開講座.
- 濱田, 「ヘレンダグラスハウスの歩みとその物語～子どもホスピスの創設者に学ぶケアの心～」, 福岡子どもホスピスプロジェクト. ヒルトン福岡シーホーク, 講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献

- 樗木, 「中学生のためのキャリアデザイン啓発事業 中学生向け出前セミナー～わたらしい生き方を目指して～ 「研究者(医師)としてのロールモデルについて」 」, 福岡市立東光中学. 講演・セミナー等.

看護学分野

《広域生涯看護》

教授	鳩野 洋子
教授	小野 ミツ
教授	谷口 初美
准教授	新小田 春美
講師	寺岡 佐和
講師	前野 有佳里
講師	野口 ゆかり
助教	木村 一絵
助教	重松 由佳子
助教	仲道 由紀
助教	末次 美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

鳩野 洋子		
看護学研究方法論Ⅱ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
小野 ミツ		
ヘルスサイエンス論(分担)		前期
アジアにおける保健学(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
谷口 初美		
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)		前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)		前期
母子発達ケアシステム論Ⅱ(分担)		後期
野口 ゆかり		
アジアにおける保健学(分担)		通年

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習 なし

鳩野 洋子		
保健学特別研究(分担)		通年
小野 ミツ		
保健学特別研究(分担)		通年

谷口 初美

保健学特別研究(分担)

通年

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者

前野有佳里 A Practical Guide for Public Health Nurses Responding to Article 24 Notification

6. 学部講義

鳩野 洋子

看護研究入門(分担)

前期

健康教育論(分担)

前期

疫学(分担)

後期

保健統計(分担)

後期

公衆衛生看護学概論(分担)

後期

小野 ミツ

グループ組織化論(分担)

前期

在宅看護学演習(分担)

後期

健康政策論(分担)

後期

地域看護技術学(分担)

前期

谷口 初美

基礎助産学(分担)

前期

助産学概論(分担)

前期

地域母子保健(分担)

前期

リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)

前期

助産技術論(分担)

前期

周産期健康教育論(分担)

前期

助産管理(分担)

後期

助産学診断・技術学(分担)

前期

母性看護学概論(分担)

前期

新小田 春美

母性看護学各論I(分担)

前期

母性看護学概論(分担)

後期

基礎助産学(分担)

前期

助産診断・技術学(分担)

前期

助産管理(分担)

後期

野口 ゆかり

母性看護学各論I(分担)

後期

リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)

前期

周産期健康教育論(分担)

前期

助産技術論 (分担)	前期
助産過程論 (分担)	前期
医療法律学 (分担)	前期
基礎助産学 (分担)	前期
助産学概論 (分担)	前期
助産診断・技術学 (分担)	前期
助産管理 (分担)	後期
寺岡 佐和	
在宅看護概論	前期
公衆衛生看護学概論(分担)	後期
健康政策論(分担)	後期
地域看護技術学(分担)	前期
前野 有佳里	
保健福祉行政論 I	前期
健康教育論(分担)	前期
地域看護技術学(分担)	前期
仲道 由紀	
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産過程論 (分担)	前期
助産診断・技術学 (分担)	前期
助産管理(分担)	後期
末次 美子	
母性看護学各論 I (分担)	前期
母性看護学概論 (分担)	前期
基礎助産学 (分担)	前期
木村 一絵	
グループ組織化論(分担)	前期
重松 由佳子	
健康教育論(分担)	前期
地域看護学概論(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

鳩野 洋子	
地域看護診断論(分担)	前期
地域看護学実習(分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
小野 ミツ	
在宅看護技術論(分担)	後期
在宅看護学実習(分担)	通年

総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
谷口 初美	
助産学実習 (分担)	前期
総合実習 (分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論 (分担)	前期
助産技術論 (分担)	前期
周産期健康教育論 (分担)	前期
助産管理 (分担)	後期
助産学診断・技術学 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
新小田 春美	
母性看護学実習 (分担)	前期
総合実習 (分担)	前期
助産技術論 (分担)	前期
周産期健康教育論 (分担)	前期
卒業研究(分担)	通年
寺岡 佐和	
在宅看護技術論(分担)	後期
在宅看護学実習(分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
前野 有佳里	
地域看護学実習(分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
野口 ゆかり	
助産学実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
周産期健康教育論 (分担)	前期
助産技術論 (分担)	前期
助産過程論 (分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
木村 一絵	
在宅看護技術論(分担)	後期
在宅看護学実習(分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
重松 由佳子	
地域看護学実習(分担)	通年

卒業研究 (分担)	通年
仲道 由紀	
助産学実習 (分担)	前期
総合実習 (分担)	前期
助産技術論 (分担)	前期
周産期健康教育論 (分担)	前期
母性看護学実習 (分担)	通年
卒業研究 (分担)	通年
末次 美子	
助産学実習 (分担)	前期
卒業研究 (分担)	通年
総合実習 (分担)	前期
母性看護学実習 (分担)	通年
助産診断技術学 (分担)	前期
周産期健康教育論 (分担)	前期

8. 卒業論文作成者

高橋悠	父親の育児参加による母親への効果
早田美穂子	育児グループの効果と形成過程における保健師の役割
岩崎步美	国際看護, 特に開発途上国の母子保健の調査研究
岩見理子	2型糖尿病患者における運動療法継続のための効果的な支援の検討-運動療法継続の促進因子および阻害因子から-
久保山楓	在宅で暮らすストーマ保有高齢者の支援に向けたストーマ外来の活用について-ストーマ外来利用高齢者の実態より-
向井綾	高齢者施設で働く看護・介護職員の健康課題の現状と改善策の検討
矢野裕樹	足浴が高齢者の認知機能に及ぼす効果の検討
羽廣紗矢美	幼児の肥満予防を目的とした母親の運動習慣への効果的介入に関する検討
中水亜由美	続発性リンパ浮腫に対する複合的理学療法の効果の検討 -婦人科がんに焦点を当てて-
安養寺花萌	看護師のがん性疼痛コントロールに対する積極性に影響を与える要因の検討
北ありさ	新生児の生理的体重減少についてのアセスメント方法 -完全母乳栄養支援の視点から-
瀧之上貴子	人工妊娠中絶後の女子絵の心理過程と援助 -流産後の女性の心理過程と比較して-
竹内ひかる	出生前診断を受けるか否かの意思決定に影響を与える要因とその支援
御手洗紗憂実	発達の問題を抱えた未就学児とその母親に対する行政機関で働く保健師の支援技術
松浦保奈美	要介護状態にある高齢者のセルフケア能力を向上させる訪問看護師による看護介入
古賀 瑞希	HIV 感染者と結核感染者の服薬アドヒアランス向上に向けた支援の比較
河野沙也加	糖尿病患者の重症化予防におけるコミットメントに向けた看護師の支援の現状
塩月さくら	不妊治療後に妊娠・出産をむかえたカップルの心理過程とその影響要因
西田智亜梨	子宮頸がん治療をうける女性の心理過程とその援助
山中恵登	早期母子接触の効果と方法についての検討
東野奈穂子	出産体験を肯定的に捉えるためのケア -出産満足感に焦点をあてて-

岡崎菜摘	在宅療養者のターミナル期における介護者の体験や思いに関する検討
	実習でターミナル期患者を受け持つことの意義
藤村沙理也	一看護学生の感情変化に焦点を当てて

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	地域保健従事者の住民からの暴力の実態とその予防体制に関する研究	鳩野
2	地方自治体における保健サービスの委託の質の保証方策に関する研究	鳩野
3	保健師管理者の管理的能力獲得モデルの開発	鳩野
4	在宅高齢者の介入拒否事例の特徴と看護職が果たす支援方法の解明	小野
5	高齢者の予防訪問の有用性と効果的な運用に関する国際(日本・フィンランド・デンマーク・スウェーデン)比較研究	小野
6	被高齢者虐待防止に関わる保健福祉職員の集団的・個別化プログラムの開発	小野
7	高齢者虐待発生メカニズムの解明と虐待予防保健ワーカーのアクションプログラムの開発	小野
8	Transition の概念を用いた女性と家族の各ライフステージに影響を及ぼす性と生殖に関する問題に関する研究	谷口
9	母親・父親になる過程に関する研究	谷口
10	シミュレーション教育に関する研究	谷口
11	大学教育から臨床への一貫教育に関する研究	谷口
12	新生児の睡眠・覚醒リズムの個人発達と母子交流に関する継続研究	新小田
13	こころの健康科学事業「眠育」の地域啓発	新小田
14	認知症高齢者の QOL に関する研究	寺岡
15	精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発	前野
16	健やかな成長・発達・育児(育自)・生活のための要因と生活モデルとの関連についての研究	野口
17	リプロダクティブヘルス/ライツ(生涯にわたる性と生殖の健康と権利)と助産師の役割についての研究	野口
18	こども虐待防止のための看護職の役割(妊娠期～育児期のメンタルヘルス-エモーショナルサポート)についての研究	野口
19	思春期・青年期における発達課題と発達危機およびその援助(生/性教育におけるピアカウンセリング・ピアエデュケーションの意義とその効果についての研究	野口
20	助産教育:助産師の現状と課題からみた全人的対象理解・実践能力向上のための教育・電子教材の開発に関する研究	野口
22	幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムに関する研究	木村
23	保健師の地域組織活動に関する研究	重松
23	次世代育成支援に関する研究	仲道
24	周産期のメンタルヘルスと母子相互作用に関する研究	末次

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」地区活動を強化するコミュニティ・エンパワメントモデルの開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, (分担)
- 「基盤研究(B)」活動の必要性和成果を意志決定者に「見せる公衆地衛生看護技術」の構築, (分担)
- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, (分担)
- 「基盤研究(C)」保健師管理者の管理的能力獲得モデルの開発, (代表)

小野 ミツ

- 「基盤研究(B)」地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果, (分担)
- 「基盤研究(B)」在宅高齢者における転倒予防プログラム介入のランダム化比較試験, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者のフットケアの有用性に関する研究, (分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者虐待発生メカニズムの解明と虐待予防保健ワーカーのアクションプログラムの開発, (代表)
- 「挑戦的萌芽研究」在宅高齢者の介入拒否事例の特徴と看護職が果たす支援方法の解明, (分担)

谷口 初美

- 「基盤研究(C)」今ホットなシミュレーション教育で繋ぐ大学から臨床への看護教育一貫システムの構築, (代表)

新小田 春美

- 「基盤研究(C)」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」睡眠・覚醒リズムと身体機能・能力の関係を解明し高齢者を健康的日常活動へと導く研究(分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」人間関係形成の視座から開発する住民主体の子育て支援プログラムに関する研究, (分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, (代表)

木村 一絵

- 「若手研究(B)」幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムの効果の検証, (代表)
- 「一般研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, (分担)

重松 由佳子

- 「一般研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, (代表)
- 「一般研究(C)」多職種協働による在宅精神障害者のためのアウトリーチ推進に向けた教育モデルの開発, (分担)

末次 美子

- 「基盤研究(C)」NICU 高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究, (分担)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

末次 美子

- 「児童関連サービス調査研究事業」一般財団法人こども未来財団,

5. その他の外部研究資金の受入れ

鳩野 洋子

- 「地方自治体が行う保健事業の外部委託において, 事業の質を確保するための方策に関する研究」厚生労働科学研究, 健康安全・危機管理対策総合研究事業, (分担).

寺岡 佐和

- 「認知症高齢者の在宅生活の継続を効果的に支える園芸活動の方法に関する研究」太陽生命厚生財団, (代表).

小野 ミツ

- 「高齢者虐待防止に関わる職員の支援プログラムの開発」公益財団法人 日本興亜福祉財団, (代表)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 鳩野 洋子, 鈴木浩子, 真崎直子: 市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発, 日本公衆衛生雑誌, 2013年05月. (査読あり)
- 小野ミツ: 高齢者虐待防止研究の10年のあゆみと今後の課題(医療系の観点から), 高齢者虐待防止研究, 2014年3月, (査読あり)
- 前野 有佳里, 鳩野 洋子: A Practical Guide for Public Health Nurses Responding to Article 24 Notification, *Japanese Journal of Applied Psychology*, Vol.39, 2014年03月. (査読あり)
- Hatsumi Taniguchi: Japanese men's success in altered fatherhood role in a foreign country. *Journal of Transcultural Nursing*. 2013年12月. (査読あり)
- 首藤梨沙, 谷口初美: 女子学生のライフサイクルの中にみた月経の捉え. 京都母性衛生学会誌, 21(1), 27-35, 2013. (査読あり)

- 久保 陽子, 高木 幸子, 野元 由美, 前野 有佳里, 川口 貞親: 日本の病院における救急外来での外国人患者への看護の現状に関する調査, 厚生指標 61 巻 1 号, 2014 年 01 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Fumie ITO, Toshiko KAMO, Yuki SUNOHARA, Shima FURUICHI, KIMURA HITOE: Japanese version of Eyberg Child Behavior Inventory(ECBI): A Evaluation of Japanese norms, PCIT International Convention, 2013 年 09 月 11 日, United States of America.
- Hatsumi Taniguchi, Mieko Yamada, Chisako Naito, Maya Minami, Momoe Utsumi, Kazuko Nin, The Reality Shock of Recent Nursing School Graduates, Thinking Qualitatively Workshop Series, 2013, 2013.06.19.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

- 谷口 初美: 九州大学へ異動してからジェットコスターに乗っているような早 1 年, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要, 2014. 03.

d. 調査研究報告

- 谷口初美, 柳吉桂子, 我部山キヨ子, 野口ゆかり, 仲道由紀: 助産診断・技術力の向上に向けて: シミュレーション学習による教育プログラムの開発. 日本助産学会助成研究報告書, 2013, 5.
- 小野ミツ, 佐々木明子: 高齢者虐待防止に関わる職員の支援プログラムの開発, ジェロントロジー研究報告書, 2014, 3

e. 国内学会での講演, 発表

- 鳩野洋子, 米澤洋美, 中板育美, 平野かよ子: 住民からの不当暴力やクレームおよび地域保健従事者の被害の実態, 第 16 回日本地域看護学会, 2013 年 08 月 04 日, 徳島市.
- 島田美喜, 弓場英嗣, 鳩野 洋子, 尾島俊之, 野尻孝子, 岡崎恵子, 柳川洋, 曾根智史, 岩室紳也, 増田和茂: 市町村における健康増進計画策定の現状と課題, 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月 23 日, 津市.
- 鶴田奈穂子, 後藤智江, 石井美栄, 竹中章, 鳩野 洋子: 福岡市東区における校区保健福祉活動の活発さと地域高齢者の健康度との関連について, 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月 24 日, 津市.
- 前野 有佳里, 鳩野 洋子: 保健師による 24 条通報対応の実態, 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月 24 日, 津市.
- 鳩野 洋子, 島田美喜: 市町村における「ひとり配置保健師」の実態, 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013 年 10 月 25 日, 津市.
- 鳩野 洋子, 鈴木浩子: 市町村統括保健師の役割遂行の実施状況に影響する要因, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 06 日, 大阪.
- 前野 有佳里, 鳩野 洋子: 24 条通報対応における保健師のケア実践行動指標の開発, 第 33 回日本看護科学学会学術集会, 2013 年 12 月 06 日, 大阪
- 中山貴美子, 小寺さやか, 草野恵美子, 鳩野 洋子, 金子仁子: 地区組織のコミュニティ・エンパワメントのための保健師の支援の検討, 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 年 01 月 13 日, 小田原.
- 米澤洋美, 鳩野 洋子, 中板育美, 佐野信也: 住民からの不当暴力やクレームおよび地域保健従事者の被害の実態-第 2 報, 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2014 年 01 月 13 日, 小田原.
- 西尾美登里, 小野ミツ, 影山佳奈: 在宅で認知症を有する療養者を介護する男性介護者の対処尺度の検討, 第 18 回日本在宅ケア学会学術集会, 2013 年 03 月 16 日, 水戸市.
- 影山佳奈, 小野ミツ, 住居広士, 坂井晶子: 施設と在宅の比較による介護支援専門員の業務の特徴, 第 18 回日本在宅ケア学会学術集会, 2013 年 03 月 16 日, 水戸市.

- 小野ミツ, 佐々木明子, 森田久美子: 予防訪問を実施した高齢者の1年後の状況—訪問継続群と訪問中断群の比較, 72回日本公衆衛生学会総会, 2013年10月25日, 津市.
- 佐々木明子, 小野ミツ, 森田久美子: 予防訪問を実施した高齢者の1年後の変化 第2報: 縦断調査による結果, 72回日本公衆衛生学会総会, 2013年10月25日, 津市.
- 寺岡 佐和, 小西美智子, 小野 ミツ, 原田春美, 宮腰由紀子: 認知症高齢者のQOL向上に有益な園芸活動の探求, 日本老年看護学会第18回学術集会, 2013年06月04日, 大阪市.
- 宮園 真美, 澤渡 浩之, 橋口 暢子, 小野 淳二, 前野 有佳里, 川本 利恵子, 中尾 久子: 脚部サウナ使用時の高齢者の生理・心理反応, 日本看護科学学会学術集会, 2013年12月01日, .
- 高田昌代, 我部山キヨ子, 眞鍋えみ子, 柳吉桂子, 谷口初美, 倉本孝子: 助産師教員の教育経験年齢による研究 管理能力等の構造と自己評価の実態. 第27回日本助産学会. 2013, 5.2.金沢
- 眞鍋えみ子, 倉本孝子, 柳吉桂子, 谷口初美, 高田昌代, 我部山キヨ子: 助産師教員の助産実践能力の構造に関する研究. 第27回日本助産学会. 2013, 5.2.金沢
- 谷口初美, 柳吉桂子, 倉本孝子, 眞鍋えみ子, 高田昌代, 我部山キヨ子: 助産師教員の教育能力の構造因子に関する研究. 第27回日本助産学会. 2013, 5.2.金沢
- 南麻弥, 山田美恵子, 内藤知佐子, 内海桃絵, 任和子, 谷口初美: 大学と臨床の一貫した看護教育プログラムの開発～教育担当看護師が新人看護師との関わりで得られたもの, 第一回医療シミュレーション教育学会, 2013.07.16.新潟.
- 谷口 初美, Thien, M.: Japanese Midwife Practice and my experience of Japanese Midwife in Japan. ヴェトナム助産師会総会, 2013.08.02.ホーチミン.
- 谷口 初美, 宮川祐三子, 高野恵子, 初田聡美: 周産期における災害対策の現状と今後の課題—日本看護協会助産師職能近畿ブロックにおいて—, 第17回日本看護管理学会, 2013.08.25.東京.
- 谷口 初美, 我部山キヨ子, 柳吉桂子, 野口 ゆかり, 仲道 由紀: 分娩介助実習10例を有効にするための理想的な学習プロセス, 第28回日本助産学会, 2014.03.23.長崎.
- 眞鍋えみ子, 和泉美枝, 倉本孝子, 柳吉桂子, 谷口初美, 高田昌代, 千葉陽子, 脇田満里子, 我部山キヨ子: 助産師教員の助産実践能力の標準レベル到達年数に関する研究, 第28回日本助産学会, 2014.03.23.長崎.
- 柳吉桂子, 千葉陽子, 谷口初美, 我部山キヨ子, 高田昌代, 眞鍋えみ子, 和泉美枝, 倉本孝子, 脇田満里子: 助産師教員の教育能力の標準レベル到達年数に関する研究, 第28回日本助産学会, 2014.03.23.長崎.
- 我部山キヨ子, 高田昌代, 千葉陽子, 柳吉桂子, 和泉美枝, 倉本孝子, 谷口初美, 脇田満里子, 眞鍋えみ子: 助産師教員の研究能力及び管理能力の標準レベル到達年数に関する研究, 第28回日本助産学会, 2014.03.23.長崎.
- 白水 雅子, 新小田 春美: 明暗環境と早産児の行動学的・生理学的反応の分析 アクチグラフに基づいた睡眠覚醒評価を用いて, 第27回日本助産学会学術集会, 2013年05月02日, 金沢.
- 安永朱里, 新小田春美, 平田伸子, 野口 ゆかり, 仲道 由紀: 母子の里帰りと新生児訪問指導事業との関連の検討, 第27回日本助産学会学術集会, 2013年05月02日, 金沢.
- 安永朱里, 新小田春美, 平田伸子, 野口 ゆかり, 仲道 由紀: 産後の育児不安と新生児訪問に対する満足度との関連, 第54回日本母性衛生学会学術集会, 2013年10月04日, 埼玉県大宮市.
- 白水 雅子, 新小田 春美: 光環境が早産児に及ぼす影響 明暗環境と生理学的反応, 第54回日本母性衛生学会学術集会, 2013年10月04日, 埼玉県大宮市.
- 白水 雅子, 新小田 春美: アクチグラフを用いた早産児の睡眠・覚醒評価と看護介入の検討, 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013年12月01日.
- 川口弥恵子, 仲道 由紀, 吉田静, 松原まなみ: 助産師自身が認識した自己の現状と課題 ワールド・カフェ形式のワークショップ後の振り返りの分析, 第54回日本母性衛生学会学術集会, 2013年10月01日,
- 藤野 成美, 末次 美子, 藤野 ユリ子, 金岡 麻希, 大村 由紀美, 豊福 佳代, 松本 由香, 松本 裕子, 川本 利恵子, 山下 春江, 馬場 チエミ, 重松 博子, 宮園 真美, 酒井 久美子,

中畑 高子: 看護研究における実践への還元に焦点を当てた研修の効果に関する検討(第1報), 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013年12月6日, 大阪市.

- 大村 由紀美, 藤野 ユリ子, 川本 利恵子, 藤野 成美, 宮園 真美, 末次 美子, 金岡 麻希, 松本 裕子, 山下 春江, 馬場 チエミ, 重松 博子, 豊福 佳代, 松本 由香, 酒井 久美子, 中畑 高子: 臨床看護師が実施する看護研究の意義と必要な支援内容, 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013年12月6日, 大阪市.

f. 学会以外での講演, 発表

- 谷口 初美: 米国およびベトナムにおける出産・助産師活動, 平成25年度福岡地区特別講演・懇親交流会, 2014.03.01.福岡.

著作

a. 単行本

- 岡本玲子, 鳩野洋子, 草野恵美子, 小出恵子, 岩本里織, 浜田淳, 山川路代, 津田都敏秀, 芳我ちより: (共著) 見せる公衆衛生看護技術, 2013年05月, 岡山大学出版会.
- 綾部明江, 遠藤寛子, 小野かおり, 小野ミツ, 勝田恵子, 木村 一絵, 斎藤幸恵, 佐々木明子, 田沼寮子, 津田紫緒, 鶴見三代子, 寺岡 佐和, 長澤ゆかり, 錦織正子, 森田久美子, 山崎恭子: (共著) 2014年版 保健師国家試験問題 解答・解説, 2013年04月, メヂカルフレンド社.
- 小野ミツ, 佐々木明子: 精神保健福祉対策, 新体系看護学13, 公衆衛生学, 2013年11月, メヂカルフレンド社
- 小野ミツ, 佐々木明子: 感染症の予防, 新体系看護学13, 公衆衛生学, 2013年11月, メヂカルフレンド社
- 小野ミツ, 木村 一絵, 寺岡 佐和, 中尾 久子, 原田 博子, 富岡 明子, 木下 由美子, 長弘千恵, 藤野 成美, 川本 利恵子, 宮園 真美, 中尾 富士子, 金岡 麻希, 藤田 紋佳, 濱田裕子, 藤野ユリ子, 阿南あゆみ: (共著) 臨地実習指導ナビゲーター, 2013年07月, ユリシス出版部.
- 谷口初美, 他: (共著) 2014年度版 看護師国家試験問題 解答と解説, 2013年04月, 医学書院
- 前野 有佳里: (共著) 2014年度版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2013年04月, 医学書院

b. 総説

- 鳩野 洋子: 新しい保健師の活動指針と大学教育, 保健師ジャーナル 2013;69(7):510-514, 2013年06月.
- 鳩野 洋子, 鈴木浩子: 統括保健師の役割とその役割の発展に向けて, 地域保健 2013;44(10):42-47, 2013年10月.
- 谷口 初美: 新人看護師が直面するリアリティーショック, 週刊 医学界新聞, 2013年08月,
- 谷口初美: 福岡県助産師会ニュースレター, 2013年6月, 10月, 2014年1月
- 谷口 初美: ICM Asian Pacific Regional Meeting (地域評議会) と Twinning Project の力強い仲間紹介, 助産師, 2013.08.

c. 解説, 書評など なし

受賞 報道

- 谷口, 医学界新聞, 「新卒看護師のリアリティーショックに関する研究内容」, 2013年09月.
- 新小田, RKB, 今日感テレビ, 睡眠の科学, 2013.5月.
- 新小田, リビング福岡, 1面-2面 研究活動掲載 「朝おきれない」, 2013年9月28日.

4. 産学連携活動

1. 共同研究
2. 受託研究 なし
3. 取得特許
4. 兼業
5. 特記すべきその他の技術相談

- 妊婦体験学習コーナー担当, 赤ちゃん人形抱っこ体験 , 育児, 女性よろず相談。ハートフルフェスタ福岡実行委員会・福岡地区助産師会.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 谷口, University of Alberta(Canada), 国際会議, 2013年06月
- 谷口, ベトナム助産師会総会, ホーチミン、ベトナム, ベトナム助産師会, 2013年8月.
- 谷口, 台湾高雄医学大学への交換講義, 高雄 台湾, 高雄医学大学. 2013.10月
- 谷口, NY Hunter 校へ姉妹校締結継続の会議を Dean Dr.Gail とした。ニューヨーク, USA, 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学専攻と NY City University, Hunter College. 2014.2月.
- 谷口, 台湾高雄医学大学へ学生交流と G30 の看護学科博士課程の紹介と留学生勧誘, 高雄台湾, 高雄医学大学. 2014.3月.
- 野口, 広西省江賓病院(China), The 11th East Asian Congress of Health Promotion, 国際会議, 2013年11月～2013年11月.
- 木村, PCIT International Convention (United States of America), 国際会議, 2013年09月.

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし
学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 寺岡, アジア遠隔医療開発センター運営委員会委員.

2. 部局委員

- 新小田, 馬出地区安全衛生委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 鳩野, 施設委員会委員
- 鳩野, 入試実施委員会副委員長
- 鳩野, 実習委員会委員
- 小野, 大学院委員会委員
- 小野, 研究推進委員会委員
- 小野, 財務委員会委員
- 小野, 年報委員
- 谷口, 地域・国際連携推進委員会/FD 実行委員会副委員長
- 谷口, 実習連絡会副委員長
- 谷口, 新小田, 野口, 仲道, 末次. 看護学分野 FD 担当「漢方看護学教育の導入について」. 2014年2月6日

- 新小田, 公開講座委員, 広報委員会.
- 野口, 九州大学医学部保健学科 10 周年記念式典委員・10 周年記念誌委員.
- 寺岡, 教務委員.
- 前野, 年報委員.
- 末次, 看護実践カブロッサム開花プロジェクト 運営実行委員.
- 末次, 学生委員会.
- 重松, 広報委員会.
- 木村, 地域・国際連携推進委員会/FD 実行委員会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小野, 広島大学大学院医学部, 非常勤講師
- 小野, 東京医科歯科大学大学院看護学科, 非常勤講師
- 谷口, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻看護学科, 非常勤講師.
- 谷口, 関西看護大学, 非常勤講師.
- 寺岡, 福岡国際医療福祉学院, 非常勤講師.
- 寺岡, 放送大学, 非常勤講師.
- 木村, 放送大学, 非常勤講師.
- 仲道, 香蘭女子短期大学 ライフプランニング総合学科 妊娠と出産の科学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 鳩野, 日本地域看護学会, 評議員, 編集委員, 表彰論文選考委員会委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 評議員, 編集委員 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 評議員, 倫理委員会副委員長, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 保健師教育機関協議会, 理事, 国内.
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内.
- 小野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内
- 小野, 日本在宅ケア学会, 評議員, 査読委員, 国内
- 小野, 日本虐待防止学会, 理事, 国内
- 小野, 日本看護科学学会, 代議員, 査読委員, 国内
- 小野, 日本認知症ケア学会, 地域部会委員
- 小野, 日本老年看護学会, 査読委員, 国内
- 小野, 福岡県看護協会看護師職能委員会委員, 国内
- 谷口, 福岡県母性衛生学会, 理事, 国内.
- 谷口, 福岡県助産師会, 運営委員 (実行委員長), 国内.
- 谷口, 日本助産師会, 運営委員 (国際委員長), 国内.
- 谷口, 日本看護協会, 助産師職能委員, 国内
- 谷口, 環境発達医学研究センター運営委員会およびエコチル調査, (運営委員), 国内
- 谷口, 九州大学助産師同窓会, 理事, 国内.
- 谷口, 全国助産師教育協議会 (組織強化委員), 国内.
- 新小田, 日本母性衛生学会, 評議員, 国内.
- 新小田, 福岡県母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 新小田, 日本助産学会, 代議員, 国内.
- 新小田, 福岡県助産師会, 広報委員, 福岡県助産師会ホームページ担当, 国内.
- 新小田, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本看護教育学会, 査読委員, 国内.
- 新小田, 日本母性衛生学会, 査読委員, 国内.
- 野口, 福岡市助産師会, 副会長, 国内.
- 野口, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 役員, 国内
- 仲道, 九州大学助産師同窓会 役員, 国内.
- 仲道, 福岡県母性衛生学会, 幹事, 国内.

- 仲道, 福岡県助産師会, 教育委員, 国内.
- 末次, 福岡県母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 末次, 福岡県看護協会, 学会委員, 国内.

3. 官界

- 鳩野, 「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市地域保健部会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 科学研究費委員会専門委員, 日本学術振興会.
- 谷口, 「福岡市こども・子育て審議会委員」, 福岡市.
- 新小田, 小児保健研究会委員, 福岡市.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 小野, 認知症ケア専門士認定試験委員
- 新小田, H25 九州大学病院 臨床指導者講習会講師 2013-09-6.
- 寺岡, 「第11回九州大学医学部保健学科公開講座講師」, 2013-09-21 .
- 野口, 「妊婦体験学習コーナー担当, 赤ちゃん人形抱っこ体験 , 育児, 女性よろず相談。」, ハートフルフェスタ福岡実行委員会・福岡地区助産師会, (技術指導) .

5. 公開講座・公開講演会

- 鳩野, 「統括保健師の役割と保健師活動指針」, 愛媛県. 研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師活動指針について」, 岡山県看護協会. 研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師活動指針について」, 山口県看護協会. 研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師活動指針について」, 福岡県看護協会. 研修会.
- 鳩野, 「地域保健従事者新任研修」, 福岡県. 研修会.
- 鳩野, 「保健師中堅前期研修」, 福岡市. 研修会.
- 鳩野, 「山口県保健師研修」, 山口県. 研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師活動指針と保健師への期待」, 全国保健師長会. 研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師活動指針について」, 福岡県保健師協議会. 研修会.
- 鳩野, 「保健師活動指針と保健活動の展開過程」, 久留米市. 研修会.
- 小野, 「メンタルケア・スペシャリスト養成講座」, 福岡市, 研修会.
- 小野, 「高齢者施設での看取りについての意見交換会」, 福岡市, 福岡県看護協会, 研修会.
- 小野, 「超高齢社会の多様な生き方・死に方」, 下関市, 第12回日本医療マネジメント学会, セミナー.
- 小野, 「介護職による喀痰吸引指導看護師の役割」, 指導看護師フォローアップ研修, 福岡市, 福岡県看護協会, 研修会.
- 谷口, 他「すぐに身に付くフレキシブルな指導方法をマスターしよう」MEDC セミナーワークショップ 岐阜. 2013年11月3日
- 谷口, 「実習指導者研修会」京都大学医学部附属病院. 2013年12月2日
- 谷口, 「米国およびベトナムにおける出産・助産師活動」福岡地区助産師会セミナー・2014年3月1日
- 谷口, 他「1分間指導法・コーチング技術をマスターしよう!」九州大学保健学科本館, 2014年3月27日.
- 谷口, 「周産期の悲嘆」周産期医療・助産ケアのためのリフレッシュミーティング. 2014年1月22日.
- 新小田, 前向き子育て講座(トリプルP), 九州大学, 講師, 2013,12~3月, 計5回.
- 新小田, こどもの睡眠健康, 北野公民館, 講師, 2013.9.19.
- 寺岡, 「第11回九州大学医学部保健学科公開講座「身近な健康を考えるー永く健やかにー」講師講演「認知症を考える」」, 九州大学医学部保健学科. 百年講堂中ホール, 公開講座.
- 前野, 「福岡県地域保健従事者新任研修」, 福岡県. 研修会.
- 前野, 「保健師中堅前期研修」, 福岡市. 研修会.
- 野口, 「福岡地区助産師会 研修会企画・「米国およびベトナムにおける出産・助産師活動」・運営・管理・ニュースレターの作成」, 福岡地区助産師会. 福岡市, セミナー・研修会.
- 野口, 「周産期医療・助産ケアのためのリフレッシュミーティング 世話人 適切な周産期医療・助産の提供のため, 九大保健学科とこども病院助産師が中心に福岡県内の助産師を対象に企画し, 2013年10月~1年計画で毎月1回産婦人科診療ガイドラインの抄読会を中心に事例検討を行う勉強会を開催。」, 九州大学. 九州大学医学部保健学科本館, セミナー・研修会.
- 木村, 「CARE ワークショップ」, 福岡市. 福岡市, セミナー・研修会.
- 木村, 重松, 「CARE ワークショップ①. 大野城市, セミナー・研修会.

- 木村, 重松, 「CARE ワークショップ②」, 大野城市, セミナー・研修会.
- 木村, 重松, 「CARE ワークショップ③」, 大野城市, セミナー・研修会.
- 木村, 重松, 「CARE ワークショップ・フォローアップ」, 大野城市. 大野城市, セミナー・研修会.
- 仲道, 「助産師実習指導者コース 実習指導の実際・演習」, 福岡県看護協会, 助産師職能委員会研修会, 講師.

6. 初等中等教育への貢献

- 新小田, 福岡市東福岡支援学校, 人権教育, 2013,12.3.
- 仲道, いのちの授業, 「ぼくたち, わたしたちはどうやって生まれてきたんだろう」, 杉の子保育園. 講演・セミナー等. 2014.3.

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	大喜 雅文
教授	豊福 不可依
准教授	高橋 昭彦
准教授	有村 秀孝
准教授	納富 昭弘

1. 教育活動

1. 大学院講義

大喜 雅文		
保健・医療とIT (分担)		前期
医用画像情報科学論 (分担)		前期
豊福 不可依		
基礎量子力学 (分担)		前期
高橋 昭彦		
基礎電磁波論		前期
有村 秀孝		
保健・医療とIT (分担)		前期
医学物理情報理論		前期
量子線理工科学 I		前期
量子線治療科学論		後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

大喜 雅文		
量子線理工科学 II (分担)		
医用画像情報科学演習 (分担)		通年
有村 秀孝		
量子線治療科学演習		後期
納富 昭弘		
量子線治療科学演習		前期

4. 大学院修士課程修了者

村上 雄一	シェーグレン症候群診断のための超音波画像のウェーブレット解析
小園 健太	Microsoft Kinect の基礎的精度検証と IVR におけるリアルタイム入射線量監視システムの開発
大野 昌也	Microsoft Kinect を用いた単純 X 線撮影シミュレータの開発
斬 沢	Development of a Delineation Method of Lung Tumor Regions
(Jin Ze, キン タク)	in Treatment Planning CT Images Using an Optimum Contour Selection Method
G30(China)	最適輪郭選択法を用いた治療計画 CT 画像における肺腫瘍輪郭抽出方法の開発

松下 矩正	Development of statistical CTV models with uncertainties in radiation treatment planning for prostate cancer 前立腺癌放射線治療計画における不確定度を考慮した統計的 CTV モデルの開発
仲本 宗泰	Development of an Automated Method for Estimation of Four-dimensional Dose Distributions within Patient Bodies Based on a 2D/3D Image Registration Algorithm during Radiation Treatment Delivery 放射線治療照射時における 2D/3D レジストレーション法に基づく患者体内 4 次元線量分布推定法の開発
八尋 絵莉子	ヨウ素を含むシンチレータの自己放射化に基づく高感度中性子検出法の研究

5. 大学院博士課程修了者

山下泰生	MR 画像の形態および機能画像特徴量を用いた機械学習に基づくアルツハイマー病のコンピュータ支援鑑別診断システム Computer-aided Differential Diagnosis System for Alzheimer's Disease Based on Machine Learning with Functional and Morphological Image Features in Magnetic Resonance Imaging
------	--

6. 学部講義

大喜 雅文		
医療統計学 (分担)		前期
現代物理学概論 (分担)		前期
物理数学 I (分担)		前期
基礎医療統計 (分担)		後期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)		前期
豊福 不可依		
放射線物理学		前期
放射線診断物理学		後期
X 線 CT 画像技術学		前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)		前期
高橋 昭彦		
医用電気電子工学 I		前期
電磁気学		前期
医用電気電子工学 II		後期
電磁気学		後期
医用光学		前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)		前期
有村 秀孝		
物理数学 2 (分担)		前期
放射線治療機器学 (分担)		前期
コンピュータ支援診断学 (分担)		前期
品質管理論 (分担)		後期
放射線医学入門		前期
医用画像処理学 I		後期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)		前期
納富 昭弘		
放射線治療物理学		後期

放射線計測学Ⅱ	前期
放射線治療技術学実習（分担）	後期
放射性同位元素検査学・実習（分担）	前期
放射線治療機器学（分担）	前期
放射線計測学	前期
コアセミナー(放射線医学入門)（分担）	前期

7. 学部の実験・実習・演習

大喜 雅文	
情報処理演習Ⅰ（分担）	後期
豊福 不可依	
放射線計測学実験Ⅰ	後期
放射線機器学実験（分担）	後期
高橋 昭彦	
医用電気電子工学実験Ⅱ	前期
医用電気電子工学実験Ⅰ	後期
放射線機器学実験（分担）	前期
有村 秀孝	
医用画像処理学演習	前期
放射線計測学実験	後期
放射線治療技術学実習	後期
納富 昭弘	
卒業研究（分担）	通年
放射線治療技術学実習（分担）	後期
放射線計測学実験（分担）	後期
放射性同位元素検査学・実習（分担）	前期

8. 卒業論文作成者

平川 千夏	マンモグラフィにおける画像診断支援のためのウェーブレット解析
岡本 慎	マンモグラフィ画像データベース DDSM の DICOM 化と画像検索システムの開発
柴原 久紀	細胞診のための細胞核自動抽出についての検討
藤井 優花	携帯情報端末で用いる電子教材の作成 ～X 線 CT の基礎と臨床～
山出 瞳	携帯情報端末で用いる電子教材の作成～X 線 CT の基礎と臨床～
今村 仁美	iBooks Author を用いたマルチメディア電子教材の作成
村田 弓香	モンテカルロシミュレーションによる ^{90}Y の PET と SPECT 画像の比較
芝 晃弘	131I-SPECT モンテカルロシミュレーション
江口 慎一郎	モンテカルロシミュレーションを用いた PET 画像の Time-of-Flight 効果の検討
今井 美里	スパースコーディングを用いた類似症例検索方法の基礎的検討
小田 丈史	治療計画 CT 画像における肺腫瘍輪郭抽出方法とユーザーインターフェースの開発
柴山 祐亮	前立腺癌放射線治療のための距離画像を用いた統計的 CTV モデルの開発
栗原 凌佑	ポリエチレン内張型反跳陽子比例計数管の出力パルス波形の観測
木下 博之	シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化による高感度中性子検出の研究(1) —研究用原子炉での測定

- 本田 宗一郎 シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化による高感度中性子検出の研究(3)
 -自己遮蔽因子の評価
- 高山 愛菜 シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化による高感度中性子検出の研究(2)
 -治療用ライナックでの測定

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

豊福 大喜 高橋 有村 納富 引率教員として 九大山の家研修

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | | |
|----|-----------------------------------|----|------|
| 1 | 医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価 | 大喜 | (公開) |
| 2 | 医用画像処理による診断支援 | 大喜 | (公開) |
| 3 | レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用 | 高橋 | (公開) |
| 4 | モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究 | 高橋 | (公開) |
| 5 | アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発 | 有村 | (公開) |
| 6 | 多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発 | 有村 | (公開) |
| 7 | 高精度放射線治療計画支援システムの開発 | 有村 | (公開) |
| 8 | 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発 | 有村 | (公開) |
| 9 | 医療応用の為の放射線計測技術ならびに線量評価技術の基礎的研究 | 納富 | (公開) |
| 10 | 新しい中性子線量評価技術の開発 | 納富 | (公開) |
| 11 | 医療用高感度中性子検出技術の開発研究 | 納富 | (公開) |
| 12 | 放射線画像の定量化に関する研究 | 豊福 | (公開) |
| 13 | 放射線機器の精度管理に関する研究 | 豊福 | (公開) |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」 子宮頸部扁平上皮癌および LSIL・HSIL・ASC の核クロマチン分布の定量的解析, 大喜(分担), 0 千円. (非公開)
- 「基盤研究(C)」 核クロマチン分布解析 を用いた BCG 膀胱内 注入療法における治療 効果評価法の確立, 大喜(分担), 0 千円. (非公開)
- 「基盤研究(C)」 機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療法の開発(代表塩山善之), 有村(分担), 0 千円. (公開)
- 「挑戦的萌芽研究」 サイバーナイフ治療におけるマシビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発(代表中村和正), 有村(分担), 0 千円. (公開)
- 「新学術領域研究」 治療計画計算解剖モデルに基づく粒子線治療支援システムの開発, 有村(代表), 3000 千円. (公開)
- 「基盤研究(B)」 拡張現実感技術を用いた新しい放射線治療のセットアップ手法の開発 (代表中村和正), 有村(分担), 0 千円. (公開)
- 「挑戦的萌芽研究」 GM 管の様に使いやすい高速中性子サーベイメータの開発についての基礎研究, 納富(代表), 1700 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社 NTT データ <http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2012/102600.html> 次世代医用クラウドシステムによる脳卒中に関する統合診断支援プラットフォームの構築」有村, 4000 千円. (公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Tanaka N, Junji Morishita, Tsuda N, Masafumi Ohki: Effect of readout direction in the edge profile on the modulation transfer function of computed radiographic systems by use of the edge method, *Radiological Physics and Technology*, Accepted (in Press), 2013 年 07 月. (査読あり) (公開)
- 末次 典恵, 大喜 雅文: フィジカルアセスメント実践能力育成に向けたポッドキャスト教材, *教育システム情報学会誌*, 2014 年 01 月. (査読あり) (公開)
- Seiji Kumazawa, T. Yoshiura, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku: Improvement of partial volume segmentation for brain tissue on diffusion tensor images using multiple-tensor estimation, *Journal of Digital Imaging*, 2013 年 04 月. () (公開)
- C. Tokunaga, Hidetaka Arimura, T. Yoshiura, T. Ohara, Y. Yamashita, K. Kobayashi, T. Magome, Y. Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku: Automated measurement of three-dimensional cerebral cortical thickness in Alzheimer's patients using localized gradient vector trajectory in fuzzy membership maps, *J. Biomedical Science and Engineering*, 2013 年 07 月. () (公開)
- Takeshi Higashiguchi, Bowen Li, Yuhei Suzuki, Masato Kawasaki, Hayato Ohashi, Shuichi Torii, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Weihua Jiang, Taisuke Miura, Akira Endo, Padraig Dunne, Gerry O'Sullivan, Tetsuya Makimura: Characteristics of extreme ultraviolet emission from mid-infrared laser-produced rare-earth Gd plasmas, *OPTICS EXPRESS(Optical Society of America)*, 2013 年 12 月. (査読あり) (公開)
- Taiki Magome, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Chiaki Tokunaga, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Computer-aided beam arrangement based on similar cases in radiation treatment planning databases for stereotactic lung radiation therapy., *Journal of Radiation Research*, 2013 年 05 月. (査読あり) (公開)
- 溝口明日実, Hidetaka Arimura, 塩山善之, 廣瀬貴章, 穴井重男, Hiroshi Honda, 梅津芳幸, Hideki Hirata, 大喜 雅文, Katsumasa Nakamura, 豊福 不可依: 放射線治療における electronic portal imaging device を用いた 4 次元線量分布推定法の開発, *電子情報通信学会和文論文誌 D 医用画像特集*, Vol.J96-D, No.4, pp.813-823, 2013 年 04 月. (査読あり) (公開)
- Taiki Magome, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Similar-case-based optimization of beam arrangements in stereotactic body radiotherapy for assisting treatment planners, *BioMed Research International, Volume 2013 (2013), Article ID 309534, 10 pages*, 2013 年 11 月. (査読あり) (公開)
- Yasuo Yamashita, Hidetaka Arimura, Takashi Yoshiura, Chiaki Tokunaga, Tomoyuki Ohara, Kouji Kobayashi, Yasuhiko Nakamura, Nobuyoshi Ohya, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku: Computer-aided Differential Diagnosis System for Alzheimer's Disease Based on Machine Learning with Functional and Morphological Image Features in Magnetic Resonance Imaging, *Journal of Biomedical Science and Engineering*, 2013, 6, 1090-1098, 2013 年 11 月. (査読あり) (公開)
- Hidetaka Arimura, Genyu Kakiuchi, Yoshiyuki Shioyama, Shin-ichi Minohara, Takahiro Nakamoto, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Mutsumi Tashiro, Tatsuaki Kanai, Hideki Hirata: Quantitative evaluation of the robustness of beam directions based on power spectral analysis of water-equivalent path length image in charged particle therapy, *International Journal of Intelligent Computing in Medical Sciences and Image Processing*, in press, 2014 年 03 月. (査読あり) (公開)
- Akihiro Nohtomi, Fukai Toyofuku, Ayaka Sato, Syuji Nagamine, Genichiro Wakabayashi: An observation of the pulse-shape property of a polyethylene-lined proportional counter

for fast neutrons and gamma-rays, *Radiation Detectors and Their Uses, Proceedings of the 27th Workshop on Radiation Detectors and Their Uses (KEK Proceedings 2013-9)*, , 2014年01月. (査読あり)(公開)

- 八尋絵莉子, 中村祐一, 納富昭弘, 鳥居建男, 眞田幸尚, 若林源一郎, 伊藤哲夫: プラスチック・シンチレーションファイバーを用いた放射性セシウムの分布測定に関する基礎的検討, *放射線, Vol.39, No.1 (2013)*, , 2013年04月. (査読あり)(公開)
- 八尋絵莉子, 納富昭弘, 若林源一郎, 藤淵俊王, 梅津芳幸, 福永淳一, 中西大樹, 長峰周治, 中村泰彦: NaI シンチレータを用いた高感度中性子検出法の研究, *放射線, Vol.40, No.1 (2014)*, , 2014年03月. (査読あり)(公開)
- Daiki Nakanishi, Akihiro Nohtomi, Ryoji Tanaka, Genichro Wakabayashi: A method of neutron-energy evaluation based on the position distribution of recoil protons, *Progress in Nuclear Science and Technology*, , 2014年03月. (査読あり)(公開)
- 豊福不可依, 日本における医学物理学 -その歴史値教育を中心にして-, *放射線 Vol40, No.1, 11-14, 2014年1月*(査読無し)(公開)
- 豊福不可依, スピン系の量子力学 -MRI と PET をめぐって-, 医学物理学会教育講演、医学物理第33巻 Sup.4, 11-21, 2013年9月(大阪大学コンベンションセンター)(査読無し)(公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shintaro Fukami, Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Kota Okazaki, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niiro, Kouichi Murakami: Micromachining of Polydimethylsiloxane using Laser Plasma Soft X-rays, *The 14th International Symposium on Laser Precision Microfabrication*, 2013年07月01日, Japan. (公開)
- Nobuhiko Siguura, Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Yoshiyuki Ichinosawa, Kota Okaaki, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niiro, Kouichi Murakami: Micromachining of PMMA using Laser Plasma Soft X-Rays for Fabrication of 3D Molds in a Micrometer Scale, *The 14th International Symposium on Laser Precision Microfabrication*, 2013年07月01日, Japan. (公開)
- Nbuhiro Sugiura, Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Yoshiyuki Ichinosawa, Kota Okazaki, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niiro, Kouichi Murakami: Ablation Process of PMMA Induced by Irradiation with Laser Plasma EUV light, *The 10th Conference on Laser and Electro-Optics Pacific Rim*, 2013年07月01日, Japan. (公開)
- Nbuhiro Sugiura, Shuichi Torii, Tetsuya Makimura, Kota Okazaki, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niiro, Kouichi Murakami: Ablation Process of PMMA Induced by Irradiation with Laser Plasma EUV light, *The 10th Conference on Laser and Electro-Optics Pacific Rim*, 2013年07月01日, Japan. (公開)
- Tetsuya Makimura, Shuichi Torii, Daisuke Nakamura, Akihiko Takahashi, Tatsuo Okada, Hiroyuki Niiro, Kouichi Murakami: Responses of organic and inorganic materials to intense EUV radiation from laser-produced plasmas, *SPIE Optics + Optoelectronics 2013*, 2013年04月15日, Czech Republic. (公開)
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Jumpei Kuwazuru, Taiki Magome, Katsumasa Nakamura, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata, Masayuki Sasaki: Computer-aided Delineation of Tumour Regions for Lung Cancer in Multimodality Images by Localized Level Set Method, *International Conference on the Use of Computers in Radiation Therapy(ICCR2013 Melbourne)*, 2013年05月06日, Australia. (公開)
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Katsumasa Nakamura, Takahiro Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Automated estimation of four-dimensional dose distribution using electronic portal imaging device in stereotactic body radiotherapy, *International Conference on the Use of Computers in Radiation Therapy(ICCR2013 Melbourne)*, 2013年05月06日, Australia. (公開)
- Hidetaka Arimura, Ze Jin, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Taiki Magome, Masayuki Sasaki: Automated Method for Extraction of Lung Tumors Using a Machine

Learning Classifier with Knowledge of Radiation Oncologists on Data Sets of Planning CT and FDG-PET/CT images, 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'13, in Osaka),(Invited Speaker), 2013年07月05日, Japan. (公開)

- Hidetaka Arimura, Chiaki Tokunaga, Takashi Yoshiura, Tomoyuki Ohara, Yasuo Yamashita, Fukai Toyofuku: Automated Measurement of Cerebral Cortical Thickness Based on Fuzzy Membership Map Derived from MR images for Evaluation of Alzheimer's Disease, 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'13, in Osaka), (Invited Speaker), 2013年07月07日, Japan. (公開)
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Automated estimation of intra-fractional patient setup errors by using range images obtained via time-of-flight camera (oral presentation), 14th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (ISIS2013 in Daejeon), 2013年11月15日, Korea. (公開)
- Ayumi Nonaka, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Mazen Soufi, Taiki Magome, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Local image descriptor-based searching framework of usable similar cases in a radiation treatment planning database for stereotactic body (Paper 9039-18), SPIE Medical Imaging 2014 (San Diego), 2014年02月19日, United States of America. (公開)
- Hidetaka Arimura: Computer-Assisted Particle Therapy System Based on Computational Anatomy Models for Treatment Planning (pp.93-96), The Fifth International Symposium on the Project Computational Anatomy (Tokyo), 2014年03月08日, Japan. (公開)
- Eriko Yahiro, Akihiro Nohtomi, Daiki Nakanishi, Genichiro Wakabayashi, Fujibuchi Toshioh, Yoshiyuki Umezu, Jyunichi Fukunaga, Syuji Nagamine, Yasuhiko Nakamura: High sensitive neutron-detection by an NaI(Tl) scintillator with a novel self-activation method, 2013 Institute of Electrical and Electronics Engineers / Nuclear Science Symposium (IEEE/NSS), 2013年11月01日, Korea. (公開)
- Aina Takayama, Soichiro Honda, Eriko Yahiro, Akihiro Nohtomi, Daiki Nakanishi, Genichiro Wakabayashi, Toshioh Fujibuchi, Yoshiyuki Umezu, Jynichi Fukunaga, Syuji Nagamine, Yasuhiko Nakamura: High sensitive neutron-detection by a self-activation method [2] Measurement at 10MV clinical linac, The 9th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, 2013年11月30日, Japan. (公開)
- Hiroyuki Kinoshita, Eriko Yahiro, Akihiro Nohtomi, Daiki Nakanishi, Genichiro Wakabayashi, Toshioh Fujibuchi: High sensitive neutron-detection by a self-activation method [1] Measurement at a research reactor, The 9th International Workshop on Ionizing Radiation Monitoring, 2013年11月30日, Japan. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- Magome T, Hidetaka Arimura, Shioyama Y, Mizoguchi A, Nakamura K, Nakamura Y, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Optimization method of beam directions based on similar cases in stereotactic body radiotherapy for lung cancers, 第105回日本医学物理学会学術大会, 2013年04月13日, . (公開)
- 松井 健紘, 村上 雄一, 大喜 雅文, 高木 幸則, 中村 卓: シェーグレン症候群診断のための超音波画像のウェーブレット解析, 第41回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2013年10月17日, . (公開)
- 今村仁美, 豊福不可依: iBooks Author を用いたマルチメディア電子教材の開発-X線管とX線管とX線撮影装置を中心として-, 第8回九州放射線医療学術大会, 2013年11月, (公開)
- 藤井優花, 豊福不可依, 携帯情報端末で用いる電子教材の作成 -X線CTの基礎と臨床-, 第8回九州放射線医療学術大会, 2013年11月, (公開)
- 山出瞳, 豊福不可依, 三次元形状計測を用いた一回撮影による骨画像の分離, 第8回九州放射線医療学術大会, 2013年11月, (公開)

- K. Kozono, M. Aoki, M. Ono, A. Arimura, F. Toyofuku, A Study on a real-time entrance dose monitoring system in interventional radiology using Microsoft Kinect, 第 105 回日本医学物理学学会大会、2013 年 4 月、(公開)
- 福吉涼平、倉田貴之、佐藤周作、大野昌也、小園健太、豊福不可依、X 線撮影における骨と軟部組織の成分分離 -Kinect を用いた被写体厚測定法の検討-、第 106 回日本医学物理学学会、2013 年 9 月大阪、(公開)
- 倉田貴之、佐藤周作、福吉涼平、大野昌也、小園健太、豊福不可依、GPU を用いた単純 X 線撮影画像シミュレータの開発、第 106 回日本医学物理学学会、2013 年 9 月大阪、(公開)
- 芝弘晃, 高橋 昭彦, 村田弓香, 江口慎一郎, 氷室和彦, 小宮勲, 佐々木 雅之: 131I-SPECT のモンテカルロシミュレーション, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市市民会館. (公開)
- 村田弓香, 高橋 昭彦, 芝弘晃, 江口慎一郎, 氷室和彦, 山下泰生, 小宮勲, 佐々木 雅之: 90Y-SPECT のモンテカルロシミュレーションコードの開発, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市市民会館. (公開)
- 江口慎一郎, 高橋 昭彦, 村田弓香, 芝弘晃, 山下泰生, 小宮勲, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた PET 画像の Time-of-Flight 効果の検討, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市市民会館. (公開)
- 高橋 昭彦, 山下泰生, 中村泰彦, 馬場眞吾, 佐々木 雅之: 内部転換電子対生成を利用した 90Y の PET 計測のモンテカルロシミュレーション, 第 74 回応用物理秋季学術講演会, 2013 年 09 月 01 日, 同志社大学 京田辺キャンパス. (公開)
- 高橋 昭彦, 氷室和彦, 山下泰生, 小宮勲, 馬場眞吾, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションの核医学への応用, 電気学会・第4回量子ビームによるナノバイオサイエンス技術調査専門委員会「ナノバイオに関わる原子構造体の機能発現」, 2014 年 03 月 03 日, 東京理科大学 神楽坂キャンパス ポルタ神楽坂 7F 第三会議室. (公開)
- 東口武史, 鈴木悠平, 川崎将人, 大橋隼人, 中村 大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄, 鳥井周一, 牧村哲也: 炭酸ガスレーザー生成希土類プラズマ光源の放射特性, レーザー学会創立 40 周年記念学術講演会 第 34 回年次大会, 2014 年 01 月 20 日, 北九州国際会議場. (公開)
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata, Masayuki Sasaki: Computer-Aided Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images by Localized Level Set Method Combined with PET/CT Images, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 13 日, パシフィコ横浜. (公開)
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Ayumi Iwasaki, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Automated method for monitoring of patient positioning during treatment time based on range images, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 13 日, パシフィコ横浜. (公開)
- Taiki Magome, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Katsumasa Nakamura, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Optimization method of beam directions based on similar cases in stereotactic body radiotherapy for lung cancers, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 13 日, パシフィコ横浜. (公開)
- Chiaki Tokunaga, Hidetaka Arimura, Takashi Yoshiura, Tomoyuki Ohara, Yasuo Yamashita, Syouichi Koga, Kouji Kobayashi, Taiki Magome, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda: アルツハイマー病診断のための 3 次元大脳皮質厚のヒストグラム解析方法の検討, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜. (公開)
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Umedu, Yoshitaka Noguchi, Junichi Fukunaga, Naomi Hirano, Ryoji Matsumoto, Yoshitsugu Matsumoto, Saiji Ooga, 中村 和正: 前立腺 IMRT における CBCT を用いた線量評価指標の測定, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜. (公開)
- Hidetaka Arimura: 領域抽出の基本 -物理と画像処理の良い関係- Basics of Image Segmentation -Good Relationship between Physics and Image Processing-, 第 105 回日本医学物理学学会学術大会(横浜)(教育講演), 2013 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜. (公開)

- 奥好史, 有村 秀孝, 平木嘉幸, 豊田雅彦, 西郷康正, 池田睦, 中條政敬, 平田 秀紀: CT 画像に基づく子宮頸癌腔内照射治療における 3 次元治療計画の有効性の前向き研究 (p32), 日本放射線腫瘍学会第 15 回小線源治療部会(福岡), 2013 年 05 月 17 日, 九州大学百年講堂. (公開)
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Jumpei Kuwazuru, Taiki Magome, Takahiro Nakamoto, Katsumasa Nakamura, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Honda, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata, Masayuki Sasaki: Automated Segmentation of GTV in Treatment Planning CT Images for Lung Cancer Radiotherapy, 学会名: 医用画像情報学会(MII)平成 25 年度年次(第 166 回)大会(福岡), 2013 年 06 月 01 日, 純心学園大学(福岡). (公開)
- 松木孝臣, Hidetaka Arimura, Takashi Yoshiura, Chiaki Tokunaga, Hiroshi Honda: MSDE 法を併用した 3D TSE T1 強調画像を用いた転移性脳腫瘍自動検出法の検討, 第 68 回日本放射線技術学会総会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜. (公開)
- 松木孝臣, Hidetaka Arimura, Kazushige Atsumi, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda: 人工ニューラルネットワークを用いた放射線治療後の食道狭窄予測, 第 68 回日本放射線技術学会総会学術大会(横浜), 2013 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜(横浜). (公開)
- Ayumi Nonaka, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Taiki Magome, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Investigation of searching method of similar cases based on local features for assisting stereotactic body radiation therapy planning, 第 106 回日本医学物理学会学術大会(大阪), 2013 年 09 月 18 日, 大阪大学 コンベンションセンター. (公開)
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Katsumasa Nakamura, Satoshi Yoshidome, Taka-aki Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Hideki Hirata: Automated estimation of four-dimensional dose distribution based on high energy X-ray dynamic image during stereotactic body radiotherapy, 第 106 回日本医学物理学会学術大会(大阪), 2013 年 09 月 17 日, 大阪大学 コンベンションセンター. (公開)
- Hidetaka Arimura: Optimization of robust beam direction against patient setup errors in charged particle therapy, 第 106 回日本医学物理学会学術大会(大阪) Medical Physics International-School&the 11Th Medical Physics Seminar, Invited Speaker, 2013 年 09 月 18 日, 大阪大学 コンベンションセンター. (公開)
- 福永淳一, 有村 秀孝, 梅津芳幸, 廣瀬貴章: 前立腺 IMRT の治療計画における金マーカの影響, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜. (公開)
- 福永淳一, 有村 秀孝, 梅津芳幸, 廣瀬貴章: 異なる二つの線量計算アルゴリズムを用いた前立腺 IMRT の治療計画における金マーカの影響, 第 41 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2013 年 10 月 17 日, アクロス福岡. (公開)
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku: Real-time monitoring of intra-fractional patient setup errors using range images, 日本放射線腫瘍学会第 26 回学術大会(青森), 2013 年 10 月 19 日, 青森県青森市、ホテル青森・リンクステーションホール青森. (公開)
- Norimasa Matsushita, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Kagami Yoshikazu, Yoshiyuki Shioyama, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: 前立腺癌放射線治療計画支援のための計画者間変動を考慮した統計的 CTV モデルの開発, 日本放射線腫瘍学会第 26 回学術大会(青森), 2013 年 10 月 20 日, ホテル青森・リンクステーション青森. (公開)
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Taka-aki Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Hideki Hirata: 高精度放射線治療時における 2D/3D レジストレーションに基づく患者体内 4 次元線量分布自動推定システムの開発, 電子情報通信学会医用画像研究会(広島), 2013 年 11 月 07 日, 広島市立大学. (公開)
- 柴山祐亮, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, 松下矩正, 廣瀬貴章, 梅津芳幸, 中村泰彦, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: 前立腺癌放射線治療計画支援のための距離画像

を用いた統計的 CTV モデルの開発, 九州放射線医療技術学会大会(佐賀), 2013 年 11 月 24 日, 佐賀市文化会館. (公開)

- 今井美里, Hidetaka Arimura, 野中歩美, Katsumasa Nakamura, 塩山善之, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: スパースコーディングを用いた類似画像検索のための基礎的検討, 九州放射線医療技術学会大会(佐賀), 2013 年 11 月 24 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 小田丈史, Hidetaka Arimura, Jin Ze, Katsumasa Nakamura, 塩山善之, 佐々木 雅之: 最適輪郭選択法を用いた治療計画 CT 画像における肺腫瘍輪郭抽出方法とユーザーインターフェースの開発, 九州放射線医療技術学会大会(佐賀), 2013 年 11 月 24 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- Ayumi Nonaka, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Mazen Soufi, Taiki Magome, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: 類似治療計画症例検索法のための局所勾配分布特徴量の基礎的検討 (MI2013-103,pp.255-258), 電子情報通信学会医用画像研究会 MI (沖縄), 2014 年 01 月 27 日, 沖縄ぶんかテンプス館. (公開)
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yukunori Korogi, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki: Evaluation of an automated identification system of unruptured intracranial aneurysm candidates based on a blob structure enhancement filter at 3.0 T magnetic resonance angiography (MI2013-102,pp.249-253), 電子情報通信学会医用画像研究会 MI (沖縄), 2014 年 01 月 27 日, 沖縄ぶんかテンプス館. (公開)
- 八尋絵莉子, 納富 昭弘, 中西大樹, 若林源一郎, 藤淵俊王, 梅津芳幸, 福永淳一, 長峰周治, 中村泰彦: High sensitive neutron-detection by an NaI scintillator (2) - Measurement at a clinical linac, 医学物理学会, 2013 年 04 月 14 日, 神奈川県・横浜市・パシフィコ横浜. (公開)
- 納富 昭弘, 若林源一郎, 中西大樹, 藤淵俊王: High sensitive neutron-detection by an NaI scintillator (1) - Measurement at a research reactor, 医学物理学会, 2013 年 04 月 11 日, 神奈川県・横浜市・パシフィコ横浜. (公開)
- 栗原凌佑, 納富昭弘: ポリエチレン内張型反跳陽子比例計数管の出力パルス波形の観測, 第 8 回九州放射線医療技術学会大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀県・佐賀市. (公開)
- 木下博之, 八尋絵莉子, 納富昭弘, 若林源一郎, 伊藤哲夫: シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化にもとづく高感度中性子検出方法の研究(1) 研究用原子炉での測定, 第 8 回九州放射線医療技術学会大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀県・佐賀市. (公開)
- 高山愛菜, 八尋絵莉子, 納富昭弘, 中西大樹, 若林源一郎, 藤淵 俊王, 梅津芳幸, 福永淳一, 長峰周治, 中村泰彦: シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化にもとづく高感度中性子検出方法の研究(2) 治療用ライナックでの測定, 第 8 回九州放射線医療技術学会大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀県・佐賀市. (公開)
- 本田宗一郎, 納富昭弘: シンチレータに含まれるヨウ素の自己放射化にもとづく高感度中性子検出方法の研究(3) 計算による検出効率等の評価, 第 8 回九州放射線医療技術学会大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀県・佐賀市. (公開)
- 納富 昭弘, 若林源一郎, 八尋絵莉子, 藤淵 俊王, 中村泰彦, 梅津芳幸, 福永淳一, 中村和正, 細野眞: ヨウ素を含むシンチレータの自己放射化にもとづく高感度中性子検出法の研究, 第 28 回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2014 年 01 月 29 日, つくば市 高エネルギー加速器研究機構. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- Hidetaka Arimura, Taiki Magome, Genyu Kakiuchi, Jyunpei Kuwazuru, Asumi Mizoguchi: (共著) "Computational Intelligent Image Analysis for Assisting Radiation Oncologists' Decision Making in Radiation Treatment Planning" in Computational Intelligence in Biomedical Imaging Edited by Kenji Suzuki (The University of Chicago) pp. 83-103, Springer Science+Business Media New York, 2013 年 12 月, Springer. (公開)

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- Hidetaka Arimura, Ze Jin, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Taiki Magome, Masayuki Sasaki: Automated Method for Extraction of Lung Tumors Using a Machine

Learning Classifier with Knowledge of Radiation Oncologists on Data Sets of Planning CT and FDG-PET/CT images, The 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC) proceedings pp. 2988-2991, 2013年07月, . (公開)

- Hidetaka Arimura, Chiaki Tokunaga, Takashi Yoshiura, Tomoyuki Ohara, Yasuo Yamashita, Fukai Toyofuku: Automated Measurement of Cerebral Cortical Thickness Based on Fuzzy Membership Map Derived from MR images for Evaluation of Alzheimer's Disease, The 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC) proceedings pp.7116-7119, 2013年07月, . (公開)
- 仲本宗泰, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, 塩山善之, 溝口明日実, 広瀬貴章, Hiroshi Honda, 梅津芳幸, 中村泰彦, Hideki Hirata: 高精度放射線治療時における2D/3Dレジストレーションに基づく患者体内4次元線量分布自動推定システムの開発, , 2013年11月, . (公開)
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Automated estimation of intra-fractional patient setup errors by using range images obtained via time-of-flight camera, Proceedings of 14th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (ISIS2013) 12 pages, 2013年11月, . (公開)
- Hidetaka Arimura: Computer-Assisted Particle Therapy System Based on Computational Anatomy Models for Treatment Planning, Proceedings of The Fifth International Symposium on the Project Computational Anatomy pp.93-96, 2014年03月, . (公開)

受賞

- Jin Z (M1), 有村, 「Computer-Aided Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images by Localized Level Set Method Combined with PET/CT Images」, 英語プレゼンテーション賞(Ze Jin, Arimura H.et al.) Computer-Aided Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images by Localized Level Set Method Combined with PET/CT Images, 第105回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2013年04月.
- 仲本 (M2), 有村, 「肺定位放射線治療時に取得した高エネルギーX線動画像に基づく4次元線量分布自動推定法の開発」, 第106回日本医学物理学会大会長賞(仲本宗泰, 有村秀孝, 他) 肺定位放射線治療時に取得した高エネルギーX線動画像に基づく4次元線量分布自動推定法の開発, 第106回日本医学物理学会学術大会(大阪), 2013年09月.
- Soufi M, 有村, 「Automated estimation of intra-fractional patient setup errors by using range images obtained via time-of-flight camera」, Best Session Paper Award (Soufi M, Arimura H.et al.) Automated estimation of intra-fractional patient setup errors by using range images obtained via time-of-flight camera, 14th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (ISIS2013 in Daejeon, Korea), 2013年11月.
- 野中, 有村, 「Local image descriptor-based searching framework of usable similar cases in a radiation treatment planning database for stereotactic body.」, Robert F. Wagner Student Paper Award, PACS and Imaging Informatics: Next Generation and Innovations Conference Finalist (Nonaka A, Arimura H, et al.) Local image descriptor-based searching framework of usable similar cases in a radiation treatment planning, International Society for Optics and Photonics (SPIE Medical Imaging), San Diego, 2014年02月.
- 納富, 「NaIシンチレータを用いた高感度中性子検出(2)医療用ライナックでの測定」, 第105回日本医学物理学会学術大会 大会長賞, 日本医学物理学会, 2013年04月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, レーザー生成プラズマからの極端紫外線による無機材料の微細加工に関する研究, 筑波大学大学院, 2008年04月~, 公開.

2. 受託研究

- 有村, 次世代医用クラウドシステムによる脳卒中に関する統合診断支援プラットフォームの構築, 株式会社 NTT データ <http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2012/102600.html>, 2012年11月~2014年02月, 公開.

3. 取得特許

- HIGH-SENSITIVE NEUTRON-DETECTION METHOD BASED ON THE SELF-ACTIVATION OF SCINTILLATION MATERIALS, AKIHIRO NOHTOMI, GENICHIRO WAKABAYASHI, TETSUO ITO, 国際出願番号 PCT/JP2014/056812.

4. 兼業 ※※システムに対応項目なし※※

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, Indiana Convention Center, Aug.3-9,2013(United States of America), 国際会議, 2013年08月~2013年08月(2週間未満). (公開)
- 有村, Institute of Technology Bandung(ITB), University of Indonesia, 講演,訪問, Oct.27-28,2013(Indonesia), 大学・研究所訪問, 2013年10月~2013年10月(2週間未満). (公開)
- 有村, The International Symposium on BioMathematics (Symomath) Invited Speaker "Computer-aided Neuroradiology Based on Magnetic Resonance Image Analysis and Biomathematics", Oct.28, 2013(Indonesia), 国際会議, 2013年10月~2013年10月(2週間未満). (公開)
- 有村, PaiChai University in Daejeon, Nov.14-16,2013(Korea), 国際会議, 2013年11月~2013年11月(2週間未満). (公開)
- 有村, Town & Country Resort and Convention Center, Feb.15-21,2014(United States of America), 国際会議, 2014年02月~2014年02月(2週間未満). (公開)
- 有村, Dept. Medical Imaging and Radiological Sciences Kaohsiung Medical University (in Taiwan), 訪問, Mar.17-19,2014(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2014年03月~2014年03月(2週間未満). (公開)

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

靳 沢 (Jin Ze, キン タク) G30	修士課程	受入れ教員:有村秀孝
Soufi Mazen (from Syria) G30	修士課程	受入れ教員:有村秀孝
Tran Thi Thao Nguyen (from Vietnam) G30	修士課程	受入れ教員:有村秀孝

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]. (公開)
- 大喜, 認証評価部会委員. (公開)
- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者. (公開)
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議. (公開)
- 高橋, 入学者選抜研究委員会. (公開)
- 有村, G30 実施調整会議委員. (公開)
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者. (公開)
- 豊福, 保健学科教務委員長. (公開)

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 大喜, 地域国際連携推進委員会・FD 実行委員会委員長. (公開)
- 大喜, 大学院委員会. (公開)

- 有村, 広報委員. (公開)
- 納富, 学生委員会委員、広報委員会委員. (公開)
- 豊福, 保健学科放射線取扱主任者. (公開)
- 豊福, 九大がんプロ医学物理士養成コース担当者. (公開)
- 豊福, 医学物理士・放射線治療品質管理士養成認定教育コース代表者. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師. (公開)
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師. (公開)
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師. (公開)
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師. (公開)
- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師. (公開)
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員. (公開)

2. 学協会

- 有村, 第 105 回日本医学物理学会学術大会(JSMP)を保健学部門医用量子線科学分野教授豊福不可依大会長と共に, 実行委員長として学会運営に努めた. (パシフィコ横浜, 4/11-14,2013), 日本医学物理学会 JSMP, 学術団体.
- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他(医用画像研究会(MI) 専門委員), 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), 理事(庶務担当理事), 国内.
- 有村, 電子情報通信学会 和英医用画像特集号, 編集委員, 国内.
- 納富, 日本医学物理学会 医学物理学教科書シリーズ「放射線計測学」, 編集委員(執筆委員、教科書 ad hoc 委員会 委員), 国内.
- 納富, Proceedings of ICRS12 & RPSD 2012(published as Progress of Nuclear Science and Technology), 編集委員, 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 納富, 日本中性子捕捉療法学会, BNCT 版医学物理 WG 委員会委員
- 豊福, 第 105 回日本医学物理学会大会長(2013 年 4 月、パシフィコ横浜)

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「「一次世代医学物理の将来展望」と題し、筑波大学、佐賀 HIMAT、大阪大学、東北大学から 4 名の講師を迎え、豊福教授と共に九大保健学部門でがんプロ講演会を開催した。Jan 28, 2014」, , 2013-06-01 .

5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 「岡山大学医学物理士インテンシブコース地域連携セミナー「画像工学を用いた高精度放射線治療支援」, 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム. 岡山大学病院(7/9), セミナー・研修会.
- 有村, 「九重セミナー、放射線物理」, 日本医学放射線学会九州地方会. 九州大学医学部コラボステーション I, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	平田 秀紀
教授	佐々木 雅之
教授	杜下 淳次
准教授	藪内 英剛
講師	熊澤 誠志
講師	藤淵 俊王
助教	赤坂 勉
助教	吉田 豊

1. 教育活動

1. 大学院講義

平田 秀紀		
国際社会とチーム医療 (分担)		前期
アジアの保健学 (分担)		前期
がん病態治療論 (分担)		前期
臨床量子線科学Ⅰ (分担)		前期
佐々木 雅之		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
ヘルスサイエンス論 (分担)		前期
杜下 淳次		
臨床量子線科学Ⅰ (分担)		前期
医用画像科学論 (分担)		後期
保健学研究論 (分担)		前期
藪内 英剛		
分子機能画像科学論 (分担)		後期
臨床量子線科学Ⅰ (分担)		前期
熊澤 誠志		
医用画像科学論 (分担)		後期
藤淵 俊王		
医用画像科学論 (分担)		後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

平田 秀紀		
量子線治療科学論 (分担)		通年
臨床量子線科学Ⅱ (分担)		後期
佐々木 雅之		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学Ⅱ (分担)		後期

杜下 淳次		
臨床量子線科学Ⅱ (分担)		後期
藪内 英剛		
分子機能画像科学演習 (分担)		前期
臨床量子線科学Ⅱ (分担)		後期

4. 大学院修士課程修了者

永田 弘典	膵臓がん高精度放射線治療における質的向上および保証の検討
毛利 一彩	サイバーナイフにおけるマシンビジョンシステムを用いた新しい位置認識システムの開発
谷口 隆文	Time-of-flight 補正による PET/CT の画質改善効果
小島 宰	頭頸部 MR 画像における*Radial Acquisition Regime (RADAR)の有用性と耳下内顔面神経描出における*surface coilと head coil の比較に関する研究
矢野 雄大	液晶ディスプレイ装置の色度の変化に関する研究
牛島 大悟	MRI シミュレータを用いた Echo-planar imaging (EPI)の画像歪みに関する研究

5. 大学院博士課程修了者

田中延和	胸部撮影における irradiation side sampling (ISS)技術を採用した間接変換型フラットパネルディテクタシステムの基本的な画像特性：コンピューテッドラジオグラフィシステムとの比較 (Basic imaging properties of an indirect flat-panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) technology for chest radiography: Comparison with a computed radiographic system) 指導教員:杜下淳次
------	---

6. 学部講義

平田 秀紀		
放射線生物学		前期
放射線治療技術学 (分担)		前期
放射線機器学 (分担)		前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)		前期
臨床概説		前期
身体の機能と構造		前期
看護概論		後期
放射線衛生学		前期
放射線治療技術学Ⅱ		後期
放射線治療技術学実習		後期
放射線基礎医学		後期
基幹教育総合科目「放射線とはなんだろうか？」		前期
佐々木 雅之		
基幹教育総合科目「放射線とはなんだろうか？」		前期
統合教育科目「インフォームドコンセント」		前期
核医学検査学Ⅰ (分担)		通年
核医学検査学Ⅱ (分担)		通年
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)		前期

放射線医学技術学概論 (分担)	後期
人体の構造と機能ⅡA (分担)	前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)	前期
杜下 淳次	
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)	前期
放射線画像技術学Ⅰ	前期
医用画像評価学	後期
藪内 英剛	
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)	前期
放射線診断学特論	後期
画像解剖学	後期
MR 超音波画像技術学	前期
医療系統合教育	前期
人体の構造と機能ⅡA	前期
人体の構造と機能ⅡB	後期
熊澤 誠志	
品質管理論	後期
医用画像処理学Ⅱ	後期
放射線画像技術学Ⅱ	前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)	前期
藤淵 俊王	
品質管理論	後期
放射線衛生学	後期
赤坂 勉	
放射線管理学 (分担)	後期
医用画像情報学 (分担)	前期
吉田 豊	
X線 CT 画像技術学 (分担)	前期
コアセミナー(放射線医学入門) (分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

平田 秀紀	
放射線治療技術学実習	後期
佐々木 雅之	
放射化学・実験 (分担)	後期
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	前期
臨地実習 (分担)	通年
杜下 淳次	
臨地実習 (分担)	通年
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
放射線画像技術学実習 (分担)	通年
放射線機器学実験 (分担)	通年

藪内 英剛	
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
医療系統合教育	前期
熊澤 誠志	
放射線画像技術学実習 (分担)	通年
放射化学・実験	後期
医用画像処理学演習	前期
放射線機器学実験 (分担)	通年
藤淵 俊王	
放射線画像技術学実習 (分担)	後期
放射線治療技術学実習	後期
放射線機器学実験 (分担)	通年
赤坂 勉	
医用画像情報学実験 (分担)	後期
放射線画像技術学実習 (分担)	通年
放射線機器学実験 (分担)	通年
吉田 豊	
臨地実習 (分担)	通年
放射線機器学実験 (分担)	通年
放射性同位元素検査学・実習	前期
放射化学・実験	後期

8. 卒業論文作成

境 杏美	放射線科専門医師の被ばくに対する意識調査
獅々賀岳史	子宮頸がん RALS における IGRT とマンチェスター法の比較
加々美瑠莉子	SPECTを用いた脳神経伝達機構の研究
佐藤 真帆	SPECTを用いた脳神経伝達機構の研究
前畠 彬	PET/CT の定量性向上に関する研究
長友 和也	肩関節 MRI のモーショナーチファクト*軽減における Radial Acquisition Regime (RADAR) の有用性の検討
坂本 真理	デジタルマンモグラフィにおける微小石灰化の検出能と読影時間: 5MP と 8MP の LCD モニターの比較
井上 俊也	腫瘍非形成性乳癌の T 因子診断における*拡散テンソル画像の有用性の検討
下稲 あかね	液晶ディスプレイモニタの階調特性の違いが超音波画像のコントラストに与える影響
安松 将吾	線質の違いが Exposure Index に及ぼす影響
山原 多生	MRI における磁化率効果に起因した磁場不均一分布計算の高速化
若松 恭平	頭部 EPI におけるポジショニングの違いと画像歪みについてのシミュレーション
中野 里香	モンテカルロ法に基づいた制限拡散 MR シミュレータの開発
村上 佳乃子	小児生殖腺被ばく線量の検証(2)両股関節撮影
上野 敦史	小児生殖腺被ばく線量の検証(1)腹部撮影
井田 智延	撮影パラメータがトモシンセシス画像の画素値とコントラストに及ぼす影響
田中 善朗	トモシンセシス画像の断層厚が斜位像の歪みに及ぼす影響について
岩瀬 賢祐	輝度の異なる 2 種類の信号に対する観察者の対応に関する研究
清水 陽一郎	胸部単純 X 線画像の平均画像による生体指紋の自動抽出法の開発

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

平田 佐々木 杜下 藪内 熊澤 赤坂 藤淵 引率教員として 九大山の家研修

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田	(公開)
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木	(公開)
3	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木	(公開)
4	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下	(公開)
5	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下	(公開)
6	乳腺腫瘍の MRI による診断 頭頸部腫瘍の MRI による診断 造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究 肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内	(公開)
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内	(公開)
8	functional MRI における脳機能部位の高精度抽出	熊澤	(公開)
9	EPI 撮像法におけるゴーストアーチファクトの低減	熊澤	(公開)
10	MRI 画像におけるインタラクティブな領域抽出	熊澤	(公開)
11	拡散テンソルMR画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発	熊澤	(公開)
12	医用放射線による患者およびスタッフの放射線防護、モニタリング、放射性廃棄物に関する研究	藤淵	(公開)
13	患者被ばく線量の測定	赤坂	(公開)
14	診断領域の線量測定	吉田	(公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」3T-MRI を用いた乳腺拡散テンソル画像の乳がん診療への応用, 藪内(代表), 1300 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」拡散テンソルMR画像における脳の機能・形態情報抽出および可視化手法の開発, 熊澤(代表), 1100 千円. (公開)
- 「若手研究(B)」シンチレーションファイバを用いたリアルタイム線量分布評価システムの開発, 藤淵(代表), 2300 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ

- 「日本メジフィジックス」佐々木雅之.
- 「富士フィルムRIファーマ」佐々木雅之

5.

6. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社ナナオ 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下

7. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

8. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌(筆頭者下線は学生・院生)

- Taiki Magome, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Chiaki Tokunaga, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Masafumi Ohki, Fukai Toyofuku, Hideki Hirata: Computer-aided beam arrangement based on similar cases in radiation treatment-planning databases for stereotactic lung radiation therapy, *Journal of Radiation Research Vol.54 No.3*, , 2013年05月. () (公開)
- Makoto Shinoto, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Postoperative radiotherapy in patients with salivary duct carcinoma: clinical outcomes and prognostic factors, , , 2013年04月. (査読あり) (公開)
- Tadamasu Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Definitive Fractionated Re-irradiation for Local Recurrence Following Stereotactic Body Radiotherapy for Primary Lung Cancer, , , 2013年10月. (査読あり) (公開)
- Go Akamatsu, Katsuhiko Mitsumoto, Kaori Ishikawa, Takafumi Taniguchi, Nobuyoshi Oya, Shingo Baba, Koichiro Abe, Masayuki Sasaki: Benefits of point-spread-function and time-of-flight for PET/CT image quality in relation to the body mass index and injected dose., *Clin Nucl Med.*, 2013 Jun;38(6):407-12. doi: 10.1097/RLU.0b013e31828da3bd. Epub 2013 Apr 18. , 2013年06月. (査読あり) (公開)
- Yasuhiro Maruoka, Masayuki Sasaki: Usefulness of partial volume effect-corrected F-18 FDG PET/CT for predicting I-131 accumulation in the metastatic lymph nodes of patients with thyroid carcinoma, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 2013 Dec;27(10):873-879. Epub 2013 Sep 4. , 2013年12月. () (公開)
- Go Akamatsu, Masayuki Sasaki: Influences of point-spread function and time-of-flight reconstructions on standardized uptake value of lymph node metastases in FDG-PET, *EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY*, 2014 Jan;83(1):226-30. doi: 10.1016/j.ejrad.2013.09.030. Epub 2013 Oct 6. , 2014年01月. () (公開)
- Mana Akamatsu, Go Akamatsu, Masayuki Sasaki: Influences of reconstruction and attenuation correction in brain SPECT images obtained by the hybrid SPECT/CT device: evaluation with a 3-dimensional brain phantom., *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine and Biology*, 2(1): 24-29., 2014年01月. (査読あり) (公開)
- Nobukazu Tanaka, Kentaro Naka, Aya Saito, Junji Morishita, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Investigation of optimum anti-scatter grid selection for digital radiography: physical imaging properties and detectability of low-contrast signals. *Radiological Physics and Technology*. 2013; 6(1): 54-60. (査読あり) (公開)
- Hiroshi Akamine, Junji Morishita, Michinobu Matsuyama, Noriyuki Hashimoto, Yasuhiko Nakamura, Hidetake Yabuuchi: Effect of angular performance on the chromaticity of grayscale images displayed on medical liquid-crystal displays. *Radiological Physics and Technology*. 2013; 6(1): 61-69. (査読あり) (公開)
- Michinobu Matsuyama, Junji Morishita, Hiroshi Akamine, Shogo Tokurei, Hidetake Yabuuchi, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Masafumi Ohki: Effect of ambient lighting on liquid-crystal displays with different types of surface treatment. *Radiological Physics and Technology*. 2013; 6(1): 121-129. (査読あり) (公開)
- Nobukazu Tanaka, Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Tsutomu Akasaka, Masayuki Sasaki, Masafumi Ohki, Junji Morishita: Basic imaging properties of an indirect flat-panel detector system employing irradiation side sampling (ISS) technology for chest radiography: comparison with a computed radiographic system. *Radiological Physics and Technology*. 2013; 6(1): 162-169. (査読あり) (公開)
- Risa Toge, Junji Morishita, Yasuo Sasaki, Kunio Doi: Computerized image-searching method for finding correct patients for misfiled chest radiographs in a PACS server by use of biological fingerprints, *Radiological Physics and Technology*, 2013; 6(2): 437-443. (査読あり) (公開)
- Nobukazu Tanaka, Junji Morishita, Norisato Tsuda, Masafumi Ohki: Effect of readout direction in the edge profile on the modulation transfer function of computed radiographic systems by use of the edge method, *Radiological Physics and Technology*, , 2013年07月. (査読あり) (公開)

- Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Nobukazu Tanaka, Junji Morishita, Akasaka Tsutomu, Masayuki Sasaki: Detectability of simulated pulmonary nodules on chest radiographs: Comparison between irradiation side sampling indirect flat-panel detector and computed radiography, *European Journal of Radiology*, 2013; 82 (11): 2050-2054. (公開)
- Shinya Takarabe, Junji Morishita, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Akamine, Noriyuki Hashimoto, Yasuhiko Nakamura: A preliminary study for exploring the luminance ratio of liquid-crystal displays required for display of radiographs, *Radiological Physics Technology*, 2014; 7(1): 73-78. (査読あり) (公開)
- Yoichiro Ikushima, Junji Morishita, Hiroshi Akamine, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto: Visual assessment method of angular performance in medical liquid-crystal displays by use of the ANG test pattern: effect of ambient illuminance and effectiveness of modified scoring, *Radiological Physics Technology*, 2014; 7(1): 51-56. (査読あり) (公開)
- Yoichiro Ikushima, Hidetake Yabuuchi, Junji Morishita, Hiroshi Honda: Analysis of Dominant Factors Affecting Fatigue Caused by Soft-Copy Reading. , *Academic Radiology*, 20(11): 1448-1456. (査読あり) (公開)
- Kumazawa Seiji, Yoshiura Takashi, Honda Hiroshi, Toyofuku Fukai: Improvement of Partial Volume Segmentation for Brain Tissue on Diffusion Tensor Images using Multiple-tensor Estimation, *Journal of Digital Imaging*, , 2013年12月. (査読あり) (公開)
- Masateru Kawakubo, Michinobu Nagao, Seiji Kumazawa, Akiko Suyama Chishaki, Yasushi Mukai, Yasuhiko Nakamura, Honda Hiroshi, Junji Morishita: Evaluation of cardiac dyssynchrony with longitudinal strain analysis in 4-chamber cine MR imaging, *Eur J Radiol.*, , 2013年12月. (査読あり) (公開)
- 渡邊 浩, 山口 一郎, 前原 善昭, 小泉 美都枝, 藤淵 俊王, 木田 哲生, 塚本 篤子, 堀次元気, 平木 仁史, 木村 有美, 大山 正哉: 放射線治療装置保守担当者に対する放射化物に関するリスクコミュニケーションの効果, *日本放射線技術学会雑誌*, , 2013年12月. (査読あり) (公開)
- Fujibuchi T, Kawamura H, Yamanashi K, Hiroki A, Yamashita S, Taguchi M, Sato Y, Mimura K, Ushiba H, Okihara T: Dose-response measurement in gel dosimeter using various imaging modalities, *7TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON 3D RADIATION DOSIMETRY (IC3DDOSE)*, , 2013年04月. (査読あり) (公開)
- Noriyuki Sakai, Hidetake Yabuuchi, Masatoshi Kondoh, Yoshio Matsuo, Takeshi Kamitani, Masato Yonezawa, Yuzo Yamasaki, Michinobu Nagao, Hiroshi Honda, Low-dose CT screening with iterative reconstruction: the confidence rating of diagnosis for simulated lesions other than lung cancer, *European congress of radiology*, 2014年03月07日, Austria. (公開)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 木寺 大輔, 木原 謙, 赤松 剛, 谷口 隆文, 三笠 翔平, 田仲 由香, 小宮 勲, 筒井 悠治, 中村 泰彦, 佐々木 雅之: Evaluation of the edge artifact in PET images reconstructed with a PSF model., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月09日, Canada. (公開)
- 筒井 悠治, 木寺 大輔, 谷口 隆文, 赤松 剛, 小宮 勲, 梅津 芳幸, 佐々木 雅之: Usefulness of amplitude-based respiratory gating for PET/CT., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月09日, Canada. (公開)
- 三笠 翔平, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 木原 謙, 松岡 光貴, 甘舛 慎史, 吉田 毅, 佐々木 雅之: Standardization of dual point FDG-PET with different PET scanners by partial volume correction., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 谷口 隆文, 赤松 剛, 木原 謙, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 筒井 悠治, 小宮 勲, 佐々木 雅之: Does the different radioactivity influence the effect of PSF and TOF correction on PET/CT image quality?, 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 赤松 剛, 姥 浩二, 谷口 隆文, 光元 勝彦, 成末 彰博, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: A comparison of the imaging performance of 39- and 52-ring time-of-flight PET/CT

scanners using a NEMA body phantom., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)

- 赤松 剛, 谷口 隆文, 木原 謙, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 小宮 勲, 佐々木 雅之: A new method to evaluate the PET image quality based on the image noise and reproducibility of recovery coefficients. , 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 田仲 由香, 近藤 晃, 佐々木 克己, 赤松 剛, 谷口 隆文, 佐々木 雅之: A study of the calculation methods used to eliminate the body weight dependency of SUV., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 松友 紀和, Hideo Onishi, Akio Nagaki, Keiichi Matsumoto, 佐々木 雅之: Usefulness of CT iterative reconstruction method for low-dose CT attenuation correction on the accuracy of PET image in obesity phantom study., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: Clinical value of IMP-SPECT in the follow-up of choroidal melanoma after radiotherapy. , 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 丸岡 保博, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: Evaluation of salivary glands dysfunction secondary to radioiodine therapy for well-differentiated thyroid carcinoma by using salivary gland scintigraphy., 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- 磯田 拓郎, 阿部 光一郎, 馬場 眞吾, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: Clinical characteristics for lung metastasis without iodine uptake in the patients with thyroid cancer. , 60th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2013年06月10日, Canada. (公開)
- Hidetaka Arimura, Masayuki Sasaki: Automated Method for Extraction of Lung Tumors Using a Machine Learning Classifier with Knowledge from Radiation Oncologists on Data Sets of Planning CT and FDG-PET/CT Images, 35th Annual International IEEE EMBS, 2013年07月03日, Japan. (公開)
- Kenta Miwa, Masayuki Sasaki: Comparison of intratumoral 18FDG and 18FAZA distribution in non-small cell lung cancer using deformable image registration., RSNA2013, 99th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America, 2013年12月01日, United States of America. (公開)
- Kenta Miwa, Masayuki Sasaki: FDG uptake heterogeneity evaluated by fractal analysis improves the differential diagnosis of pulmonary nodules., RSNA2013, 99th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America, 2013年12月01日, United States of America. (公開)
- Kumazawa Seiji, Yoshiura Takashi, Honda Hiroshi, Toyofuku Fukai: Development of a Novel Partial Volume Brain Tissue Segmentation Method Based on Diffusion Tensor MR Imaging Data Using Multi-tensor Model , Radiological Society of North America (RSNA), 2013年12月03日, United States of America. (公開)
- Kumazawa Seiji, Yoshiura Takashi, Honda Hiroshi, Toyofuku Fukai: A Novel Image-based Estimation Method for Magnetic Field Inhomogeneity in Brain Echo-planar Image , Radiological Society of North America (RSNA), 2013年12月02日, United States of America. (公開)
- Ushijima Daigo, Kumazawa Seiji, Hidetake Yabuuchi, Masafumi Ohki: Investigation of influences of the magnetic field inhomogeneity due to the subject positioning on the apparent diffusion coefficient in the cerebral cortex using MRI simulator , Radiological Society of North America (RSNA), 2013年12月03日, United States of America. (公開)
- Daisuke Nishigake, Seiji Kumazawa, Hidetake Yabuuchi, Toyofuku Fukai: A validation of the biexponential model in diffusion MRI signal attenuation using diffusion Monte Carlo simulator, European congress of radiology, 2014年03月07日, Austria. (公開)

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 平田 秀紀, 大野 和子, 齊藤 勉, 古井 滋, 緒方 裕光, 酒井 一夫: 医療における放射線被爆について～専門医アンケート調査報告ダイジェスト, JCR ニュース 2013 年 3・4 月号 (No. 193), , 2013 年 04 月. (公開)
- 平田 秀紀: 小線源治療部会第 15 回学術大会報告, JASTRO NEWSLETTER 2013 年 No.2 (通巻 108 号), , 2013 年 06 月. (公開)
- 平田 秀紀: 男と女の腫瘍学, ベアリング協会ニュース, , 2013 年 05 月. (公開)

e. 国内学会での講演, 発表

- 平田 秀紀: 放射線からみた画像と治療の考え方, 日本放射線科専門医会第 27 回ミッドウインターセミナー, 2014 年 02 月 02 日, 福岡国際会議場. (公開)
- 谷口 隆文, 赤松 剛, 木原 謙, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 小宮 勲, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: Effect of point-spread-function and time-of-flight for PET/CT image quality in relation to radioactivity levels, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 赤松 剛, 谷口 隆文, 木原 謙, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: A new method to evaluate the PET image quality based on the image noise and reproducibility of recovery coefficients, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 木寺 大輔, 木原 謙, 赤松 剛, 谷口 隆文, 三笠 翔平, 田仲 由香, 小宮 勲, 筒井 悠治, 中村 泰彦, 佐々木 雅之: Evaluation of the edge artifact in PET images reconstructed with a PSF model, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 三笠 翔平, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 木原 謙, 松岡 光貴, 甘舛 慎史, 吉田 毅, 佐々木 雅之: Standardization of dual point FDG-PET with different PET scanners by partial volume correction, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 三輪 建太, Hidenobu Tachibana, Masayuki Inubushi, Kei Wagatsuma, Taisuke Murata, Tomoyuki Takiguchi, Mitsuru Koizumi, Tsuneo Saga, 佐々木 雅之: Comparison of intratumoral distribution of 18FDG and 18FAZA using deformable image registration procedure in non-small cell lung cancer patients, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 田仲 由香, 近藤 晃, 佐々木 克己, 赤松 剛, 谷口 隆文, 佐々木 雅之: SUVの体重依存性改善のための投与量補正の検討, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 筒井 悠治, 木寺 大輔, 谷口 隆文, 赤松 剛, 榎本 真奈, 園田 真二郎, 山下 泰生, 粟元 伸一, 小宮 勲, 梅津 芳幸, 佐々木 雅之: PET/CTにおける振幅同期を用いた呼吸同期撮影法の有用性, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 甘舛 慎史, 松岡 光貴, 川野 真之, 長谷川 齊孝, 大内田 弥央, 澤田 彩佳, 吉田 毅, 佐々木 雅之: PET 画質評価における被検者 SNR 測定の関心領域の影響, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 13 日, 横浜市. (公開)
- 佐々木 雅之: パネルディスカッション「誰のための学位か: 大学側の希望、大学院生の悩み、受け入れ施設の考え」6. 医師である教員の立場から, 第 69 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 11 日, 横浜市. (公開)
- 佐々木 雅之: PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第 13 回 日本核医学会春季大会, 2013 年 04 月 28 日, 東京都. (公開)
- 佐々木 雅之: 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第 13 回 日本核医学会春季大会, 2013 年 04 月 28 日, 東京都. (公開)
- 磯田 拓郎, 馬場 眞吾, 丸岡 保博, 北村宜之, 藤田展宏, 西江 昭弘, 佐々木 雅之, 本田 浩: 131-Iodine の子宮頸部への集積; MRI との比較, 第 177 回日本医学放射線学会九州地方会, 2013 年 05 月 15 日, 長崎市. (公開)
- 北村宜之, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 松尾 芳雄, 古賀 友紀, 山元 英崇, 佐々木 雅之, 本田 浩: 著明な浸潤性発育を呈した顆粒球肉腫の一例, 第 177 回日本医学放射線学会九州地方会, 2013 年 05 月 15 日, 長崎市. (公開)

- 松友紀和, 佐々木 雅之: 球体 VOI 解析を用いた SUV 測定法の評価, 第 25 回 日本核医学技術学会中国四国地方会, 2013 年 06 月 29 日, 香川市. (公開)
- 佐々木 雅之, 赤松 剛: 今の TOF で画質は改善するか?, , 2013 年 08 月 24 日, 金沢市. (公開)
- 高橋 昭彦, 佐々木 雅之: 内部転換電子対生成を利用した 90Y の PET 計測のモンテカルロシミュレーション, 第 74 回 応用物理学学会秋季学術講演会, 2013 年 09 月 16 日, 京田辺市. (公開)
- 谷口 隆文, 佐々木 雅之: TOF 補正による PET 画像のノイズ低減効果の検討, 第 33 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 木寺 大輔, 佐々木 雅之: PSF 補正 PET 画像のエッジアーチファクトと放射能濃度比の関係, 第 33 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 三笠 翔平, 佐々木 雅之: 乳癌多発転移の FDG 集積の多様性に対する部分容積効果補正の影響, 第 33 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 赤松 剛, 佐々木 雅之: 異なる 2 機種 of PET/CT 装置における Point-spread function 補正と Time-of-flight 補正の効果, 第 33 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 悪性リンパ腫の治療戦略における FDG-PET の役割, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 丸岡 保博, 佐々木 雅之: 甲状腺乳頭癌ヨード治療後の治療効果判定:FDG-PET を用いた I-131 集積陽性転移リンパ節の解析, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: DLBCL における寛解後の早期再発予測における FDG-PET の有用性, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 磯田 拓郎, 佐々木 雅之: BONENAVI: 骨転移性病変の性状が ANN 値に及ぼす影響, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 北村 宜之, 佐々木 雅之: 肺癌病変の FDG 集積における位相同期 PET/CT と振幅同期 PET/CT の比較, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 三輪 建太, 佐々木 雅之: ポジトロン用マルチピンホールコリメータの 99mTc に対する性能評価, 第 53 回 日本核医学会学術総会, 2013 年 11 月 08 日, 福岡市. (公開)
- 前島 彬, 佐々木 雅之: PET/CT における収集時間・収集フレームと画質変動性の関係, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 佐藤 真帆, 佐々木 雅之: ドパミントランスポータ SPECT/CT 画像の定量的解析に用いる収集条件と関心領域の検討, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 加々美 瑠莉子, 佐々木 雅之: ドパミントランスポータ SPECT/CT 画像の異なる機種間の差の検討, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 江口慎一郎, 佐々木 雅之: モンテカルロシミュレーションを用いた PET 画像の Time-of-Flight 効果の検討, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 村田 弓香, 佐々木 雅之: 90Y-SPECT 計測のモンテカルロシミュレーション, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 芝 弘晃, 佐々木 雅之: 131I-SPECT のモンテカルロシミュレーション, 第 8 回 九州放射線医療技術学術大会、第 62 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 59 回 九州放射線技師学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市. (公開)
- 北村 宜之, 佐々木 雅之: FDG-PET/CT で悪性腫瘍との鑑別が困難であった脳結核種の 1 例, 第 49 回 日本核医学会九州地方会, 2014 年 02 月 08 日, 北九州市. (公開)

- 丸岡 保博, 佐々木 雅之: 初回ヨウ素治療後の唾液腺シンチグラフィによるヨウ素治療継続後唾液腺障害の予測, 第 49 回 日本核医学会九州地方会, 2014 年 02 月 08 日, 北九州市. (公開)
- 三輪 建太, 佐々木 雅之: 治療用放射性核種 ^{89}Sr ・ ^{90}Y の β 線および制動放射線に対する最適遮蔽材の検討, 第 9 回茨城県放射線腫瘍研究会, 2014 年 03 月 08 日, つくば市. (公開)
- 汐月 剣志, 石井 佳織, 峠 理沙, 寶部 真也, 松延 祐将, 藪内 英剛, 杜下 淳次: 空間周波数成分を利用した左右のマモグラムの類似度の定量評価, 日本放射線技術学会第 69 回総会学術大会, 2013 年 04 月 11 日, 横浜市. (公開)(座長推薦優秀研究発表賞)
- Takuro Shiiba, Masaji Maeda, Yasushi Kihara, Masayuki Sasaki, Junji Morishita: Usefulness of early phase washout rate of ^{123}I -MIBG for detecting abnormalities in cardiac sympathetic nervous system, Japanese Society of Radiological Technology (JSRT) the 69th Annual Scientific Congress, 2013 年 04 月 12 日, Yokohama. (公開)(座長推薦優秀研究発表賞)
- Yudai Yano, Junji Morishita, Noriyuki Hashimoto: Evaluation of color discrimination in liquid-crystal displays, Japanese Society of Radiological Technology (JSRT) the 41th Autumn Scientific Congress, 2013 年 10 月 17 日, Fukuoka. (公開)
- 安松 将吾, 田中 延和, 赤坂 勉, 杜下 淳次: International Electrotechnical Commission (IEC) が推奨する RQA5 と異なる線質での Exposure Index キャリブレーションの検討, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀. (公開)
- 岩瀬 賢祐, 矢野 雄大, 杜下 淳次: 背景輝度に対して明るい信号と暗い信号を液晶ディスプレイ上に表示させたときの観察者の応答, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀. (公開)
- 下稲 あかね, 齋藤 高志, 矢野 雄大, 杜下 淳次: 液晶ディスプレイの階調特性の違いが超音波画像のコントラストに与える影響, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀. (公開)
- 清水 陽一郎, 峠 理沙, 松延 祐将, 汐月 剣志, 杜下 淳次: 胸部単純 X 線画像における生体指紋の自動抽出法の開発, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀. (公開)
- 竹下利貴, 熊澤 誠志, 藪内 英剛: 脂肪抑制乳腺 MR 画像における乳腺後脂肪領域情報を用いた乳腺領域抽出手法の開発, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜. (公開)
- 西懸大介, 熊澤 誠志: ボクセル内のプロトンのブラウン運動を考慮した拡散強調 MR 画像シミュレータの開発, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜. (公開)
- 牛島大悟, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 大喜 雅文: 拡散強調画像シミュレータを用いた灰白質領域の ADC 値測定における幾何学的歪みの影響, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2013 年 04 月 14 日, パシフィコ横浜. (公開)
- 熊澤 誠志, 吉浦 敬, 本田 浩, 豊福 不可依: 共役勾配法を用いた頭部 EPI 画像における画像ベースのフィールドマップ推定, 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会, 2013 年 09 月 19 日, アスティとくしま. (公開)
- 牛島大悟, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 大喜 雅文: DWI における大脳皮質の ADC 値への磁場不均一の影響: MRI シミュレータを用いた検討, 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会, 2013 年 09 月 19 日, アスティとくしま. (公開)
- 西懸大介, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 豊福 不可依: 拡散強調画像におけるモンテカルロ法を用いた水分子の自己拡散シミュレーション, 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会, 2013 年 09 月 20 日, アスティとくしま. (公開)
- 竹下利貴, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 豊福 不可依: 脂肪抑制乳腺 MR 画像を対象とした乳腺領域抽出手法の開発, 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会, 2013 年 09 月 19 日, アスティとくしま. (公開)
- 牛島大悟, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 大喜 雅文: 頭部ポジショニングの違いが大脳皮質の ADC 値に与える影響: MRI シミュレータを用いた検討, 第 41 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2013 年 10 月 17 日, アクロス福岡. (公開)
- 若松恭平, 熊澤 誠志, 牛島大悟: 頭部 EPI におけるポジショニングの違いと磁化率アーチファクト, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)

- 中野里香, 熊澤 誠志, 西懸大介: モンテカルロ法に基づいた制限拡散 MR シミュレータの開発, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 赤坂 勉, 村上佳乃子, 上野敦史: 小児生殖腺被ばく線量の検証(2)両股関節撮影, 九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀市. (公開)
- 赤坂 勉, 上野敦史, 村上佳乃子: 小児生殖腺被ばく線量の検証(1)腹部撮影, 九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 24 日, 佐賀市. (公開)
- 井田智延, 田中善朗, 倉本卓, 吉田 豊: 撮影パラメータがトモシンセシス画像の画素値とコントラストに及ぼす影響, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 田中善朗, 井田智延, 倉本卓, 吉田 豊: トモシンセシス画像の断層厚が斜位像の歪みに及ぼす影響について, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 井上 俊也, 藪内 英剛, 小林 幸次, 松尾 芳雄, 神谷 武志, 小島 宰, 境 紀行, 本田 浩: 腫瘍非形成性乳癌の T 因子診断における拡散テンソル画像の有用性の検討, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 長友和也, 藪内英剛, 成田浩, 熊澤誠志, 小島宰, 境紀行, 栗原洋一, 真崎昌文, 木村寛: 肩関節 MRI のモーションアーチファクト軽減における Radial Acquisition Regime (RADAR) の有用性の検討, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 坂本眞理, 藪内英剛, 服部昭子, 松尾千尋, 岩切希代, 溝口範子, 山口沙希, 矢野佑季, 小島 宰, 境 紀行, 井上俊也, 長友和也, 本田 浩: デジタルマンモグラフィにおける微小石灰化の検出能と読影時間: 5MP と 8MP の LCD モニターの比較, 第 8 回九州放射線医療技術学術大会, 2013 年 11 月 23 日, 佐賀市文化会館. (公開)
- 小島宰, 藪内英剛, 小林幸次, 松尾芳雄, 大賀正浩, 武村濃, 境紀行, 神谷武志, 川波哲, 長尾充展, 佐々木雅之, 本田浩: 3D T2-Fast Field Echo 法を用いた耳下腺内顔面神経描出における 2-channel phased-array surface coil と 32-channel phased-array head coil の比較, 第 41 回日本磁気共鳴医学会大会, 2013 年 9 月 19 日, アスティ徳島. (公開)

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 平田 秀紀: (編集) 密封小線源治療診療・物理 QA マニュアル, 2013 年 09 月, 金原出版. (公開)
- 平田 秀紀: (共著) 図解 診療放射線技術実践ガイド, 2014 年 02 月, 文光堂. (公開)
- 藤淵 俊王: (編集) 新しい外部照射放射線治療技術による事故被ばくの予防 (ICRP Publication 112), 2013 年 08 月, 日本アイソトープ協会, 丸善出版. (公開)

b. 総説

- 平田 秀紀, 斉藤勉: 日常診療と放射線被曝(1)序説, 臨床放射線, 2013 年 04 月, . (公開)
- 平田 秀紀, 斉藤勉: 日常診療のための放射線被曝入門(2)放射線被曝についての物理・科学の知識, 臨床放射線, 2013 年 05 月, . (公開)
- 平田 秀紀, 斉藤 勉: 日常診療のための放射線被曝入門(6)放射線死と災害医療, 臨床放射線, 2013 年 09 月, . (公開)
- 平田 秀紀, 斉藤 勉: 日常診療のための放射線被曝入門(7)確定的影響, , 2013 年 10 月, . (公開)
- 平田 秀紀, 藤淵 俊王, 斉藤勉: 日常診療のための放射線被曝入門(8)画像診断領域における医療被曝と患者の放射線防護, 臨床放射線, 2013 年 12 月, . (公開)
- 平田 秀紀, 藤淵 俊王, 斉藤勉: 日常診療のための放射線被曝入門(9)放射線治療における影響, 臨床放射線, 2013 年 12 月, . (公開)
- 平田 秀紀: 密封・非密封小線源の物理・生物学的特徴を生かした臨床応用, JCR ニュース196号, 2014 年 03 月, . (公開)

- 藤淵 俊王, 平田 秀紀, 齋藤 勉: 日常診療のための放射線被曝入門(8)画像診断領域における医療被曝と患者の放射線防護, 臨床放射線 58(12): 1799-1809, 2013年11月, . (公開)
- 平田 秀紀, 藤淵 俊王, 齋藤 勉: 日常診療のための放射線被曝入門(9)放射線治療における影響, 臨床放射線 Vol.58 No.13, 1927-1937, 2013年12月, . (公開)
- 藤淵 俊王, 平田 秀紀, 齋藤 勉: 日常診療のための放射線被曝入門(11)放射線管理の法体系, 臨床放射線 Vol.59, No.2 356-366, 2014年02月, . (公開)

c. 解説, 書評など なし

受賞

- 佐々木, 「日本核医学会が発行する国際学会誌 Annals of Nuclear Medicine について、数多くの投稿論文の査読を行ったことに対する感謝状を受賞した。’, Annals of Nuclear Medicine 査読感謝状, 日本核医学会編集委員会, 2013年06月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下, 医療用液晶モニタの画像特性に関する研究, 株式会社ナナオ, 2006年05月~2014年03月, 非公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木, Society of Nuclear Medicine(Canada), 国際会議, 2013年06月~2013年06月(2週間未満), . (公開)
- 杜下, Mahidol University(Thailand), その他, 2013年08月~2013年08月(2週間未満), . (公開)
- 有村, 熊澤, 藤淵, 吉田, 高雄医学大学, 2014年03月(2週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 杜下, 学生支援委員会 学生生活修学相談員 . (公開)

2. 部局委員

- 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員. (公開)
- 佐々木, 九州大学病院サイクロロン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会 委員. (公開)
- 杜下, 病院地区学生感染対策委員会. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 佐々木, 医学研究院保健学部門 研究推進委員会 委員長. (公開)
- 佐々木, 医学研究院保健学部門 年報委員会 委員長. (公開)
- 杜下, 人事委員会 学生会 入試実施委員会 大学院委員会 放射線安全委員会. (公開)
- 熊澤, 再任審査委員会. (公開)

- 赤坂, 広報委員. (公開)
- 赤坂, 施設委員. (公開)
- 吉田, 教務委員. (公開)
- 吉田, 百人部会委員. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 平田, 福岡県立大学, 非常勤講師. (公開)
- 平田, 久留米大学認定看護師センター, 非常勤講師. (公開)
- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師. (公開)
- 佐々木, 県立広島大学生命システム科学, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 平田, 日本放射線腫瘍学会, 理事, 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, 理事, 国内
- 佐々木, 日本核医学会, PET 核医学委員会委員, 国内
- 佐々木, 日本核医学会, 専門医教育委員会委員, 国内
- 佐々木, 日本核医学会, PET 核医学委員会委員, 国内
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 評議員, 国内
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 用語委員会委員, 国内
- 佐々木, 日本医学放射線学会, 将来計画委員会委員, 国内
- 佐々木, 日本医学放射線学会九州地方会, 世話人, 国内
- 佐々木, 日本核医学会九州地方会, 世話人, 国内
- 杜下, 日本放射線技術学会, その他(第 69 回総会学術大会大会長, 大会開催委員会委員, 倫理審査委員会委員), 国内.
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会 第 69 回総会学術大会大会長, 大会開催委員会委員
- 杜下, 日本ラジオロジー協会, 理事, 国内.
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会, 理事
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会 国際化特別委員会委員長
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会 広報委員会委員長
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会 英語論文誌編集委員会担当理事
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会 倫理審査委員会委員
- 杜下, 日本医用画像情報学会 総務理事
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(放射線防護分科会), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(関係法令等検討小委員会), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(編集委員会), 国内.
- 藤淵, 放射線安全フォーラム, その他(企画委員会), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会雑誌, 編集委員, 国内.
- 吉田, 公益社団法人福岡県診療放射線技師会, その他(代議員), 国内.
- 吉田, 公益社団法人日本放射線技術学会, その他(診断領域線量標準センター九州地区担当者), 国内.

3. 官界

- 平田, 「台湾台北医学大学の視察受け入れ」, .

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 吉田, 「歯の健康(市民公開講座)」, 九州大学医学部保健学科. 九州大学医学部百年記念講堂, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

- 杜下, 「12/10, 診療放射線技師の役割と将来」, 明善高校. 講演・セミナー等.
- 藤淵, 「12/11 放射線に関する出前授業(日本原子力文化振興財団)」, 福岡県消防学校. 講演・セミナー等.
- 藤淵, 「1/29 放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」, 筑紫女学園中学校. 講演・セミナー等.

- 吉田,「2/17 放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」,宗像市立日の里中学校.講演・セミナー等.
- 吉田,「2/21 放射線に関する出前授業(文部科学省委託事業)」,佐賀市立大詫間小学校.講演・セミナー等.

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授 藤本 秀士
教授 栢森 裕三
准教授 水上 令子
講師 田代 洋行
講師 小島 夫美子
助教 井形 幸代

1. 教育活動

1. 大学院講義

アジアにおける保健学	藤本 前期
生体情報解析学 I (分担)	藤本 前期
病原情報解析学論	藤本 後期
生体情報解析学 I (分担)	栢森 後期
ヘルスサイエンス論 (分担)	栢森 前期
臨床化学分析学論	栢森 後期
分子生物化学検査学論	水上 後期
生体情報解析学 I (分担)	水上 前期
臨床化学分析学論 (分担)	水上 後期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究	栢森 通年
保健学特別研究	栢森 通年

3. 大学院演習

生体情報解析学	栢森 後期
臨床化学分析学論	栢森 後期

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

検査基礎技術 I (分担)	藤本 後期
臨床微生物学および実習	藤本 前期
病原体学 I	藤本 前期

コアゼミナール	藤本 前期
臨床微生物学特論	藤本 前期
環境保健学	藤本 前期
病原体学Ⅱ	藤本 前期
薬害	藤本 後期
精度管理特論	栢森 前期
医用分析装置学	栢森 前期
臨床化学	栢森 後期
遺伝子検査学 (分担)	水上 前期
コアゼミナール (分担)	水上 前期
医用工学・情報概論 (分担)	田代 前期
生体情報計測学 (分担)	田代 前期
医療安全管理学 (分担)	田代 後期
生理機能検査学総論Ⅱ (分担)	田代 前期
医用超音波工学 (分担)	田代 前期
医療情報処理演習 (分担)	田代 前期
生理機能検査学総論Ⅰ (分担)	田代 前期
呼吸機能検査学 (分担)	田代 前期
生理機能検査学特論 (分担)	田代 前期
画像検査学 (分担)	田代 前期
循環機能検査学 (分担)	田代 前期
神経・筋機能検査学 (分担)	田代 前期
国際感染症学	小島 前期
一般検査学および実習	小島 前期
国際感染症学および実習	小島 後期
臨床検査総論	小島 後期
人体の構造と機能Ⅰ (分担)	小島 通年
検査基礎技術Ⅱ (分担)	小島 前期
コアゼミナール(分担)	小島 前期

7. 学部の実験・実習・演習

検査基礎技術Ⅰ (分担)	藤本 後期
臨床微生物学および実習	藤本 前期
コアゼミナール (分担)	藤本 前期
遺伝子検査学実習 (分担)	栢森 後期
自然科学総合実験 (分担)	水上 後期

遺伝子検査学実習 (分担)	水上 後期
コアゼミナール (分担)	水上 前期
生理機能検査学実習(3年次) (分担)	田代 後期
医用工学・情報概論実験 (分担)	田代 前期
生体情報計測学実験 (分担)	田代 後期
医療情報処理演習 (分担)	田代 前期
超音波検査実習 (分担)	田代 後期
生理機能検査学実習(2年次) (分担)	田代 後期
一般検査学および実習	小島 前期
国際感染症学および実習	小島 後期
臨床検査総論実習	小島 前期
国際感染症学実習	小島 後期
臨床検査総論	小島 後期
検査基礎技術 I (分担)	小島 後期
検査基礎技術 II (分担)	小島 前期

8. 卒業論文作成者

- 1) 中島 彩乃 *Campylobacter jejuni*, *Campylobacter coli* の従来法と最新法による同定, 比較, 検討および非典型的な性状を示す *Campylobacter* と思われる菌株の解析 (指導教員 藤本)
- 2) 福田 博之 *gyrB* 遺伝子を用いた *Campylobacter* 属菌の分子生物学的解析方法の検討および非典型的な性状を示す *Campylobacter* と思われる菌株の解析 (指導教員 藤本)
- 3) 中本 忍 *Campylobacter fetus* の従来法と最新法による菌種鑑別の検討 (指導教員 藤本)
- 4) 徳永 実紗 MAMA-PCR 法による福岡地区における *Campylobacter* 腸炎分離菌株のキノロン耐性率の調査 (指導教員 藤本)
- 5) 大場 ちなみ Nitro-PAPS を用いた NADH の高感度・可視化の開発における基礎的検討 (指導教員 栢森)
- 6) 坂本 舞 前立腺癌における尿中の新しい腫瘍マーカー Sarcosine 測定法の基礎的検討 (指導教員 栢森)
- 7) 篠崎 陽春 ADP-AMP 酵素サイクリング法の開発 (指導教員 栢森)
- 8) 中尾 真実 WST 発色系による血漿エタノールアミンの高感度測定法の開発 (指導教員 栢森)
- 9) 鶴田志穂 食作用時のヒト好中球における Rab5 の局在 (指導教員 水上)
- 10) 濱田めいか 好中球食作用時における p47phox の PX ドメインの役割 (指導教員 水上)
- 11) 廣松のぞみ p40phox の PX ドメインと PI3P の結合の食作用時ヒト好中球における機能 (指導教員 水上)
- 12) 岡田 和太 ハイブリッド型人工視覚システムの基礎的検討 (指導教員 田代)
- 13) 宮内沙耶香 ホルマリン保存されたアニサキス虫体からの遺伝子同定法の検討 (指導教員 小島)
- 14) 富田花奈 RAPD 法によるアニサキス幼虫の虫体鑑別 (指導教員 小島)

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

栢森 保健学科新入生研修

永淵・勝田 2年生クラス担任

藤本・小島 1年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 感染症の遺伝子診断と分子疫学 藤本

2 病原細菌の感染機構の解明 藤本

3 バイオリスク管理教育の方法および教材の開発 藤本

4 生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用・測定法の標準化と検査データの共有化・精度管理 栢森

5 トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症 水上

6 食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構 水上

7 人工視覚システムの開発 田代

8 超音波検査室の適切照明に関する研究 田代

9 アニサキスに関する研究 小島

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

1)「基盤研究(C)」カンピロバクター腸炎の実態解明(臨床情報・菌株情報の連結による調査研究), 藤本(代表), 600 千円.

3. 学内研究経費の受入れ

1)「九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)」国際化と学祭化に対応する教育・教材の開発, 藤本(分担), 0 千円.

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

1)「厚生労働科学研究費補助金 国際的なバイオリスク管理の基準に基づく病原体取扱いと管理のモデル総合システムの構築と検証に関する研究」藤本(分担), 19932 千円(代表者一括計上).

2)「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 -in vivo 動物実験による生体安全性の追求」田代, 3996 千円.

3)「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 内容 STS 方式人工視覚システムの安全性と耐久性の検

証及び、次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究。」田代， 3996 千円。

4)「長崎大学熱帯医学研究所 ケニアにおける住血吸虫症の水系伝播リスクのアセスメント法の開発と実践」小島， 800 千円。

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 1) Takashi Miida, Kunihiro Nishimura, Tomonori Okamura, Hirotohi Ohmura, Hiroshi Yoshida, Yoh Miyashita, Masumi Ai, Akira Tanaka, Masami Murakami, Ikuo Inoue, Yuzo Kayamori, Masakazu Nakamura, Tsutomu Nobori, Yukihisa Miyazawa, Tamio Teramoto, Shinji Yokoyama: Validation of homogeneous assays for HDL-cholesterol using fresh samples from healthy and diseased subjects, *Atherosclerosis*, , 2014 年 03 月. (査読あり)
- 2) Masakazu Nakamura, Yuzo Kayamori, Hiroyasu Iso, Akihiko Kitamura, Masahiko Kiyama, Isao Koyama, Kunihiro Nishimura, Michikazu Nakai, Mahnaz Dasti, Hubert W. Vesper, Yoshihiro Miyamoto: LDL cholesterol performance of beta quantification reference measurement procedure, *Clinica Chimica Acta*, , 2014 年 02 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 1) Shigematsu Mika, Fujimoto Shuji, Fumiko Kojima: Biorisk Management Initiation Training for Graduate and Undergraduate Medical and Co-medical Students, 56th Annual Biological Safety Conference, 2013 年 10 月 23 日, United States of America.
- 2) 藤本 秀士, 小島 夫美子, 重松 美加: カンピロバクター食中毒原因菌株の分子生物学的解析, 第 87 回日本感染症学会学術講演会・第 61 回日本化学療法学会総会 合同学会, 2013 年 06 月 05 日, Japan.
- 3) Fujimoto Shuji, Fumiko Kojima, Shigematsu Mika: Molecular epidemiological analysis on *Campylobacter* isolates associated with food poisoning, 28th International Congress of Chemotherapy and Infection, 2013 年 06 月 07 日, Japan.
- 4) Fumiko Kojima, Fujimoto Shuji: Evaluation of *Anisakis simplex* larvae's penetrability using agar method, 28th International Congress of Chemotherapy and Infection, 2013 年 06 月 07 日, Japan.
- 5) Noda Tamie, Murakami K, Etoh Y, Yatsuyanagi J, Horikawa T, Asai T, Fujimoto Shuji: Increase in Resistance to Broad-Spectrum Cephalosporins in *Salmonella enterica* Isolated from Retail Chicken Meat, 28th International Congress of Chemotherapy and Infection, 2013 年

06月07日, Japan.

- 6) Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Kouji Osawa, Motoki Ozawa: In vivo chronological observation of electrochemical properties of porous electrodes with chronic suprachoroidal-transretinal stimulation, The Association for Research in Vision and Ophthalmology(ARVO) 2013 Annual Meeting, 2013年05月05日, United States of America.
- 7) Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Kouji Oosawa, Yukari Nakano, Motoki Ozawa: Safety Assessment of Semichronic Suprachoroidal Electrical Stimulation to Rabbit Retina, The 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'13), 2013年07月05日, Japan.
- 8) Yasuo Terasawa, Kouji Osawa, Hiroyuki Tashiro, Toshihiko Noda, Jun Ohta, Takashi Fujikado: Engineering Aspects of Retinal Prosthesis by Suprachoroidal Transretinal Stimulation, IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC 2013) Workshop on 2013 International Neurotechnology Consortium Workshop, 2013年07月03日, Japan.
- 9) 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 大澤 孝治, 小澤 素生: 家兔網膜への1ヶ月間慢性通電による安全性評価, 第51回日本人工臓器学会大会, 5th Congress of the International Federation for Artificial Organs(IFA02013), 2013年09月27日, Japan.
- 10) 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: Molecular epidemiological analysis on Campylobacter isolates associated with food poisoning, 28th International Congress of Chemotherapy and Infection, 2013年06月07日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 1) 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: 国際的なバイオリスク管理基準に基づく病原体取扱いと管理のモデル総合システムの構築と検証に関する研究 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2014年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 1) 小島 夫美子, 藤本 秀士: Anisakis simplex 幼虫の寒天侵入性の検討, 第87回日本感染症学会学術講演会・第61回日本化学療法学会総会 合同学会, 2013年06月05日, パシフィコ横浜.
- 2) 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 検査系大学でのバイオリスク管理教育の実践と学習効果, 第8回臨床検査学教育学会, 2013年08月27日, 大阪大学コンベンションセンター.
- 3) 小島 夫美子, 藤本 秀士: 寄生虫学実習における電子版虫卵アトラスの教育的効果, 第

- 8 回臨床検査学教育学会, 2013 年 08 月 28 日, 大阪大学コンベンションセンター.
- 4) 外園 栄作, 栢森 裕三, 久保田 亮, 芝 紀代子: 臨地実習実施前後における学生の教育効果と精神的ストレスについての検討, 第 24 回生物試料分析科学会, 2014 年 03 月 02 日, 三重県鈴鹿市.
- 5) 小島 夫美子, 藤本 秀士: Anisakis simplex 幼虫の寒天侵入性の検討, 第 87 回日本感染症学会学術講演会・第 61 回日本化学療法学会総会 合同学会, 2013 年 06 月 05 日, 横浜.
- 6) 藤本 秀士, 小島 夫美子, 重松美加: カンピロバクター食中毒原因菌株の分子生物学的解析, 第 87 回日本感染症学会学術講演会・第 61 回日本化学療法学会総会 合同学会, 2013 年 06 月 05 日, 横浜.
- 7) 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: 検査系大学でのバイオリスク管理教育の実践と学習効果, 第 5 回臨床検査学教育学会, 2013 年 08 月 27 日, 大阪大学.
- 8) 小島 夫美子, 藤本 秀士: 寄生虫学実習における電子版虫卵アトラスの教育的効果, 第 5 回臨床検査学教育学会, 2013 年 08 月 28 日, 大阪大学.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 1) 藤本 秀士: (単著) 細菌感染症 グラム陰性らせん菌感染症:カンピロバクター感染症, 2013 年 07 月, 日本臨床社.
- 2) 藤本 秀士: (共著) 戸田新細菌学 第 34 版, 2013 年 08 月, 南山堂.
- 3) 藤本 秀士: (共著) 内科学書 改訂第 8 版, 2013 年 10 月, 中山書店.
- 4) 栢森 裕三: (共著) メディカルサイエンス 臨床化学検査学 病態生化学の視点から, IV 人体の臨床化学検査の実際 - 生体分子の分析各論 - 7. 電解質と微量元素 1-7; 大田敏子, 川上康, 下村弘治, 寺平良治, 三村邦弘(編)(分担執筆), 2014 年 01 月, 近代出版(東京).
- 5) 小島夫美子(共著) 寄生虫学研究:材料と方法 2013 年版, 2013 年 12 月, 三恵社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など なし

8. 受賞

- 1) 小島, 「<糞便内蠕虫卵の簡易診断法の開発>」に対して第 19 回宮崎一郎奨励賞を受賞, 宮崎一郎奨励賞, 九州大学医学部寄生虫学講座同門会, 2013 年 12 月.

9. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 1) 田代, 人工視覚システムの開発 -in vivo 動物実験による生体安全性の追求, (株)ニデック, 2013年03月~2014年02月.
- 2) 田代, 人工視覚システムの開発 内容 STS方式人工視覚システムの安全性と耐久性の検証及び、次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究, (株)ニデック, 2014年03月~2015年02月.
- 3) 小島, ケニアにおける住血吸虫症の水系伝播リスクのアセスメント法の開発と実践, 長崎大学熱帯医学研究所, 2013年04月~2014年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 1) 藤本, American Biosafety Association Preconference & Conference (United States of America), 国際会議, 2013年10月~2013年10月.
- 2) 栢森, 高雄医学大学保健学科(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2014年03月~2014年03月(公開)
水上、高雄医学大学保健学科(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2014年03月~2014年03月.
- 3) 小島, ケニア 長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点および ICIPE (Kenya), 大学・研究所訪問, 2013年07月~2013年08月.

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし
- c. 留学生の受入れ なし
- d. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 1) 藤本, 学生支援センター 企画運営委員.
- 2) 藤本, 研究用微生物安全管理委員.
- 3) 藤本, 医療系統合教育研究副センター長.

2. 部局委員

- 1) 栢森, 九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員.

3. 部門・コース内委員

- 1) 藤本 地域国際連携推・FD委員
- 2) 藤本 学生委員会委員
- 3) 栢森, 大学院委員会委員長.
- 4) 栢森, 財務委員会委員.
- 5) 栢森, 入試実施委員会委員.
- 6) 水上, 教務委員会委員
- 7) 小島, 地域国際連携・FD 委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 1) 藤本, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 2) 栢森, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 3) 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 1) 藤本 日本感染症学会 評議員 国内
- 2) 藤本 日本細菌学会 評議員 国内
- 3) 藤本 日本臨床検査学教育学会 評議員 国内
- 4) 栢森, 生物試料分析科学会の編集委員長として、学会誌「生物試料分析」の編集に携わっている。
生物試料分析科学会, 学術団体.
- 5) 栢森, 日本臨床化学会の集会・広報委員会(常置委員会)委員長として、学会の年次学術集会の企画推進、学会情報の広報(ホームページ等)の充実を図っている。日本臨床化学会,
学術団体.
- 6) 栢森, 日本臨床検査自動化学会, 評議員, 国内.
- 7) 栢森, 日本臨床検査医学会, 評議員, 国内.
- 8) 栢森, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 9) 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.

- 10) 栢森, 生物試料分析科学会, その他(九州支部長), 国内.
- 11) 栢森, 日本臨床化学会, 理事(常務理事), 国内.
- 12) 栢森, 日本臨床検査自動化学会, その他(監事), 国内.
- 13) 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 14) 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 15) 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 1) 藤本, コンサルタント(株)日立ハイテクノロジーズ 研究開発本部
- 2) 栢森, 福岡県医師会精度管理委員会委員並びに九州臨床検査精度管理研究会生化学部門副委員長
- 3) 小島, 大学内保育園における評議委員

5. 公開講座・公開講演会

- 1) 小島, 「福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査勉強会の講師として講演 テーマ: 検査室で遭遇する寄生虫～現状と検出法～」

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授 梅村 創
教授 永淵 正法
教授 杉島 節夫
講師 勝田 仁
講師 大石 善丈
講師 外園 栄作
助教 栗崎 宏憲
助教 渡邊 壽美子

1. 教育活動

1.大学院講義

ヘルスサイエンス論(分担)	梅村 前期
血液機能検査学論	梅村 前期
保健学研究論 (分担)	永淵 前期
免疫機能検査学論	永淵 後期
病理細胞検査学論	杉島 後期
国際社会とチーム医療論	杉島 後期
代謝内分泌病態検査学論 (分担)	勝田 後期

2.大学院実験・実習 なし

3.大学院演習

免疫機能検査学論	永淵 後期
病態情報病理細胞検査学論	杉島 後期

4.大学院修士課程修了者

- 1) 榎本 麻里 microRNA による赤芽球系造血調節機構 (指導教員 梅村)
- 2) 黒木 千恵理 血漿 miRNA 測定法の標準化の基礎的検討(指導教員 梅村)
- 3) 戸塚 由希 赤芽球系分化過程での microRNA によるオートファジー制御機構の解析(指導教員 梅村)
- 4) 田島 将太郎 miRNA を介した赤血球と骨髄間質細胞の相互作用に関する研究(指導教員 梅村)
- 5) 三根 敬一郎 実験的ウイルス誘発糖尿病における Tyrosine Kinase 2 (Tyk2) 遺伝子変異の意義(指導教員 永淵)

- 6) 森田 賢史 NF- κ B 経路によるヒト樹状細胞における AIRE の発現および機能的成熟の制御(指導教員 永淵)
- 7) 平尾 真依 膝 β 幹/前駆細胞の同定(指導教員 永淵)
- 8) 林田 涼 膝液細胞診における Intraductal papillary mucinous neoplasms の細胞形態学的検討(指導教員 杉島)
- 9) 湯田 翔子 軟骨肉腫と内軟骨腫の細胞像の比較検討(指導教員 杉島)
- 10) 川原 有貴 Triple Negative 乳癌における細胞学的検討(指導教員 杉島)
- 11) 下代 清香 子宮頸部扁平上皮病変における HPV (Human papillomavirus)感染と細胞像の関連性(指導教員 杉島)

5.大学院博士課程修了者

- 1) 渋田 樹 Imatinib induces demethylation of miR-203 gene: An epigenetic mechanism of anti-tumor effect of imatinib(指導教員 梅村)
- 2) 松尾 友仁 Regulation of human autoimmune regulator (AIRE) gene translation by miR-220b (指導教員 永淵)

6.学部講義

医学総論 I (分担)	梅村 前期
医学総論 II (分担)	梅村 前期
血液検査学 I	梅村 前期
血液検査学 II	梅村 後期
輸血検査学(分担)	梅村 前期
検査基礎技術 I (分担)	梅村 前期
臨床免疫学 II (分担)	永淵 後期
生体防御学 (分担)	永淵 前期
臨床病理学総論 (分担)	永淵 前期
臨床免疫学 I (分担)	永淵 前期
臨床病理学特論 (分担)	永淵 前期
免疫細胞解析学 (分担)	永淵 後期
医学総論 (分担)	永淵 前期
細胞生物学 (全学教育・分担)	杉島 前期
遺伝子検査学 (分担)	勝田 前期
コアセミナー(臨床検査概論) (分担)	勝田 前期
医学総論 II (分担)	勝田 前期
検査情報管理学演習	勝田 後期

臨床検査統計学および演習	勝田 前期
生化学	勝田 前期
公衆衛生学	外園 前期
医療法律検査学特論	外園 後期

7.学部の実験・実習・演習

血液検査学実習 (分担)	梅村 後期
遺伝子検査学実習 (分担)	梅村 後期
臨床免疫学実習 (分担)	永淵 後期
病理組織細胞学実習 II	杉島 前期
生理機能検査学実習 (分担)	勝田 後期
検査基礎技術 I (分担)	勝田 後期
検査基礎技術 II (分担)	勝田 後期
検査情報管理学演習	勝田 後期
公衆衛生学実習	外園 前期
検査基礎技術 I	外園 前期
臨床微生物学および実習	栗崎 前期
臨床免疫学実習	栗崎 後期
遺伝子検査学実習	栗崎 後期
国際感染症学および実習	栗崎 後期
病理組織細胞学実習 II	渡邊 前期
血液検査学実習	渡邊 後期
組織・病理検査学および実習 I	渡邊 後期

8.卒業論文作成者

1) 縄田 恵里香	低酸素により誘導されるオートファジー関連 microRNA の解析	(梅村)
2) 上田 沙央理	脾臓摘出による血漿 miRNA 値変化の解析	(梅村)
3) 平島 楓	低酸素における造血細胞内 microRNA 発現プロファイルの解	
	(梅村)	
4) 小林 唯希	血漿 microRNA 測定 of 標準化に関する基礎的検討	(梅村)
5) 立石 ユミ	ウイルス糖尿病におけるストレプトゾシン (STZ) 前処理の影響	(永淵)
6) 矢野 莉菜	TYK2 プロモーター変異とアレルギーの関連	(永淵)
7) 藤井 亜希子	ホジキンリンパ腫の細胞象の検討	(杉島)
8) 田島 沙織	乳腺の良性・悪性腫瘍における筋上皮細胞の特徴の比較検討	(杉島)
9) 亀井 美沙	乳腺細胞診におけるセンチネルリンパ節転移の有無と細胞像の比較検討	(杉島)
10) 竹平 祥訓	子宮体部漿液性腺癌と類内膜腺癌 Grade3 における IPM3 発現の比較	(杉島)

11)北村 捷	子宮体部明細胞腺癌における HNF-1 β 免疫染色の診断的有用性の検討 (杉島)	
12)加藤 匡平	細胞診における細気管支肺胞上皮癌と高分化型腺癌の鑑別	(杉島)
13)栗毛野 紗樹	膵島形成における膵島とその周囲の微小環境について	(杉島)
14)坂井 綾香	In vitro におけるマウス胎児膵の膵島形成に伴う経時変化	(勝田)
15)加來 祐太	血漿ホスファチジルエタノールアミン測定法の開発	(外園)
16)壇上 瞳	血漿・血清 Phospholipase D(PLD)活性測定法の基礎的検討	(外園)
17)軍場 麻紀	二核細胞の検討 II～出現機序および細胞周期との関連性について～	(渡邊)
18)舛田 涼	組み換え hPDIA2 タンパク質の精製	(栗崎)

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

梅村・栗崎	4年生クラス担任
杉島・外園	3年生クラス担任
永淵・勝田	2年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1) 疾患バイオマーカーとしての血漿 microRNA 解析	梅村
2) 造血機能解析に関わる血液検査学の開発	梅村
3) 白血病化の分子機構に関する研究	梅村
4) ウイルス誘発糖尿病	永淵
5) AIRE 遺伝子の発現調節と機能	永淵
6) 1 型糖尿病感受性遺伝子研究	永淵
7) 臨床細胞診断学	杉島
8) 膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
9) 卵巣癌の臨床病理学的研究	大石
10) 生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
11) 生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
12) 自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
13) 癌細胞における細胞形態学	渡邊
14) 細胞形態の客観的評価のためのソフト開発	渡邊

2.文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 1)「挑戦的萌芽研究」AIRE 研究を基盤とした新たな自己抗原(DI)に対する自己抗体の臨床的意義，永淵(代表)，1400 千円.
- 2)「基盤研究(C)」膵SP細胞を用いた膵β細胞再生法の開発，勝田(代表)，800 千円.
- 3)「基盤研究(C)」膵SP細胞を用いた膵β細胞再生法の開発，勝田(代表)，1500 千円.
- 4)「若手研究(B)」自己免疫性膵炎・胃炎における新しい疾患マーカー自己抗体の探索同定と検査法の開発，栗崎(代表)，1700 千円.
- 5)「基盤研究(C)」子宮頸部扁平上皮癌およびLSIL・HSIL・ASCの核クロマチン分布の定量的解析，渡邊(分担)，0 千円.
- 6)「基盤研究(C)」核クロマチン分布解析を用いたBCG膀胱注入療法における治療効果評価法の確立，渡邊(代表)，1600 千円.

3.学内研究経費の受け入れ なし

4.奨学寄付金の受入れ

- 1)「ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」関東化学株式会社，外園，500 千円.

5.その他の外部資金の受入れ

- 1)「診断用とチップの開発」三菱レイヨン株式会社、梅村、1500 千円.

6.受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

7.研究成果の報告

a.学会誌・学術専門誌

- 1) Tatsuki Shibuta, Emi Honda, Hiromichi Shiotsu, Yuka Tanaka, Shalini Vellasamy, Motoaki Shiratsuchi, Tsukuru Umemura: Imatinib induces demethylation of miR-203 gene: An epigenetic mechanism of anti-tumor effect of imatinib. *Leukemia Research*. 37, 2013年08月. (査読あり)
- 2) Tomohito Matsuo, Yukiko Noguchi, Mieko Shindo, Yoshifumi Morita, Yoshie Oda, Eiko Yoshida, Hiroko Hamada, Mine Harada, Yuichi Shiokawa, Takahiro Nishida, Ryuji Tominaga, Yoshikane Kikushige, Koichi Akashi, Jun Kudoh, Nobuyoshi Shimizu, Yuka Tanaka, Tsukuru Umemura, Taketoshi Taniguchi, Akihiko Yoshimura, Takashi Kobayashi, Masao Mitsuyama, Hironori Kurisaki, Hitoshi Katsuta, Seiho Nagafuchi: Regulation of human autoimmune regulator (AIRE) gene translation by miR-220b, *Gene*, 2013年08月. (査読あり)

- 3) Orawan Sarakul, Phantip Vattanaviboon, Yuka Tanaka, Suthat Fucharoen, Yasunobu Abe, Saovaras Svasti, Tsukuru Umemura: Enhanced erythroid cell differentiation in hypoxic condition is in part contributed by miR-210, 2013年08月. (査読あり)
- 4) Hironori Kurisaki, Seiho Nagafuchi, Yukihiko Nagao, Masao Mitsuyama: Autoimmune gastro-pancreatitis with anti-protein disulfide isomerase-associated 2 autoantibody in Aire-deficient BALB/cAnN mice. PLoS One, 2013年09月. (査読あり)
- 6) 仲 正喜, 大久保文彦, 野上美和子, 寺戸宣芳, 杉島節夫:呼吸器領域におけるヘマカラー染色を用いた迅速細胞診, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 2013年07月. (査読あり)
- 7) Akiyo Yumura, Eisaku Hokazono, Katsuyoshi Ikeda, Konen Obayashi, Yukio Ando, Susumu Osawa: Development of the enzymatic assay for whole blood choline using an automated biochemical analyzer, Int J Anal Bio-Sci, Vol. 2, No 1 23-32, 2014年01月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 1) Tatsuki Shibuta, Tsukuru Umemura, Emi Honda, Hiromichi Shiotsu, Yuka Tanaka, Shalini Vellasamy, Motoaki Shiratsuchi. An Epigenetic Mechanism Of Imatinib Via Demethylation Of MiR-203. 55th Annual Meeting of American Society of Hematology, 2013年、12月09日、ニューオーリンズ、米国
- 2) Susumu Osawa, Sachiko Kiuchi, Yoshiko Kudo, Eisaku Hokazono: Development of the enzymatic method for maltose permeability test of gastric mucosa using oral glucose tolerance samples, 13th Asia-Pacific Federation for Clinical Biochemistry and Laboratory Medicine Congress, 2013年10月28日, Indonesia.
- 3) Morita Y, Oda Y, Matsuo T, Kurisaki H, Katsuta H, Nagafuchi S. The role of TNF α pathway and microRNA in regulating autoimmune regulator gene expression and translation. Immunology 2013, The 100th Annual Meeting of the American Association of Immunologist (AAI). (Oral presentation) Honolulu, Hawaii, U.S.A. 2013年5月4日
- 4) Mine K, Teshima M, Kai Y, Kai K, Izumi K, Kurisaki H, Katsuta H, Nagafuchi S, The significance of tyrosine kinase 2 gene in encephalomyocarditis-D virus-induced diabetes as studied in tyk2 gene knockout mice, Honolulu, Hawaii, U.S.A. 2013年5月6日
- 5) Morita Y, Matsuo T, Oda Y, Noguchi Y, Kurisaki H, Katsuta H, Nagafuchi S. Regulatory mechanisms of autoimmune regulator (AIRE) gene and protein expression in central and peripheral immune system. 73rd Annual Meeting of the American Association of Diabetes (ADA), (Poster presentation) Chicago, U.S.A. 2013年6月21日
- 6) Mine K, Teshima M, Kai Y, Kai K, Izumi K, Kurisaki H, Katsuta H, Nagafuchi S. Encephalomyocarditis (EMC)-D virus-induced diabetes in Tyk2 gene knockout mice. 3rd Annual Meeting of the American Association of Diabetes (ADA), (Audio Tour Poster

presentation) Chicago, U.S.A. 2013 年 6 月 23 日

7) 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 大喜 雅文, 田宮 貞史, 杉島 節夫, 村田節子, 大石 善丈, 横山正俊, 柏村正道, 柏村賀子, 岩坂剛: Correlation between nuclear chromatin pattern and cell cycle, 18th International Congress Of Cytology, 2013 年 05 月 27 日, France.

c.大学・研究機関などの刊行誌 なし

d.調査研究報告

外園 栄作: 2012 年度 茂手木研究助成金 研究成果報告, THE MEDICAL & TEST JOURNAL (株式会社 じほう). 2013 年 09 月.

e.国内学会での講演, 発表

- 1) 川原有貴, 大石 善丈, 杉島 節夫, 渡邊 壽美子, 永 えり子, 小田 義直, 大久保文彦, 山元英崇: TNBC における細胞学的特徴の検討, 第 54 回日本臨床細胞学会総会, 2013 年 06 月 01 日, 高輪プリンスホテル(東京都).
- 2) 下代清香, 渡邊 壽美子, 大石 善丈, 大喜 雅文, 加来 恒壽, 桑岡勲, 大屋正文, 江口冬樹, 杉島 節夫: 子宮頸部細胞診における HPV 感染と子宮頸部扁平上皮病変の細胞像の関連性, 第 54 回日本臨床細胞学会総会, 2013 年 06 月 01 日, 高輪プリンスホテル(東京都).
- 3) 林田涼, 大久保文彦, 大石 善丈, 渡邊 壽美子, 田中 雅夫, 小田 義直, 杉島 節夫: 膵液細胞診標本における IPMNs の細胞学的検討, 第 54 回日本臨床細胞学会総会, 2013 年 06 月 01 日, 高輪プリンスホテル(東京都).
- 4) 湯田翔子, 大石 善丈, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 山元 英崇, 小田 義直, 岩本 幸英, 杉島 節夫: 内軟骨腫と軟骨肉腫の細胞診標本における有用な鑑別点の検討, 第 54 回日本臨床細胞学会総会, 2013 年 06 月 01 日, 高輪プリンスホテル(東京都).
- 5) 仲 正喜, 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 大石 善丈, 田宮貞史, 大久保文彦, 小田 義直, 山元 英崇, 岩本 幸英, 杉島 節夫: 培養細胞を用いた pair cells 生成に関する検討, 第 54 回日本臨床細胞学会総会, 2013 年 06 月 01 日, 高輪プリンスホテル(東京都).
- 6) 湯田翔子, 大石 善丈, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 山元 英崇, 小田 義直, 岩本 幸英, 杉島 節夫: 軟骨肉腫と内軟骨腫における細胞像の比較検討, 第 29 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2013 年 07 月 28 日, 九州大学(福岡市).
- 7) 野上美和子, 大久保文彦, 大石 善丈, 仲正喜, 中附加奈子, 寺戸芳信, 杉島 節夫, 小田 義直: LIQUID BLOCKER(コスモバイオ社)を用いた尿細胞診検体処理の評価, 第 29 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2013 年 07 月 27 日, 九州大学(福岡市).
- 8) 溝口 義浩, 津波 勇二, 藤永 雄介, 外園 栄作: 『蛋白陰性尿中における硝子円柱出現様式と尿中 Tamm-horsfall ムコ蛋白 (THP) 量の関連性および慢性腎臓病(CKD), 心血管疾

- 患(CVD)における早期マーカーとしての尿中 THP 測定法の有用性の検討』～第1報～，
福岡県医学検査学会，2013年06月30日，福岡。
- 9) 外園 栄作，太田 英里，木内 幸子，大澤 進，栢森 裕三：金属錯体法を用いた新しい微量高感度総蛋白測定試薬の開発，日本臨床検査自動化学会，2013年10月11日，横浜。
- 10) 外園 栄作，栢森 裕三，久保田 亮，芝 紀代子：臨地実習実施前後における学生の教育効果と精神的ストレスについての検討，生物試料分析科学会，2014年03月02日，三重県 鈴鹿 11) 三根 敬一郎，手嶋 美穂，和泉 賢一，栗崎 宏憲，勝田 仁，永淵 正法：Tyk2 遺伝子 KO マウスにおける実験的ウイルス誘発糖尿病の発症制御，第87回日本感染症学会学術講演会，2013年06月06日，パシフィコ横浜。
- 12) 森田 賢史，栗崎 宏憲，勝田 仁，永淵 正法：ヒト胸腺および末梢血における AIRE 遺伝子・蛋白の発現とその制御メカニズム，第54回日本臨床ウイルス学会，2013年06月09日，倉敷市芸文館。
- 13) 戸塚 由希，榎本 麻里，田島 将太郎，澁田 樹，梅村 創。赤芽球系分化における microRNA によるオートファジー制御の解析。第8回臨床検査教育学学会、2013年8月、大阪
- 14) 黒木千恵理、田島将太郎、榎本麻里、梅村創。プリザベーションプレートを用いた血漿 miRNA 解析法の検討。第60回日本臨床検査医学会、2013年、10月、神戸
- 15) 田島 将太郎、山川 ちひろ、榎本 麻里、黒木 千恵理、澁田 樹、梅村 創。βサラセミア/HbE の新規バイオマーカーとしての血漿 miR-320a。第60回日本臨床検査医学会、2013年、10月、神戸
- 16) 梅村 創。シンポジウム：赤血球が運ぶ遺伝子：microRNA-451- 造血バイオマーカーと]としての応用 - 第30回日本 TDM 学会総会、2013年、5月、熊本!

f.学会以外での講演, 発表 なし

著作

a.単行本

- 1) 梅村 創，岩谷 良則，相良 淳二，星 治，三木 明德，二宮 治明，佐藤 健次，野島 順三，石津 明洋，横山 知行，川部 勤，中泉 明彦，堀尾 勝，高桑 徹也：(共著) 標準臨床検査学「基礎医学：人体の構造と機能」，2013年10月，医学書院。
- 2) Seiho Nagafuchi, Hitoshi KATSUTA, Hironori Kurisaki: In Diabetes and Viruses, 2013年04月，Springer Science Pub.

b.総説

- 1) 梅村 創：血漿 microRNA 解析の臨床的展開，SRL 宝函，2014年03月。

c.解説, 書評など なし

d.受賞 なし

e.報道 なし

4. 産学連携活動

1.共同研究

- 1) 梅村、「アジア諸国における貧血診断ネットワーク構築を目指す研究」、株式会社堀場製作所、2012年04月～.
- 2) 梅村、「診断用とチップの開発」三菱レイヨン株式会社、2013年04月～.
- 3) 外園、エタノールアミンの酵素的測定法の確立、旭化成ファーマ株式会社、2006年04月～.
- 4) 外園、遊離コリンの酵素的測定法の確立、旭化成ファーマ株式会社、2006年04月～.

2.受託研究 なし

3. 取得特許

- 1) 高感度でかつ各種蛋白間における反応性に差が少ない高感度微量総蛋白測定法の開発、外園 栄作
太田 英里, 大澤.

4.兼業

5.特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1.海外出張・研修出張

杉島、台湾高雄医学大学訪問

栢森、台湾高雄医学大学訪問

勝田、国際化拠点整備事業(グローバル30)プログラムによる留学生リクルートを目的とした

シンガポール派遣

渡邊、"Correlation between nuclear chromatin pattern and cell cycle." 第18回国際細胞学会

(18th INTERNATIONAL CONGRESS OF CYTOLOGY, 26-30 MAY 2013 PALAIS DES CONGRES,

PARIS, FRANCE) 平成25年5月26～30日

2.外国人研究者の受入れ

a.訪問教授・研究員 なし

b.訪問研究者

- 1) Dr. Supat Chamnanchanunt、タイ国マヒドン大学熱帯医学部講師、「マラリア感染症における microRNA 解析」、武田科学推進財団、2013 年 10 月～2014 年 04 月、受入教員:梅村.

3.留学生の受入れ なし

4.学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1.全学委員

- 1) 杉島, 入試実施委員会委員
- 2) 外園, 環境安全センター委員会委員
- 3) 外園, 環境安全管理委員

2.部局委員

- 1)梅村、医学研究院保健学部門副部門長

3.部門・コース内委員

- 1) 杉島, 保健学部門入試実施委員会委員長
- 2) 杉島, 保健学部門教務委員会副委員長
- 3) 勝田, 検査技術科学分野・書記
- 4) 勝田, 保健学科 10 周年記念事業実行委員会・委員
- 5) 勝田, 大学院 医学系学府 保健学専攻 入学試験委員
- 6) 勝田, 卒業研究委員
- 7) 外園, 年報委員
- 8) 外園, 施設・環境委員

7. 学外での活動

1.他大学の非常勤講師

- 1) 外園, 博多学園高等学校, 非常勤講師
- 2) 栗崎, 純真学園大学保健医療学部看護学科, 非常勤講師
- 3) 栗崎, 福岡県私設病院協会専門学校 看護専門課程 看護科, 非常勤講師
- 4) 渡邊, 純真学園大学, 非常勤講師
- 5) 渡邊, 福岡県立大学, 非常勤講師

2.学協会

- 1) 梅村、日本血液学会代議員、国内
- 2) 梅村、福岡医学雑誌編集委員、国内
- 3) 永淵、 常任幹事、編集委員として、学会の運営全般、学会の学術出版活動に寄与した、
日本臨床ウイルス学会、 学術団体.
- 4) 永淵、 日本臨床ウイルス学会、 幹事（常任幹事）、 国内.
- 5) 永淵、 日本感染症学会西日本地方会、 理事（監事）、 国内.
- 6) 杉島、 日本臨床検査学教育協議会 理事、 国内
- 7) 杉島、 日本臨床検査学教育協議会 評議員、 国内
- 8) 杉島、 日本臨床細胞学会福岡県支部、 副会長、 国内.
- 9) 杉島、 日本臨床細胞学会九州連合会編集委員会 委員、 国内.
- 11) 勝田、 日本臨床検査学教育学会、 評議員、 国内.
- 12) 外園、 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験委員として緊急臨床検査士試験に
参加、日本臨床検査同学院、 学術団体.
- 13) 外園、 生物試料分析科学会、 評議員、 国内.
- 14) 外園、 日本臨床検査自動化学会、 運営委員、 国内.
- 15) 渡邊、 日本臨床細胞学会福岡県支部、 理事（会計）、 国内.
- 16) 渡邊、 日本臨床細胞学会九州連合会、 その他（編集委員）、 国内.

3.官界 なし

4.産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5.公開講座・公開講演会 なし

6.初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

平成25年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 加来 恒壽 大池美也子 中尾 久子 川本利恵子 <small>平成25年5月31日退職</small>	木下 義晶 原田 博子 橋口 暢子 濱田 裕子	丸山マサ美 宮園 真美 中島 充代 <small>平成25年4月 1日昇任</small>	道面千恵子 木下由美子 金岡 麻希 富岡 明子 梶原 弘平 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき 孫田 千恵 <small>平成26年3月31日退職</small>	※有期教員 H23. 5. 1-H26. 4. 30 (富岡助教の休業支援教員) ※有期教員 H23. 5. 1-H26. 4. 30 (金岡助教の休業支援教員)
広域生涯看護学	鳩野 洋子 小野 ミツ 谷口 初美	新小田春美 <small>平成26年3月31日退職</small>	寺岡 佐和 前野有佳里 野口ゆかり	木村 一絵 重松由佳子 仲道 由紀 末次 美子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依	高橋 昭彦 有村 秀孝 納富 昭弘			
医用放射線科学	平田 秀紀 佐々木雅之 杜下 淳次	藪内 英剛	熊澤 誠志 藤淵 俊王 <small>平成25年9月 1日採用</small>	赤坂 勉 吉田 豊 <small>平成25年4月 1日採用 (配置換)</small>	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 栢森 裕三	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	井形 幸代 <small>平成26年3月31日退職</small>	
病態情報学	梅村 創 永淵 正法 杉島 節夫		勝田 仁 大石 善丈 <small>平成26年3月31日退職</small> 外園 栄作	栗崎 宏憲 渡邊壽美子	
国際教育センター (兼 医学系学府担当・ 医学部勤務)			CONNOR SUZANNE MARIE <small>平成26年3月31日退職</small>		

No.	1		2		3		17		7		16	
委員会	総務委員会		将来計画、点検・評価委員会		研究推進委員会		年報委員会		地域・国際連携推進委員会		FD実行委員会	
委員長	部門長		部門長		部門長		部門長		前年度副委員長		7.に同じ	
副委員長	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	総務委員会検討・部門会議選出	7.に同じ		谷口
看護学	分野長 中尾	教授 (1)	25.4~27.3	梅村	教授 (1)	2.に同じ	梅村	梅村	教授 (1)	25.4~27.3	谷口	7.に同じ
		助教以上 (1)	24.4~26.3	前野	助教以上 (2)	2.に同じ	前野	前野	助教以上 (1)	24.4~26.3	木下(義)	7.に同じ
医用量子線科学	分野長 佐々木	教授 (1)	24.4~26.3	大喜	助教以上 (2)	2.に同じ	大喜	大喜	教授 (1)	24.4~26.3	大喜	7.に同じ
		助教以上 (1)	25.4~27.3	高橋	助教以上 (2)	2.に同じ	高橋	高橋	助教以上 (1)	25.4~27.3	藪内	7.に同じ
検査技術科学	分野長 梅村	教授 (1)	25.4~27.3	梅村	助教以上 (2)	2.に同じ	梅村	梅村	教授 (1)	25.4~27.3	藤本	7.に同じ
		助教以上 (1)	24.4~26.3	外園	助教以上 (2)	2.に同じ	外園	外園	助教以上 (1)	24.4~26.3	小島	7.に同じ
職指定の委員	部門長	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	※ 委員に看護学助教4名追加。(道面、孫田、権原、木村)	※ 医用量子線科学助教1名追加。(助教からの選出が難しいため、熊澤講師)	※ H25年度は検査技術科学分野から選出する。(医用量子線・検査技術科学の2分野で交互に選出。)	副部門長 (各分野長) (部内) 教務委員会副委員長 (部内) 大学院委員会副委員長

※「2. 将来計画、点検・評価委員会」「3. 研究推進委員会」は同一の委員とする。

※「17. 年報委員会」の委員は、「2. 将来計画、点検・評価委員会」の委員の内から構成する。

※「7. 地域・国際連携推進委員会」と「16. FD委員会」の教授委員は同一の委員とする。

※ 副分野長

【看護】 嶋野

【放射】 杜下

【検査】 永淵

No.	4		5		6		8		9		10	
	人事委員会	委員長	教員業績評価委員会	部門長	再任審査委員会	部門長	財務委員会	部門長	施設・環境委員会	部門長	施設・環境委員会	学生委員会
委員長	部門長	佐々木	部門長	佐々木	委員長指名	佐々木	部門長	部門長	部門長指名	中尾	部門長指名	加来
	委員長指名	24.4～26.3	委員長指名	4.に同じ	委員長指名	4.に同じ	委員長指名	施設・環境委員長	委員長指名	大喜	委員長指名	杜下
副委員長	教授	(1)	教授	(1)	教授	(1)	教授	教授	教授	(1)	教授	教授
	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	准教授	准教授	25.4～27.3	准教授	准教授
看観学	教授	(1)	教授	(1)	教授	(1)	教授	教授	教授	(1)	教授	教授
	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	准教授	准教授	25.4～27.3	准教授	准教授
医用量子線科学	教授	(1)	教授	(1)	教授	(1)	教授	教授	教授	(1)	教授	教授
	准教授	25.4～27.3	准教授	25.4～27.3	准教授	25.4～27.3	准教授	准教授	准教授	24.4～26.3	准教授	准教授
検査技術科学	教授	(1)	教授	(1)	教授	(1)	教授	教授	教授	(1)	教授	教授
	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	准教授	准教授	准教授	25.4～27.3	准教授	准教授
職指定の委員	部門長	(各分野長)	部門長	(各分野長)	部門長	(各分野長)	部門長	部門長	部門長	(各分野長)	部門長	部門長
	副部門長	(各分野長)	副部門長	(各分野長)	副部門長	(各分野長)	副部門長	副部門長	副部門長	(各分野長)	副部門長	副部門長

* 前年度副委員長は、平田(伸)教授であったが、平田(伸)教授の転出に伴い、H24は加来教授に委員長を依頼。

※「4. 人事委員会」「5. 教員業績評価委員会」「6. 再任審査委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	11		12		13		14		15	
委員会	教務委員会		大学院委員会		入学試験実施委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
委員長	前年度副委員長 豊福		前年度副委員長 栢森		前年度副委員長 杉島		前年度副委員長 大池		医学研究院長 片野	
副委員長	総務委員会で検討、部門会議で選出		総務委員会で検討、部門会議で選出		委員長指名		委員会で選出		放射線取扱主任者 豊福	
看護学	教授	24.4～26.3	教授	25.4～27.3	教授	25.4～27.3	教授	25.4～27.3	助教	25.4～27.3
	講師以上	25.4～27.3	講師	24.4～26.3	教授	25.4～27.3	准教授	25.4～27.3	准教授	25.4～27.3
医用量子線科学	教授	24.4～26.3	教授	25.4～27.3	教授	24.4～26.3	教授	24.4～26.3	助教	24.4～26.3
	講師以上	25.4～27.3	教授	24.4～26.3	教授	24.4～26.3	准教授	25.4～27.3	助教	24.4～26.3
検査技術科学	教授	25.4～27.3	教授	(24.4～26.3)	教授	24.4～26.3	教授	25.4～27.3	助教	25.4～27.3
	講師以上	24.4～26.3	教授	24.4～26.3	教授	24.4～26.3	准教授	24.4～26.3	助教	24.4～26.3
職指定の委員	(全学)教務関係委員				部門長 副部門長 (各分野長)		※委員に看護学分野助教2名追加 (木下、重松)		部門長 放射線取扱主任者(豊福) 放射線取扱副主任者(赤坂) 事務部長	

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。

※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員が就任する。

【H25病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(H25)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		佐々木 教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	教授1名	
2	アイトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区学生実習室放射線安全委員会		豊福 教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	教授1名	
3	アイトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者		佐々木 教授	2年	H24.4.1	H26.3.31		
4	附属図書館医学図書館運営委員会	部内教務委員会委員から選出	杉島 教授	2年	H25.4.1	H27.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委員会は教務委員会と統合→教務委員会委員長・副委員長が兼ねる
		部内教務委員会委員から選出	豊福 教授		H24.4.1	H26.3.31		
5	医療系統合教育研究センター委員会		藤本 教授 《副センター長》	2年	H25.4.1	H27.3.31	医・歯・薬・保の輪番で教授1名(副センター長から1名)	・副センター長 ・〔部門内〕教務委員長→実質的な任期は1年
		部門内教務委員長(実質的な任期は1年)	豊福 教授		H25.4.1	H26.3.31	保健学部門教授から1名	※センター長は各部局選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★H21-H22年度は(保)からセンター長を選出
			中尾 教授		H24.4.1	H26.3.31	保健学部門の教員から1名	
6	医療系統合教育研究センター兼任教員		中尾 教授		H24.4.1	H26.3.31		
7	病院地区協議会	【職指定】部門長	平田 教授 (部門長)				部門長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)
		【職指定】医療系統合教育研究センター長	【薬】					
8	病院地区学生感染対策委員会	【職指定】学生委員会副委員長	杜下 教授	2年	H25.4.1	H26.3.31	保健学部門の学府の学生の教育又は感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者1名	学生委員会副委員長が兼ねる →実質的な任期は1年

番号	委員会名	役職指定等	現(H25)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
9	病院地区教育情報委員会	【職指定】 保健学部門副部門長(教育担当)					・保健学部門の副部門長のうち主として教育を担当する者1名 ・学部教育を担当する委員会の委員長 ・学府教育を担当する委員会の委員長 →実質的な任期は1年	
		【職指定】 部内教務委員会委員長	豊福 教授		H25.4.1	H26.3.31		
		【職指定】 部内大学院委員会委員長	栢森 教授					
10	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	平田 教授 (部門長)				部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
11	総合研究棟管理運営委員会		大喜 教授	2年	H24.8.1	H26.7.31		※4号委員 教授1名
			加来 教授		H24.8.1	H26.7.31		※5号委員 部局管理運用部分の許可を受けている者
12	職員等用駐車区域運営委員会幹事会		杉島 教授 外園 講師				教授1名、准教授以下1名	
13	病院地区特許・技術移転相談室協力教員		永淵 教授					
14	病院サイクロロン生産放射性同位元素の医学的利用に関する委員会		佐々木 教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	病院地区所属物理学専攻の教員	保健学部門から2名選出していたが、H22年度は1名のみ選出
15	病院放射性医薬品委員会		佐々木 教授					
16	病院先進医療適応評価委員会		金岡 助教	2年	H25.4.1	H27.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
17	アジア遠隔医療開発センター運営委員会		寺岡 講師 (H25.4.1～)	2年	H24.4.1	H26.3.31	病院地区(医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む)の教員の内から選ばれた者	長家准教授(前任) H25.3.31転出
18	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		原田 准教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	
			栢森 教授		H25.4.1	H27.3.31		
19	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		中尾 教授	2年	H24.4.1	H26.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	
20	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		永淵 教授	2年	H25.4.1	H27.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	

番号	委員会名	役職指定等	現(H25)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
21	医学研究院再任審査委員会		樗木 教授	1年	H25.4.1	H26.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	年1~2回;10分/回程度
22	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	平田 教授 (部門長) (必要に応じて選出)					年5回程度
23	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長					申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
24	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長	①部門長 ②中尾 教授 ③梅村 教授				※部門長, 当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について

【全学委員会】

番号	委員会	委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	総長特別補佐	樗木	2年	H25.4.1	H27.3.31	総長指名	
2	男女共同参画推進室副室長	樗木				総長指名	
3	教育研究評議会(評議員)	学科長	2年	H24.4.1	H26.3.31	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号(各学部の教授1名)	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
4	G30実施調整会議	有村	2年	H25.9.1	H27.8.31	各部局から選出された教授又は准教授 1名	※医学とは別枠
5	新キャンパス計画専門委員会	【生】	2年	H24.11.9	H26.11.8	医歯生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
6	キャンパス計画及び施設管理委員会	【生】	2年	H24.4.1	H26.3.31	医歯薬生の教授から1名	
7	動物実験委員会	永淵	2年	H24.4.1	H26.3.31	その他委員会が必要と認められた者(第3条第1項第7号)	※医学とは別枠
8	研究用微生物安全管理委員会	小島	2年	H25.4.1	H27.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教授、小島講師と交互に担当をお願いしたいとのこと。(H25.12.25)
9	放射線障害防止委員会	豊福					放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
10	環境保全管理委員会	外園	2年	H24.4.1	H26.3.31	環境保全管理委員会が必要と認められた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員を兼ねる ★[部門内]施設・環境委員会構成員となる
11	環境安全センター委員会(旧:特殊廃液処理施設運営委員会(H12年度改組))	外園	2年	H24.4.1	H26.3.31	環境安全センター委員会が必要と認められた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員を兼ねる(H18年度から)
12	入学試験審議会	学科長					保健学科長がオブザーバーとして参加
13	入学試験実施委員会	杉島	(2年)	H25.4.1	H26.3.31		[部門内]入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
14	入学者選抜研究委員会	高橋	2年	H24.5.1	H26.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認められた者若干人)	統計のできる准教授クラス
15	学生支援委員会(学生委員会から改編)	加来	(2年)	H25.4.1	H26.3.31	医学系学府保健学専攻から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 [部門内]学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		杜下		H25.4.1	H26.3.31	医学部保健学科から選ばれた教授1名	
16	教育企画委員会(旧:教務委員会)	豊福	(2年)	H25.4.1	H26.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 [部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年

番号	委員会	委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
17	21世紀プログラム専門委員会 (旧:21世紀プログラム実施委員会)	大池	2年	H24.4.1	H26.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	看・医・検分野の輪番
18	全学教育専門委員会	豊福	(2年)	H25.4.1	H26.3.31	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授	[部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 ※開催頻度:低
19	全学教育運営会議	豊福	(2年)	H25.4.1	H26.3.31	その他運営会議が必要と認めた者	[部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
20	全学情報環境利用委員会 (旧:情報基盤センター学内共同利用運営委員会)	有村	2年	H24.4.1	H26.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人 ※医学として	
21	ハラスメント等対策委員会	【医】萩原 【薬】	2年	H24.4.1	H26.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番
22	ハラスメント等相談員	(薬) (生)	2年	H24.4.1	H26.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番
23	加速器・ビーム応用科学センター複担教員	豊福		H24.2.1	H26.1.1		
24	学生生活・修学相談室相談員	加来 杜下	(2年)	H25.4.1 H25.4.1	H26.3.31 H26.3.31		[部門内]学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
25	国際化100人委員会	平野 杜下 梅村				医学から9名(内、保健から3名選出)	各分野から1名選出
26	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜					H20.6.5全学教育運営会議承認に基づき設置
27	全学教育企画委員会 (基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目]	大喜					
28	情報通信基盤連絡会議	大喜				教員1名	元岡キャンパス等におけるネットワーク(KITE)整備のための連絡会議が名称変更
29	伊都キャンパスネットワーク	大喜					
30	総合情報伝達システム委員会	豊福					
31	情報化推進企画小委員会	豊福					

平成25年度
年 報

作成日 : 平成26年9月

発行者 : 保健学部門 平成26年度 年報委員会
佐々木雅之
大喜雅文・永渕正法・中尾久子・杜下淳次
加来恒壽・濱田裕子・高橋昭彦
梅村 創・渡辺壽美子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL: 092-642-6683